

講義內容2009

教職課程・資格講座

講義内容（教職課程・資格講座）

『講義内容の見方』……………(2)

目次案内

- I 教 職 課 程 ……………(4)
- II 学校図書館司書教諭講座 ……………(11)
- III 社会教育主事講座 ……………(12)
- IV 博物館学講座 ……………(14)
- V 社会福祉主事講座 ……………(16)

※上記の教職課程および資格講座授業科目の講義内容が掲載されていますが、各学部において受講できる課程および講座は以下のとおりです。

(履修についての詳細は、『教職課程・資格講座履修要項』を参照すること。)

学部・学科		課程・講座		教職課程	学校図書館司書教諭講座	社会教育主事講座	博物館学講座	社会福祉主事講座
		教職課程	資格講座					
仏 教 学 部		●	●	●	●	●	●	●
文 学 部		●	●	●	●	●	●	●
経済学部	経済学科・経済学科フレックスA 商学科・現代応用経済学科	●	●	●				●
	経済学科フレックスB	●	○	○				
法学部	法律学科フレックスA・政治学科	●	●	●				●
	法律学科フレックスB	●	○	○				
経営学部	経営学科・経営学科フレックスA・市場戦略学科	●	●	●				●
	経営学科フレックスB	●	○	○				
医療健康科学部								●
グローバル・メディア・スタディーズ学部		●	●					

(注意) ○印は、フレックスAの時間帯を履修することにより取得可能。

『講義内容』の見方

- 1、『講義内容（教職課程・資格講座）』は、『教職課程・資格講座 履修要項』（別冊）と『課程各講座授業時間表』（別冊）と合わせて利用してください。
 - ・ 『教職課程・資格講座 履修要項』は1年次秋の教職ガイダンスで配布されたものです。
 - ・ 『課程各講座授業時間表』は、4月に教務部窓口で受け取ってください。
- 2、『講義内容（教職課程・資格講座）』は、教職課程・資格講座の全ての科目が掲載されています。その中で、履修できる科目は、『課程各講座授業時間表』の備考欄に所属学科が記載されている科目です。
（この冊子に掲載されている科目全てが履修できる科目ではありませんので、注意してください。）
- 3、『課程各講座授業時間表』で履修コード（※）を確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 4、教職課程・資格講座で必要な科目のうち、専門教育科目で開講されている科目は、所属学科の『授業時間表』（別冊）で履修コードを確認し、所属学科の『講義内容（経済学部は授業計画）』（別冊）を閲覧してください。

※ 履修コードとは

履修コードとは、各授業に割り振られている6桁の番号です。4月の履修科目登録時にも使用します。同名科目・同担当者の科目が2つ以上ある場合、履修コードで判別することになります。履修コードの見間違いがないよう、十分注意してください。

～『講義内容』の利用手順～

①『教職課程・資格講座 履修要項』（別冊）を参照し、履修すべき科目を調べる。

②『課程各講座授業時間表』（別冊）を参照し、履修する科目の履修コードを確認する。

（『授業時間表』の記載例）

曜日時限	科目名	担当者名	コード	備考	区分	教場名
月 1	教職入門	駒澤 太郎	111111	教職1必(全学科)		1-111

↑
※履修コード

③『講義内容』の目次ページから、同様の履修コードを探し、ページを開く

（『講義内容』目次ページの記載例）

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教職入門	駒澤 太郎	111111	1

↑
※

④目次ページの履修コードと科目枠の履修コードが同じであることを確認した上で、授業内容を閲覧する。

（『講義内容』科目枠の記載例）

履修コード	111111 ←※
科目名	教職入門
担当者名	こまざわ たろう 駒澤 太郎

I 教職課程

〔フレックスA〕

(1) 教職に関する科目（必修科目）

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教職入門	藤木 篤典	076701	3
教職入門	磯山 進	076711	3
教職入門	天井 勝海	305401	4
教育基礎論 教育の思想	豊田 千代子	212001	4
教育基礎論 教育の思想	北村 三子	212101	4
教育基礎論 教育の思想	北村 三子	212201	4
教育基礎論 教育の思想	伊藤 茂樹	212301	5
教育基礎論 教育の思想	伊藤 茂樹	212401	5
教育基礎論 教育の思想	伊藤 茂樹	212701	5
教育基礎論 教育の思想	萩原 建次郎	212501	5
教育基礎論 教育の思想	坂本 信昭	212601	5
教育制度・環境論 教育と社会	豊田 千代子	212901	6
教育制度・環境論 教育と社会	北村 三子	213001	6
教育制度・環境論 教育と社会	北村 三子	213101	6
教育制度・環境論 教育と社会	伊藤 茂樹	213201	6
教育制度・環境論 教育と社会	伊藤 茂樹	213301	6
教育制度・環境論 教育と社会	伊藤 茂樹	213601	6
教育制度・環境論 教育と社会	萩原 建次郎	213401	7
教育制度・環境論 教育と社会	坂本 信昭	213501	7
学習・発達論 発達と学習の心理学	前田 洋士	213801	8
学習・発達論 発達と学習の心理学	大浜 幾久子	213901	8
学習・発達論 発達と学習の心理学	大浜 幾久子	214001	8
学習・発達論 発達と学習の心理学	藤原 善美	214101	9
学習・発達論 発達と学習の心理学	飯田 都	214201	9
学習・発達論 発達と学習の心理学	飯田 都	214601	9
学習・発達論 発達と学習の心理学	角野 善司	214301	9
学習・発達論 発達と学習の心理学	角野 善司	214401	9
学習・発達論 発達と学習の心理学	角野 善司	214501	9
教育課程論 カリキュラムと学習	前田 洋士	214801	10
教育課程論 カリキュラムと学習	大浜 幾久子	214901	10
教育課程論 カリキュラムと学習	大浜 幾久子	215001	10
教育課程論 カリキュラムと学習	藤原 善美	215101	11
教育課程論 カリキュラムと学習	杉山 二季	215201	11
教育課程論 カリキュラムと学習	杉山 二季	215601	11
教育課程論 カリキュラムと学習	角野 善司	215301	11
教育課程論 カリキュラムと学習	角野 善司	215401	11
教育課程論 カリキュラムと学習	角野 善司	215501	11
教育とメディア	前田 洋士	076801	12
教育とメディア	前田 洋士	077101	12
教育とメディア	石橋 達也	076901	12
教育とメディア	石橋 達也	077001	12
教育とメディア	石橋 達也	077201	12
教育とメディア	石橋 達也	077301	12
教育とメディア	芝崎 順司	077401	13
教育とメディア	芝崎 順司	077501	13
教育とメディア	芝崎 順司	077601	13
教育とメディア	芝崎 順司	077701	13

科目名	担当者名	履修コード	ページ
道徳教育の研究	藤木 篤典	077901	13
道徳教育の研究	藤木 篤典	078001	13
道徳教育の研究	杉崎 洋一郎	078101	14
道徳教育の研究	杉崎 洋一郎	078201	14
道徳教育の研究	井上 勝	078301	15
道徳教育の研究	井上 勝	078401	15
特別活動論	藤木 篤典	078611	15
特別活動論	藤木 篤典	078711	15
特別活動論	杉崎 洋一郎	078811	16
特別活動論	杉崎 洋一郎	078911	16
特別活動論	井上 勝	079011	16
特別活動論	井上 勝	079111	16
生徒指導論（進路指導を含む）	佐藤 尚人	079301	17
生徒指導論（進路指導を含む）	佐藤 尚人	079701	17
生徒指導論（進路指導を含む）	佐藤 尚人	079801	17
生徒指導論（進路指導を含む）	遠藤 司	079401	17
生徒指導論（進路指導を含む）	遠藤 司	079901	17
生徒指導論（進路指導を含む）	遠藤 司	080001	17
生徒指導論（進路指導を含む）	目良 秋子	079501	18
生徒指導論（進路指導を含む）	目良 秋子	079601	18
生徒指導論（進路指導を含む）	川原 誠司	080101	19
教育臨床	佐藤 尚人	080301	19
教育臨床	佐藤 尚人	080701	19
教育臨床	佐藤 尚人	080801	19
教育臨床	遠藤 司	080401	20
教育臨床	遠藤 司	080901	20
教育臨床	遠藤 司	081001	20
教育臨床	目良 秋子	080501	20
教育臨床	目良 秋子	080601	20
教育臨床	川原 誠司	081101	21
総合演習I（環境・地域）	北村 和夫	081501	21
総合演習（3）〔環境教育〕	北村 和夫	081502	21
総合演習I（環境・地域）	北村 和夫	081601	22
総合演習（4）〔近代社会と身体〕	北村 和夫	081602	22
総合演習I（環境・地域）	北村 三子	082701	22
総合演習（15）〔持続可能性と技術〕	北村 三子	082702	22
総合演習I（環境・地域）	北村 三子	082801	22
総合演習（16）〔豊かさの多様性〕	北村 三子	082802	22
総合演習II（生活・人権）	広沢 明	082101	23
総合演習（9）〔教育と法律〕	広沢 明	082102	23
総合演習II（生活・人権）	広沢 明	082201	23
総合演習（10）〔子どもの人権〕	広沢 明	082202	23
総合演習II（生活・人権）	休講	082501	
総合演習（13）〔現代的学習課題とジェンダー〕	休講	082502	
総合演習II（生活・人権）	休講	082601	
総合演習（14）〔学校教育におけるジェンダー〕	休講	082602	
総合演習III（福祉・ボランティア）	遠藤 司	081301	23
総合演習（1）〔障害児と教育〕	遠藤 司	081302	23
総合演習III（福祉・ボランティア）	遠藤 司	081401	24
総合演習（2）〔障害児と福祉〕	遠藤 司	081402	24
総合演習III（福祉・ボランティア）	野中 弘敏	081901	24

科目名	担当者名	履修コード	ページ
総合演習(7)〔心の健康と教育〕	野中 弘敏	081902	24
総合演習III(福祉・ボランティア)	野中 弘敏	082001	25
総合演習(8)〔心の援助と教育〕	野中 弘敏	082002	25
総合演習IV(健康・人間)	川原 誠司	081701	25
総合演習(5)〔対人関係とストレス〕	川原 誠司	081702	25
総合演習IV(健康・人間)	川原 誠司	081801	26
総合演習(6)〔学校における対人関係〕	川原 誠司	081802	26
総合演習IV(健康・人間)	柳堀 素雅子	082301	26
総合演習(11)〔生と死の教育〕	柳堀 素雅子	082302	26
総合演習IV(健康・人間)	柳堀 素雅子	082401	27
総合演習(12)〔生命倫理〕	柳堀 素雅子	082402	27
総合演習V(国際理解・情報)	大浜 幾久子	082811	27
総合演習V(国際理解・情報)	大浜 幾久子	082821	27
宗教科教育法I	小山 一乗	011911	28
宗教科教育法	小山 一乗	011912	28
宗教科教育法II	小山 一乗	012001	28
国語科教育法I	久保田 實	022811	29
国語科教育法	久保田 實	022812	29
国語科教育法II	久保田 實	022911	29
書道科教育法	那須 隆吉	023001	29
英語科教育法I	佐藤 真二	031311	30
英語科教育法	佐藤 真二	031312	30
英語科教育法II	佐藤 真二	031401	30
社会科教育法III(地理歴史)	生田 清人	042701	31
地理歴史科教育法I	生田 清人	042702	31
社会科教育法III(地理歴史)	櫻井 明久	042901	31
地理歴史科教育法I	櫻井 明久	042902	31
社会科教育法III(地理歴史)	藤木 正国	057301	32
地理歴史科教育法I	藤木 正国	057302	32
社会科教育法IV(地理歴史)	生田 清人	042801	32
地理歴史科教育法II	生田 清人	042802	32
社会科教育法IV(地理歴史)	櫻井 明久	043001	33
地理歴史科教育法II	櫻井 明久	043002	33
社会科教育法IV(地理歴史)	藤木 正国	057401	33
地理歴史科教育法II	藤木 正国	057402	33
社会科教育法V(公民)	橋爪 敏	062401	33
公民科教育法I	橋爪 敏	062402	33
社会科教育法V(公民)	橋爪 敏	062601	33
公民科教育法I	橋爪 敏	062602	33
社会科教育法V(公民)	谷敷 正光	113401	34
公民科教育法I	谷敷 正光	113402	34
社会科教育法V(公民)	小川 光夫	134501	35
公民科教育法I	小川 光夫	134502	35
社会科教育法VI(公民)	橋爪 敏	062501	35
公民科教育法II	橋爪 敏	062502	35
社会科教育法VI(公民)	橋爪 敏	062701	35
公民科教育法II	橋爪 敏	062702	35
社会科教育法VI(公民)	谷敷 正光	113501	36
公民科教育法II	谷敷 正光	113502	36
社会科教育法VI(公民)	小川 光夫	134601	36
公民科教育法II	小川 光夫	134602	36

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会科教育法I	礪山 進	088401	37
社会科教育法II	礪山 進	088501	37
社会科教育法I	小川 光夫	088601	38
社会科教育法I	小川 光夫	088801	38
社会科教育法II	小川 光夫	088701	38
社会科教育法II	小川 光夫	088901	38
社会科教育法I	二井 正浩	089001	38
社会科教育法II	二井 正浩	089101	39
福祉科教育法	桐原 宏行	070801	39
商業科教育法	黒葛原 正展	113301	40
職業科教育法I	谷敷 正光	113601	41
職業科教育法	谷敷 正光	113602	41
職業科教育法II	黒葛原 正展	114301	42
英語科教育法I a	町田 尚子	438801	42
英語科教育法I b	町田 尚子	438911	43
英語科教育法II a	町田 尚子	439001	43
英語科教育法II b	町田 尚子	439111	44
教育実習I	豊田 千代子	083101	44
教育実習II	豊田 千代子	083102	44
教育実習I	豊田 千代子	083801	44
教育実習II	豊田 千代子	083802	44
教育実習I	坂本 信昭	083201	44
教育実習II	坂本 信昭	083202	44
教育実習I	坂本 信昭	083701	44
教育実習II	坂本 信昭	083702	44
教育実習I	坂本 信昭	084001	44
教育実習II	坂本 信昭	084002	44
教育実習I	坂本 信昭	084101	44
教育実習II	坂本 信昭	084102	44
教育実習I	萩原 建次郎	083401	45
教育実習II	萩原 建次郎	083402	45
教育実習I	北村 三子	083501	45
教育実習II	北村 三子	083502	45
教育実習I	伊藤 茂樹	083601	45
教育実習II	伊藤 茂樹	083602	45
教育実習I	遠藤 司	083901	46
教育実習II	遠藤 司	083902	46
教育実習I	大浜 幾久子	084151	46
教育実習II	大浜 幾久子	084152	46

(2) 教科又は教職に関する科目（選択科目）

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教育関係法規	広沢 明	085101	47
教育関係法規	広沢 明	085201	47
教育評価	大浜 幾久子	085301	47
教育哲学	北村 三子	085401	47
教育情報学	石橋 達也	085501	48
教育臨床心理学	小田切 紀子	085601	48
教育社会学	伊藤 茂樹	085701	49
教育史	山本 敏子	085801	49
教育調査	鈴木 規夫	086001	50
現代社会の諸問題と教育II	鈴木 朋実	086201	50

科目名	担当者名	履修コード	ページ
青少年問題研究	讃岐 真佐子	006602	51
宗教教育	小山 一乗	007102	52
生涯学習概論I	豊田 千代子	084501	52
生涯学習概論II	豊田 千代子	084601	53
視聴覚教育	高津 直己	084901	53
視聴覚教育	高津 直己	085001	53
学校経営と学校図書館	松尾 不二夫	086901	54
学校経営と学校図書館	松尾 不二夫	087001	54
読書と豊かな人間性	松尾 不二夫	087201	54
読書と豊かな人間性	松尾 不二夫	087301	54
学校図書館メディアの構成	源 昌久	087501	55
学校図書館メディアの構成	松本 直樹	087601	55
情報メディアの活用	源 昌久	087801	55
情報メディアの活用	松本 直樹	087901	55
学習指導と学校図書館	松尾 不二夫	088101	56
学習指導と学校図書館	松尾 不二夫	088201	56
介護等体験	豊田 千代子	089111	56
介護等体験	坂本 信昭	089121	57
介護等体験	坂本 信昭	089171	57
介護等体験	萩原 建次郎	089131	57
介護等体験	北村 三子	089141	58
介護等体験	伊藤 茂樹	089151	58
介護等体験	遠藤 司	089161	59
介護等体験	大浜 幾久子	089181	59

(3) 教科に関する科目

【社会・地理歴史・公民】

科目名	担当者名	履修コード	ページ
東洋思想史	末木 恭彦	016803	60
民間信仰論	谷口 貢	017903	60
人文地理学概説	中村 剛	036901	60
人文地理学概説	中村 剛	037001	60
自然地理学概説	早船 元峰	043101	61
自然地理学概説	高木 正博	043201	61
地誌学概説	川元 豊和	037101	61
地誌学概説	湯田 ミノリ	037201	62
地誌学概説	山口 太郎	037301	62
日本史概説	野尻 かおる	056302	63
日本史概説	小泉 雅弘	056402	63
世界史概説	井村 行子	044202	64
世界史概説	小林 惣八	056502	64
社会学原論	橋爪 敏	060002	65
社会学原論	呉 炳三	133902	65
宗教人類学	佐藤 憲昭	075003	66
経済原論	阿部 弘	089903	67
経済原論	畠中 貴	090103	67
経済原論	松井 柳平	090203	68
経済原論	荒木 勝啓	090303	69
経済原論	浅野 克巳	090403	70
民法I	竹中 智香	098302	71
民法I	須賀 昭徳	127803	71
政治学原論	山崎 望	134701	72

科目名	担当者名	履修コード	ページ
政治学原論	清滝 仁志	134801	72
日本宗教文化史	小川 順敬	232702	73
民衆宗教成立史	鈴木 一馨	232802	73
宗教学概説	池上 良正	232902	74
宗教学概説	矢野 秀武	233002	74
宗教学概説	川上 新二	233102	74
哲学概説	末木 恭彦	233202	75
哲学概説	久保 陽一	233302	75
倫理学概説	小島 優子	233402	76

【職業】

科目名	担当者名	履修コード	ページ
産業概説	幸野 保典	113701	77
職業指導	洪 利志生	113801	77
商業実習	洪 利志生	113901	78
工業実習	休講	114101	
農業実習	古沢 紘造	114201	78

【商業】

科目名	担当者名	履修コード	ページ
職業指導	洪 利志生	113801	79
現代商業論	岩淵 護	152651	79

〔フレックスB〕

(1) 教職に関する科目（必修科目）

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教職入門	天井 勝海	305401	80
教育基礎論 教育の思想	山本 敏子	343801	80
教育制度・環境論 教育と社会	山本 敏子	343901	80
学習・発達論 発達と学習の心理学	藤原 善美	344001	81
教育課程論 カリキュラムと学習	藤原 善美	344101	81
教育とメディア	石橋 達也	305501	81
道德教育の研究	緑川 哲夫	305601	82
特別活動論	緑川 哲夫	305711	82
生徒指導論（進路指導を含む）	慶野 遥香	305801	82
教育臨床	慶野 遥香	305901	83
総合演習I（環境・地域）	山本 敏子	306001	83
総合演習（2）〔子ども・自然・家庭〕	山本 敏子	306002	83
総合演習I（環境・地域）	山本 敏子	306101	83
総合演習（2）〔子ども・自然・家庭〕	山本 敏子	306102	83
教育実習I	伊藤 茂樹	306201	84
教育実習II	伊藤 茂樹	306202	84
社会科教育法I	天井 勝海	306301	84
社会科教育法II	天井 勝海	306401	85
社会科教育法III（地理歴史）	休講	304601	
地理歴史科教育法I	休講	304602	
社会科教育法IV（地理歴史）	休講	304701	
地理歴史科教育法II	休講	304702	
社会科教育法V（公民）	谷敷 正光	321801	86
公民科教育法I	谷敷 正光	321802	86
社会科教育法VI（公民）	谷敷 正光	321901	87
公民科教育法II	谷敷 正光	321902	87
商業科教育法	黒葛原 正展	322201	88

科目名	担当者名	履修コード	ページ
職業科教育法I	休講	322311	
職業科教育法	休講	322312	
職業科教育法II	休講	322901	

(2) 教科に関する科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本史概説	菅野 洋介	304801	89
日本史概説	鈴木 雅晴	304901	89
世界史概説	見城 光威	305001	90
地誌学概説	川元 豊和	304201	90
地誌学概説	渡邊 盾夫	304301	90
人文地理学概説	渡邊 盾夫	304401	91
自然地理学概説	鈴木 倫太郎	304501	91
宗教学概説	須藤 寛人	305101	92
宗教学概説	須藤 寛人	305201	92
哲学概説	古田 知章	305301	92
政治学原論	大塚 桂	324302	93
産業概説	休講	322501	
商業実習	休講	322601	
農業実習	休講	322701	
工業実習	休講	322801	
職業指導	洪 利志生	322401	94

Ⅱ 学校図書館司書教諭講座

必修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
学校経営と学校図書館	松尾 不二夫	086901	54
学校経営と学校図書館	松尾 不二夫	087001	54
読書と豊かな人間性	松尾 不二夫	087201	54
読書と豊かな人間性	松尾 不二夫	087301	54
学校図書館メディアの構成	源 昌久	087501	55
学校図書館メディアの構成	松本 直樹	087601	55
情報メディアの活用	源 昌久	087801	55
情報メディアの活用	松本 直樹	087901	55
学習指導と学校図書館	松尾 不二夫	088101	56
学習指導と学校図書館	松尾 不二夫	088201	56

Ⅲ 社会教育主事講座

(1) 必修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会教育計画	萩原 健次郎	084401	99
生涯学習概論I	豊田 千代子	084501	99
生涯学習概論II	豊田 千代子	084601	99
社会教育学習	豊田 千代子	084701	100
社会教育学習	萩原 健次郎	084801	100

(2) 選択必修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会教育行政	荒井 隆	086301	101
社会教育施設	萩原 建次郎	085901	101
成人学習論	荒井 隆	086401	101
ジェンダーと教育I	高井 葉子	082511	102
ジェンダーと教育II	高井 葉子	082521	102
職業教育I	塩川 正人	086701	103
職業教育II	塩川 正人	086801	103
社会体育I	吉田 実生	086501	104
社会体育II	吉田 実生	086601	104
教育基礎論 教育の思想	豊田 千代子	212001	4
教育基礎論 教育の思想	北村 三子	212101	4
教育基礎論 教育の思想	北村 三子	212201	4
教育基礎論 教育の思想	伊藤 茂樹	212301	5
教育基礎論 教育の思想	伊藤 茂樹	212401	5
教育基礎論 教育の思想	伊藤 茂樹	212701	5
教育基礎論 教育の思想	萩原 建次郎	212501	5
教育基礎論 教育の思想	坂本 信昭	212601	5
教育基礎論 教育の思想	山本 敏子	343801	80
教育制度・環境論 教育と社会	豊田 千代子	212901	6
教育制度・環境論 教育と社会	北村 三子	213001	6
教育制度・環境論 教育と社会	北村 三子	213101	6
教育制度・環境論 教育と社会	伊藤 茂樹	213201	6
教育制度・環境論 教育と社会	伊藤 茂樹	213301	6
教育制度・環境論 教育と社会	伊藤 茂樹	213601	6
教育制度・環境論 教育と社会	萩原 建次郎	213401	7
教育制度・環境論 教育と社会	坂本 信昭	213501	7
教育制度・環境論 教育と社会	山本 敏子	343901	80
学習・発達論 発達と学習の心理学	前田 洋士	213801	8
学習・発達論 発達と学習の心理学	大浜 幾久子	213901	8
学習・発達論 発達と学習の心理学	大浜 幾久子	214001	8
学習・発達論 発達と学習の心理学	藤原 善美	214101	9
学習・発達論 発達と学習の心理学	飯田 都	214201	9
学習・発達論 発達と学習の心理学	飯田 都	214601	9
学習・発達論 発達と学習の心理学	角野 善司	214301	9
学習・発達論 発達と学習の心理学	角野 善司	214401	9
学習・発達論 発達と学習の心理学	角野 善司	214501	9
学習・発達論 発達と学習の心理学	藤原 善美	344001	81
教育とメディア	前田 洋士	076801	12
教育とメディア	前田 洋士	077101	12
教育とメディア	石橋 達也	076901	12

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教育とメディア	石橋 達也	077001	12
教育とメディア	石橋 達也	077201	12
教育とメディア	石橋 達也	077301	12
教育とメディア	芝崎 順司	077401	13
教育とメディア	芝崎 順司	077501	13
教育とメディア	芝崎 順司	077601	13
教育とメディア	芝崎 順司	077701	13
視聴覚教育	高津 直己	084901	53
視聴覚教育	高津 直己	085001	53
教育社会学	伊藤 茂樹	085701	49
教育史	山本 敏子	085801	49
教育調査	鈴木 規夫	086001	50
社会心理学 A	坪井 健	058332	104
青少年文化	古関 すま子	086101	105
現代社会の諸問題と教育I	鈴木 朋実	082901	105
現代社会の諸問題と教育II	鈴木 朋実	086201	50
青少年問題研究	讃岐 真佐子	006602	51
青少年指導演習	西村 寛子	006702	106
博物館学I(概論)	太田 喜美子	056701	106
博物館学II(資料論)	岸上 興一郎	056801	107
情報メディアの活用	源 昌久	087801	55
情報メディアの活用	松本 直樹	087901	55
読書と豊かな人間性	松尾 不二夫	087201	54
読書と豊かな人間性	松尾 不二夫	087301	54

IV 博物館学講座

(1) 必修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
視聴覚教育	高津 直己	084901	53
視聴覚教育	高津 直己	085001	53
博物館学I (概論)	太田 喜美子	056701	106
博物館学II (資料論)	岸上 興一郎	056801	107
博物館学III (経営論・情報論)	岸上 興一郎	056901	111
博物館実習I (館務)	太田 喜美子 設楽 博己 湯浅 隆	057001	111
博物館実習II (収集)	太田 喜美子 瀧音 能之 國見 徹 久保田 昌希 熊本 史雄 佐々木 真 中野 達哉	057101	112
博物館実習III (見学)	太田 喜美子 酒井 清治 松本 信道	057201	112
教育基礎論 教育の思想	豊田 千代子	212001	4
教育基礎論 教育の思想	北村 三子	212101	4
教育基礎論 教育の思想	北村 三子	212201	4
教育基礎論 教育の思想	伊藤 茂樹	212301	5
教育基礎論 教育の思想	伊藤 茂樹	212401	5
教育基礎論 教育の思想	伊藤 茂樹	212701	5
教育基礎論 教育の思想	萩原 建次郎	212501	5
教育基礎論 教育の思想	坂本 信昭	212601	5
教育基礎論 教育の思想	山本 敏子	343801	80
教育制度・環境論 教育と社会	豊田 千代子	212901	6
教育制度・環境論 教育と社会	北村 三子	213001	6
教育制度・環境論 教育と社会	北村 三子	213101	6
教育制度・環境論 教育と社会	伊藤 茂樹	213201	6
教育制度・環境論 教育と社会	伊藤 茂樹	213301	6
教育制度・環境論 教育と社会	伊藤 茂樹	213601	6
教育制度・環境論 教育と社会	萩原 建次郎	213401	7
教育制度・環境論 教育と社会	坂本 信昭	213501	7
教育制度・環境論 教育と社会	山本 敏子	343901	80
生涯学習概論I	豊田 千代子	084501	52
生涯学習概論II	豊田 千代子	084601	53

(2) 選択必修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
インド仏教文化史	金沢 篤	003802	113
中国仏教文化史	永井 政之	003902	113
日本仏教文化史	袴谷 憲昭	004002	114
禅美術	村松 哲文	006102	114
仏教美術	村松 哲文	006202	115
仏教民俗学	佐藤 憲昭	006302	115

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本民俗学	谷口 貢	017103	116
美術史概説	北野 良枝	017803	116
現代美術	矢野 陽子	028602	116
地形学	平井 幸弘	039902	117
第四紀学	鈴木 毅彦	041102	117
日本考古学概説	酒井 清治	044302	118
外国考古学概説	三宅 俊彦	044402	118
西洋文化史	西浦 麻美子	046912	118
日本文化史	廣瀬 良弘	047112	119
考古発掘実習	酒井 清治 設楽 博己	046202	119
考古学特講I	休講	052712	
考古学特講II	酒井 清治	052812	120
考古学特講III	休講	052912	
考古学特講IV	設楽 博己	052922	120
考古学特講V	休講	053012	
考古学特講VI	杉山 浩平	053022	120
考古学特講VII	休講	053032	
考古学特講VIII	矢野 和之	053042	121
西域美術史	松平 美和子	053102	121
宗教人類学	佐藤 憲昭	075003	122

V 社会福祉主事講座

(1) 必修科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会福祉原論	伊藤 秀一	062802	125
社会福祉原論	船水 浩行	070701	125

(2) 選択科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
法学（福祉）	鶏徳 啓登	062902	126
社会福祉発達史	堀 千鶴子	063902	126
社会保障論	長尾 譲治	065002	127
公的扶助論	伊藤 秀一	065322	127
障害者福祉論	桐原 宏行	065422	128
老人福祉論	東條 光雅	065522	129
児童福祉論	村田 一昭	065622	130
女性福祉論	堀 千鶴子	065702	130
医療福祉論	宮本 博司	065822	131
地域福祉論	川上 富雄	065902	132
社会学（福祉）	武山 梅乗	066152	132
心理学（福祉）	高橋 良博	066522	133
国際社会福祉論	休講	064002	
リハビリテーション論	向後 礼子	064902	133
家庭福祉論	武山 梅乗	065102	134
保健福祉論	山本 哲也	065202	134

I 教 職 課 程

履修コード	076701
科目名	教職入門
担当者名	藤木 篤典 <small>ふじき あつのり</small>

講義のねらい 高度消費社会のもと、国際化・情報化の進展、過密・過疎、少子化、近年の不況の中、多様化した生徒をどう教育するか。日本の教育界は、価値観の多様化、生徒間の「いじめ」や不登校等の多くの問題を抱えている。

それらの問題を解決するための力量が教師に求められる。制度面でも多様な高校（通信制、昼夜間定時制、全・定単位制、総合学科）が設立されている。

この講義では、教師になるための勉強の第一歩として、必要に知識を学びます。生徒は、教師の接し方、アドバイス等で大きく変化します。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教育について
- ・教育機関・制度
- ・法体系について
- ・教育法規
- ・教師の身分（採試）
- ・教育免許状
- ・職務と身分（校長、教頭、教諭、養護教諭、実習助手、事務職）
- ・特別活動
- ・教育内容
- ・教育課程
- ・『児童の権利条約』と学校の指導
- ・校務分掌について
- ・中央教育審議会の動向と教育の変化について
- ・教育関係の時事問題について
- ・その他（学校評議員制度、関係諸団体、研修、国際交流、障害児教育、生徒指導等）

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書**

採用試験に向けて、自己の進路として受けとめて学んでほしい。
出席状況、レポート等の提出など総合的に評価する。
教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

履修コード	076711
科目名	教職入門
担当者名	磯山 進 <small>いそやますすむ</small>

講義のねらい 近年の教育改革の進展や社会の変化に伴い、学校教育に対する国民各層の関心は一層高まり、教育や教師の在り方にも厳しい目が向けられている。一方、学校には改善・充実を図るべき多様な課題があり、教育行政による改善や教員の力量の一層の向上が求められている。かかる動向を踏まえ、本講では学校教育の在り方とその担い手である教師の在り方について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 学校教育の現状と課題
 2. 法規からみた学校教育と教育職員
 3. 学校の組織編制と運営
 4. 学習指導要領と教育課程の編成
 5. 授業力の向上と授業研究
 6. 特別活動の意義とその在り方
 7. 学級（HR）経営と担任の役割
 8. 生徒指導の諸問題とその対応
 9. キャリア教育
 10. 総合的な学習の時間
 - 11～13. 教育課題への対応（①ボランティア活動 ②人権教育 ③学校評価）
 14. 教育公務員としての服務と教師の研修
 15. 教師に求められる資質と能力
- 教員を志望しているか、教育に強い関心を持っている者の履修を期待する。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

出席状況、レポート、定期考査で総合的に評価する。
天井勝海編著『現代実践教職入門』（学事出版）2,200円
『中学校学習指導要領 解説—総則編—』（株式会社ぎょうせい）『高等学校学習指導要領解説—総則編—』（東山書房）
その他の参考文献、課題図書は授業の中で示す。

履修コード	305401
科目名	教職入門
担当者名	天井 勝海

講義のねらい 今日の実生の興味・関心、能力・適性、進路希望等は極めて多様化している。また、生徒を取り巻く教育環境は、国際化・情報化・高齢化・少子化などの著しい進展や生涯学習社会への移行など急激に変化している。このことを踏まえ、これからの学校教育や教育職員としての在り方などについて具体的な課題を取り上げ考察し、教員に求められている基本的な資質や能力等を育成する。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 学校組織と教員の役割と責任
 2. 学習指導要領と教育課程の編成
 3. 「生きる力」と総合的な学習の時間
 4. 教科・科目の指導内容・方法の改善
 5. 健全育成と生徒指導
 6. キャリア教育と進路指導
 7. 学級経営やホームルーム経営の在り方
 8. 教育法規とその内容
 9. 学校における接遇の実際
 10. 教員に求められる資質・能力

履修上の留意点 教職入門として不可欠の内容を取り上げます。他の教職関係の学習の基礎・基本ともなります。
成績評価の方法 試験や指導計画の作成、発表、模擬授業の成果などのほかに、授業への参加の状況（出欠席の状況）なども重視し、総合的に評価します。

教科書 現代実践教職入門（学事出版）著者名 天井勝海 価格2200円
参考書等 必要なものは授業の際に紹介する。また、参考となる資料は、プリントして配付します。
その他 グループ討論や発表学習なども取り込んだ授業となります。

履修コード	212001
科目名	教育基礎論 教育の思想
担当者名	豊田 千代子

講義のねらい さまざまな職種の職人たちの仕事について知識を深めるとともに、職人たちがどのようにして仕事に必要な技や知恵などを獲得してきたのかを考える。また、それらの獲得プロセスの検討をとおして、学びとは何かについても考えていく。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス、現代社会と職人 (2～6) 職人たちの仕事 (7～9) 職人たちの修業方法 (10～11) 徒弟制度とその意味 (12～14) 学びとは何か (15) まとめ
成績評価の方法 出席状況とレポートによる。
教科書 初回の授業時に指示する。
参考書等 適宜紹介する。

履修コード	212101・212201
科目名	教育基礎論 教育の思想
担当者名	北村 三子

講義のねらい 教育という営みへの理解を深めつつ、近代的な教育思想・理念の性格を理解します。最終的には、教育思想や理念などをどのように実践にいかしていけるかを考えられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 人間の学びや教育を、生命としての営みのレベルから押さえ、次いで、前近代的な人間形成のあり方を対照項として近代教育の性格を論じます。特に、近代教育思想・理念との関連を見てゆきます。スケジュールは、おおむね、人間と教育（1～3）、前近代の人間形成（4～6）、近代の人間形成（7～9）、近代教育思想とその役割（10～15）となります。

履修上の留意点 この科目は教職の専門科目ですので、新聞を読むなどして、日頃から日本の教育への関心を高めるようにしてください。

成績評価の方法 出席状況とレポートによります。
参考書等 教場で指示します。

履修コード	212301・212401・212701
科目名	教育基礎論 教育の思想
担当者名	伊藤 茂樹

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマは以下の通り。
 ・学校教育の本質と機能
 ・近代日本における学校教育
 (1~3) 学校教育という制度、(4~6) 学校という空間、(7~9) 学校教育の機能、(10~12) 外来の装置としての学校、(13~15) 立身出世と学歴主義

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。
 学期末試験により評価する。
 教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	212501
科目名	教育基礎論 教育の思想
担当者名	萩原 建次郎

講義のねらい

この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていききたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知(主に教育史・教育哲学)との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 自らの教育・学習体験をふりかえるー「学びのマップ」「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる(1~4)
- ② 自己と他者との体験知の交流ー「学びのマップ」「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う(5)
- ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流
 - (1) 学ぶことの意味と構造(6~8)
 - (2) 教えることの意味と構造(9~12)
 - (3) 教えるー学ぶ関係の前提にある子ども観・大人観(13~15)

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習になっている。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意してほしい。また、コメントを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法
教科書
参考書等

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。
 特に使用しない。
 そのつど紹介する。

履修コード	212601
科目名	教育基礎論 教育の思想
担当者名	坂本 信昭

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちに教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教育の理想と目的(1~5)
- ・わが国の教育目的の変遷(6~12)
- ・現代・社会の変化と教育目的(13~14)
- ・その他(大村はま、林竹二などから学ぶものは何か)(15)

履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等

授業の出欠は厳密にとる。
 課題レポート、自主レポート、出席等により総合的に評価する。
 西村純子他著『現代教育を考える』(昭和堂)2, 600円
 デューイ著『学校と社会』(岩波文庫)410円

履修コード	212901
科目名	教育制度・環境論 教育と社会
担当者名	豊田 千代子

講義のねらい わたしたちが受けてきた教育を「身体、身体感覚」という観点から検討し、学校教育をめぐる諸問題を考える。また、それらの問題をもとに、近代の学校教育のあり方やそれに影響を及ぼしている社会のあり方などについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス、「身体、身体感覚」の観点からの教育体験のふり返り (2) 教育体験のふり返りからみえる教育の諸問題 (3～5) 子どもの身体の実態 (6～8) 身体感覚とコミュニケーション (9～10) 自分の身体への気づき (11～13) 教育の諸問題と近代の社会・学校教育のあり方 (14) 子どもの身体をひらく教育に向けて (15) まとめ

成績評価の方法 出席状況とレポートによる。

教科書 教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等 適宜紹介する。

履修コード	213001・213101
科目名	教育制度・環境論 教育と社会
担当者名	北村 三子

講義のねらい 近代学校教育の性格を理解するとともに、日本におけるその成立経緯や特徴について学びます。また、現代の学校教育の問題点についても考えてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 内容・スケジュールは、おおむね次の通りです。
はじめに(1)、国家と教育(2～6)、教育改革とその社会的背景(7～10)、学校が抱える問題(11～14)、まとめ(15)

履修上の留意点 この科目は教職課程の必修科目です。日頃から教育への関心を高めるようにしてください。

成績評価の方法 出席状況とレポートによります。

参考書等 教場で指示します。

履修コード	213201・213301・213601
科目名	教育制度・環境論 教育と社会
担当者名	伊藤 茂樹

講義のねらい 学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール とりあげるテーマは以下の通り。
・現代の教育問題
・教育改革の動向
(1～2) 教育問題とは何か、(3～5) 戦後の教育問題の変遷、(6～10) 80年代以降の教育問題、(11) 近年の教育改革の経緯、(12～14) 教育改革の方向性、(15) 教育改革の問題点
ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

履修上の留意点 学期末試験により評価する。

教科書 教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	213401
科目名	教育制度・環境論 教育と社会
担当者名	萩原 建次郎

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ①「居場所」をめぐる言説の登場（1～3）
- ②子ども・若者の自己形成空間の変容（4～6）
- ③「居場所」の意味を読み解く（7～9）
- ④子ども・若者の居場所空間をデザインする（10～12）
- ⑤「居場所」に関わる指導者論（13）
- ⑥「居場所」と子どもの参加・参画論（14～15）

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法
教科書
参考書等

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

とくに指定しない

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり」の場へ－』（学陽書房）3,000円

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）

ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

履修コード	213501
科目名	教育制度・環境論 教育と社会
担当者名	坂本 信昭

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々がうまれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなる時、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。また、環境が人間形成や教育に大きな影響を与えることは否定しがたい。人びとが生活する基盤が環境なのだから、教師の思想も教え方も環境によって大きく条件づけられており、その教育を受ける子どもも教師からだけでなく環境によって教育の受けとり方が異ってくる。

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ（1～3）
- ・学校の社会的機能（4～5）
- ・学校教育の現実と課題（6～7）
- ・その他（教師論等）（8）
- ・現代社会と教育環境（9～10）
- ・家庭の教育環境（親子関係・家庭生活）（11～12）
- ・都市の教育環境（都市の学校と子ども）（13）
- ・農・漁村の教育環境（農・漁村の学校と子ども）（14～15）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法
参考書等

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

デュニー著『学校と社会』（岩波文庫）410円

履修コード	213801
科目名	学習・発達論 発達と学習の心理学
担当者名	前田 洋士

講義のねらい

人間の教育活動や教育問題に対して心理学的にアプローチする教育心理学の主要な関心事として、発達および学習に関する様々なトピックスがあります。この発達と学習の問題を中心に、教育者が理解しておくべき事柄を取り上げて授業を進めていきます。つまり、「人はどのようにして育ち学んでいくのか?」、「そのプロセスにおいて親や教師や友人等からの働きかけはどのようにかわってくるのか?」といったことについて分析・考察していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

- ①発達の定義 (第1回)
- ②発達の規定因 (遺伝と環境) (第2回)
- ③発達のメカニズム (成熟と経験) (第2回)
- ④発達観と教育可能性 (第3回)
- ⑤レディネス、臨界期と早期教育 (第3回)
- ⑥発達の様子 (発達時期・発達段階) (第4回～第8回)
- ⑦学習のメカニズム (学習理論) (第9回～第12回)
- ⑧学習と動機づけ (学びを支える意欲) (第13回)
- ⑨教授—学習過程 (第14回)
- ⑩個性・個人差と教授法 (適性—処遇相互作用) (第15回)

成績評価の方法

平常授業期間中に課すレポート課題と学期末試験の成績および出席状況等の平常点との総合評価によって評価を行う予定です。追試験有り。

教科書
参考書等
その他

使用しません。(配布プリントを中心に授業を進めます)
必要な場合は、そのつど授業で指示します。

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

出席状況が非常に悪い学生は、期末試験の受験を認めない場合がありますので、注意してください。

履修コード	213901・214001
科目名	学習・発達論 発達と学習の心理学
担当者名	大浜 幾久子

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のように基本的な問題をめぐる諸研究を学び、21世紀の新しい教育観を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

第1回：導入「6歳から学校教育が始まるのは何故だと思いますか?」

第2～7回：発達段階理論をめぐって

- ①エリクソンの発達段階
- ②生涯発達
- ③アイデンティティの形成
- ④ピアジェの認知発達段階
- ⑤感覚運動知能から表象的思考へ
- ⑥前操作から操作的思考へ

第8～10回：発達と学習の理論 (言語習得から考える)

- ①スキナーの行動分析学
- ②チョムスキーの生成文法
- ③ピアジェの発生的心理学

第11～14回：初期環境の貧困による発達遅滞・障害と回復

- ①事例研究
- ②愛着の成立
- ③感覚運動知能と言語習得
- ④学校教育の役割

第15回：発達と学習と学校教育 (知育と徳育)

成績評価の方法
参考書等

定期試験 (学期末) の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

藤永保 他 (著) 『人間発達と初期環境』有斐閣 1987

他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

履修コード	214101
科目名	学習・発達論 発達と学習の心理学
担当者名	藤原 善美

講義のねらい 本講義では、発達と学習の心理学を、体系的に学習します。「発達」とは、人がその誕生、あるいは受胎から死亡するまでの間に示す身体的、行動的、認知的な変化のことです。発達の諸理論におけるキーワードにふれながら、基礎的な知識の理解を目指します。また、経験による比較的永続的な行動変化のことをさす「学習」について、主な学習理論や動機づけ理論を学び、学校教育への応用を考えることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (1) 発達とは何か (2～3) 発達理論、発達段階と発達課題 (4～7) 胎児期・乳児期、幼児期、児童期、青年期、成人期から老年期を含む生涯発達 (8～10) 認知の発達、言語と知能の発達、社会的発達 (11) 発達障害 (12) 学習とは何か (13～15) 学習理論、動機づけ理論、情動の理論

履修上の留意点 学習意欲の高い学生の受講を望みます。
成績評価の方法 成績は、学期末試験の結果により評価します。試験を受けない限り、評価の対象にはなりません。
教科書 特に指定しません。参考文献は、必要に応じて授業中に紹介します。

履修コード	214201・214601
科目名	学習・発達論 発達と学習の心理学
担当者名	飯田 都

講義のねらい 人間は、親兄弟、友人、そして教師といった、多くの他者との多面的なかかわりの中で成長し、「自己」を見つけつくりあげていきます。教職を志す者は他者の成長発達に深く関わる立場にあります。人の発達・学習に関わる基本的な心理学的知識を学び、学校教育の意義をはじめ、教師や大人に求められる資質、「教える」「学ぶ」ということの意味等についての考えを深め、自らの役割を問い直していくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール (1) 人の発達・学習と教育 (2～5) 乳幼児期・児童期・青年期の発達課題 (6) 思春期の自我の発達、(7) 学習と認知(連合説と認知説) (8～9) 知識の種類と構造、技能と知識の獲得 (10～13) 動機づけ、(14～15) 学習過程・学習理論の教育への応用

履修上の留意点 聞いたことを受身的に自らの思想とするのではなく、講義の内容にヒントを得て、自分自身の自分らしい考えを創り出していくことを期待しています。

成績評価の方法 中間試験、期末試験、および毎授業ごとの課題の成果(単純な出席点ではありません)を総合して評価します。ただし、出席が基準に満たない場合には、単位の取得はできないと考えてください。

教科書 特に使用しません。授業時に資料を配布します。
参考書等 西林克彦 『間違いだらけの学習論』 新曜社
川島一夫 『図でよむ心理学「発達」』 福村出版

履修コード	214301・214401・214501
科目名	学習・発達論 発達と学習の心理学
担当者名	角野 善司

講義のねらい 教育心理学は、教育場面において、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てています。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール (1)教育心理学とは (2・3)発達観の変遷 (4・5)発達の規定因 (6)教育の最適期 (7)発達段階と発達課題 (8)学習への動機づけ (9)内発的動機づけ (10)学習性無力感 (11)原因帰属 (12)学習目標と遂行目標 (13・14)補遺 (15)学期末テスト

履修上の留意点 この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法 免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書 使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。
参考書等 講義の進行に合わせ、適時紹介します。

履修コード	214801
科目名	教育課程論 カリキュラムと学習
担当者名	前田 洋士 <small>まえだ ひろし</small>

講義のねらい	人間の発達と学習のしくみを踏まえた上で、カリキュラム（教育課程）の構造（構成要素）、社会的意義、編成方式などを理解し、日本の現行カリキュラム（教育課程）について考えていきます。
講義の内容・授業スケジュール	①カリキュラムとは？（カリキュラムの構成要素）（第1回） ②カリキュラムの意義と規定因（第2回） ③カリキュラムの編成原理（方式）（第3～4回） ④カリキュラム編成方式の変遷（第5～6回） ⑤学習指導要領の変遷（第7～8回） ⑥現行学習指導要領の特徴と問題点（第9～11回） ⑦「ゆとり教育」と「学力低下」論争（第12～13回） ⑧PISA調査結果について（第14～15回）
成績評価の方法	平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績および出席状況等の平常点との総合評価によって評価を行う予定です。追試験有り。
教科書等その他の	使用しません。（配布プリントを中心に授業を進めます） 必要な場合は、そのつど授業時に指示します。 前期に「発達と学習の心理学」を受講することを原則とします。 出席状況が非常に悪い学生は、期末試験の受験を認めない場合がありますので、注意してください。

履修コード	214901・215001
科目名	教育課程論 カリキュラムと学習
担当者名	大浜 幾久子 <small>おほはま いくこ</small>

講義のねらい	はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行および新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。
講義の内容・授業スケジュール	第1回：日本の学校制度と学校カリキュラムの歴史 第2回：「学習指導要領」の変遷 第3回：現行「学習指導要領」と新しい「学習指導要領」 第4回：学生が学んだ小学校の「学習指導要領」と教科書 第5回：学生が学んだ中学校の「学習指導要領」と教科書 第6回：学生が学んだ高等学校の「学習指導要領」と教科書 第7回：小学校「算数」のカリキュラム 第8回：「国語」と「外国語」のカリキュラム（言語教育と文学教育） 第9回：小学校から「英語」を始めることの是非 第10回：「総合的な学習の時間」 第11回：総合学習を展開する学校 第12～14回：学校制度とカリキュラムの国際比較 ①フランスの学校制度とカリキュラム ②国際共通教科書作成の試み ③隠れたカリキュラムと教師文化 第15回：カリキュラム論（付：レポートの作成法）
成績評価の方法	レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。
参考書等	『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)
その他の	その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。 前期に、「学習・発達論」(「発達と学習の心理学」)を履修することを原則とします。

履修コード	215101
科目名	教育課程論 カリキュラムと学習
担当者名	^{よじわら} 藤原 ^{よしう} 善美

講義のねらい 教育内容の全体的計画である教育課程（カリキュラム）について、授業＝学習過程のなかでの特徴や、教育目的・教育方法との関連性を、日本の教育制度に基づいて学ぶことを目的とします。また、学校教育の実際、および発達障害の特徴と特別支援教育についての理解を目指し、教育現場の諸問題について、どのような解釈、対処があるかを考えるきっかけとなればと思います。

講義の内容・授業スケジュール (1)カリキュラムとは何か (2～4)日本の教育制度 (5～7)学習指導要領 (8～10)教授法 (11)教育評価 (12)特別支援教育 (13～15)学校教育の実際と今後の課題

履修上の留意点 学習意欲の高い学生の受講を望みます。

成績評価の方法 成績は、学期末試験の結果により評価します。試験を受けない限り、評価の対象にはなりません。特に指定しません。参考文献は、必要に応じて授業中に紹介します。

教科書

履修コード	215201・215601
科目名	教育課程論 カリキュラムと学習
担当者名	^{すぎやま} 杉山 ^{ふたさ} 二季

講義のねらい カリキュラムとは単に事前に立てる教育計画だけを指すのではなく、子どもの学習経験の履歴でもある。カリキュラムや学習をめぐる理論を理解し、授業実践を観察・検討するための多様な見方を身につけ、子どもの経験を豊かにするためのカリキュラムをデザインする方法を探っていく。

講義の内容・授業スケジュール 講義では受講者の理解を踏まえながら、以下のトピックについて扱う予定である。(1)カリキュラムとは何か、(2)学校とはどのような場所か、(3-4)カリキュラムの理論、(5)授業と学習(ビデオ視聴)、(6)知識とは、学力とは何か、(7-8)日本の近現代カリキュラム史(学習指導要領の変遷)、(9)授業と学習(ビデオ視聴)、(10)学びの共同体の試み、(11-13)かくれたカリキュラムとは、(14-15)まとめと補論

履修上の留意点 実践を見る目を養い、事実に基づいた考察を可能にするために、小・中・高校の授業を撮影したビデオを観察・検討する機会を何回か設ける。

成績評価の方法 講義は1回1回が完全に独立したのではなく、相互に関係の深い内容であるので、できるだけ毎回出席することが望ましい。

教科書 出席点(授業中の課題の提出状況)と期末レポートの内容によって評価する。授業中の課題とは、その日の講義を聞いて考えたことや感じたことを書く感想文のことであり、2回の講義に1回程度課すものである。出席が極端に少ない場合は不可とするので注意して欲しい。期末レポートは講義内容を踏まえた記述式の課題であり、課題の意味や事実の理解、構成力、表現力等を総合的に評価する。

参考書等 教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布する。
講義中に適宜紹介する。

履修コード	215301・215401・215501
科目名	教育課程論 カリキュラムと学習
担当者名	^{なみの} 角野 ^{ぜんじ} 善司

講義のねらい この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどのように規定し、導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール (1)カリキュラム(教育課程)とは (2)カリキュラムに関する法制 (3)カリキュラム編成の原則 (4)学習指導要領改訂の歴史 (5-6)平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (7-8)平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針 (9-12)平成20年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (13-14)補遺 (15)学期末テスト

履修上の留意点 この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法 免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書 日本教材システム編集部「ひと目でわかる2色刷 中学校学習指導要領新旧対照表 平成10年版×平成20年版」教育出版

参考書等 文部科学省「中学校学習指導要領解説 総則編 平成20年9月」ぎょうせい
講義の進行に合わせ、適時紹介します。

履修コード	076801・077101
科目名	教育とメディア
担当者名	前田 洋士 <small>まさの ひろし</small>

講義のねらい

この授業のねらいを、次の二つとする。

1. 情報化社会の特質と問題点を把握したうえで、教育分野におけるコンピュータの様々な利用形態を概観し、メディアとしてのコンピュータの活用方法について、教育学（教育方法論）の視点から理論的に考察する。

2. 問題解決思考および思考表現のツール（メディア）としてコンピュータを利用してみる。

授業は常にコンピュータ教室で行ない、講義と実習を適宜組み合わせ併行して授業を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

講義部分の授業内容は、以下の通り。

- ① 社会におけるコンピュータの役割の変遷（第1回）
- ② コンピュータの進化史（第2回）
- ③ 高度情報化社会のキーワード（第3～5回）
- ④ ネット社会の諸相（第6～9回）
- ⑤ 情報化と社会問題（第10回）
- ⑥ 教育におけるコンピュータ利用形態の分類（第11～13回）
- ⑦ 「情報教育」の進め方について（第14～15回）

実習部分の授業内容として、以下の事項を予定している。

- ① 表計算ソフトEXCELによるデータ整理・集計・分析、およびシミュレーション（第1～9回）
- ② インターネット（WWW）上での情報検索・収集—リンク集や検索エンジンの使い方など（第10回）
- ③ ホームページ表示のしくみ（HTML）（第11～12回）
- ④ プレゼンテーションソフト（Power Point）の機能と基本操作（第13～15回）

履修上の留意点

授業時間外での学習課題を課すので、情報センターの自習室を利用して遂行すること。

毎回操作実習を行うので、全回出席を心がけること。

成績評価の方法

平常点（出席、学習態度、提出物など）と期末試験（ペーパーテスト）との総合点によって、成績評価を行なう。

教科書
参考書等
その他

教科書は使用せず、配布プリント等を利用して授業を進める予定である。

参考書等については、そのつど授業時間内で指示する。

コンピュータ教室の収容人員の制約から履修者数の調整をしたり、重要な注意事項の説明を行うので、初回の授業には必ず出席すること。

履修コード	076901・077001・077201・077301
科目名	教育とメディア
担当者名	石橋 達也 <small>いしばし たつや</small>

講義のねらい

本授業では情報化が著しく進展している今日の社会的状況における、新たな教育形態と情報メディアの在り方について学んでいきます。毎回の授業の前半では、学校教育における情報メディアの活用状況の現状を眺めて、今後の課題を探っていきます。続いて後半では、インターネットに関連したパソコン操作の実習を行ない、パソコンやネット活用の利点や問題点を理解します。その上で、情報メディアを教育実践に活用する際に必要な基礎能力の習得を目指すとともに、教師の役割についても検討していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。

- ・教育の情報化の現状と課題
- ・情報メディアを活用した新たな授業の形態
- ・小中高校の教育現場での取組みの現状と課題
- ・外国における教育の情報化の現状
- ・インターネット利用の影響や問題点
- ・情報メディアリテラシーの意義、など。

履修上の留意点

履修する学生は、この授業が「教職」を目指す上で必要な科目であることを自覚した上で、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むこと。

成績評価の方法

成績の評価は期末試験の得点を中心に、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書
参考書等
その他

教科書は使用せず、必要に応じて配布プリント等を利用して授業を進めていきます。

授業の中で、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。

毎回の授業の中で、パソコンの実習をします。初歩的なレベルから始めていきますが、受講学生には「学ぶ意欲」をもって積極的に取り組むことを期待します。

履修コード	077401・077501・077601・077701
科目名	教育とメディア
担当者名	<small>しばさき じゆんじ</small> 芝崎 順司
講義のねらい	本講義は、ユビキタスコンピューティング時代の教員として必須と思われる各種のリテラシー（知識・技能・態度）を修得する目的や方法論について具体的に検討することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校教育・社会教育におけるマルチメディア・ネットワーク利用の目的・方法について具体的に検討する。 2 プレゼンテーションなどが必要な教育場面を設定し、基本的なアプリケーションを活用して、コンテンツを作成する。 3 情報教育や情報システム、情報倫理など教員として必要な知識・技能を身につける。
履修上の留意点	コンピュータ等を活用した講義や実習を多く取り入れる。現在進行中の内容を扱うため、問題提起にならざるをえない内容も多く含む。授業への積極的参加を期待する。
成績評価の方法	出席重視。評価は授業中に行い提出される課題と出席状況を総合的に評価しておく。
教科書	授業中に紹介する。
参考書等	必要に応じて、授業中に紹介する。

履修コード	077901・078001
科目名	道徳教育の研究
担当者名	<small>ふじき すすむ</small> 藤木 篤典
講義のねらい	21世紀は「心の世紀」といわれているが、教育現場をはじめ「いじめ」などの不適切な現象がみられ、社会問題となっている。 学校教育では、社会生活の中で、主体的に自己実現をはかる「生きる力」の育成が課せられている。 授業では、学習指導要領の「道徳」の趣旨にもとづき、道徳教育の内容・在り方や、指導力を身につけ、学習指導案の作成、指導方法などについて基本的課題を研究する。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 道徳教育の意義と歴史 2 道徳教育の変遷 I・II 3 「道徳」の目標・内容と教材について I・II 4 「道徳」の指導案の作成① 5 「道徳」の指導案の作成② 6 「道徳」教育の問題点 7 特別活動と道徳教育 8 道徳の評価 9 道徳教育の問題点と今後の課題
履修上の留意点	指導案の作成をはじめ、積極的に広い視野を養い、指導力を身につけてほしい。
成績評価の方法	定期試験はしない。出席状況を重視し、レポート、学習指導案の作成等、総合的に評価する。
参考書等	文部科学省『中学校学習指導要領解説―道徳編―』（財務省印刷局）260円

履修コード	078101・078201
科目名	道徳教育の研究
担当者名	<small>すぎさき よういちろう</small> 杉崎 洋一郎

講義のねらい 道徳教育は、学校教育全体を通して行われるものです。「道徳の時間」をはじめとして、各教科・特別活動・総合的な学習の時間のそれぞれの特質に応じて適切な指導が行われなければなりません。文献等に基づく理論的な研究だけでなく、レポート、学習指導案の作成等を通して、学校教育における実践に役立つ指導力を身につけさせることをねらいとしています。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 はじめに
- 2 道徳教育の基本的な在り方、道徳教育の目標
- 3 道徳教育の変遷
- 4 心の教育・道徳教育
- 5 「道徳の時間」の指導内容 その1
- 6 「道徳の時間」の指導内容 その2
- 7 「道徳の時間」の指導の実際
- 8 「道徳の時間」の学習指導案作成
- 9 「道徳の時間」の授業視聴 その1
- 10 「道徳の時間」の授業視聴 その2
- 11 道徳教育と生活指導・特別活動
- 12 道徳教育の評価と道徳的実践力、道徳教育の課題

**履修上の留意点
成績評価の方法**

授業においては、レポートの提出、学習指導案の作成等に積極的に取り組んでほしい。出席状況、レポート、学習指導案の提出、授業における参加状況等を総合的に判断して評価します。

**教科書
参考書等**

教科書は特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布します。必要に応じて紹介します。

履修コード	078301・078401
科目名	道徳教育の研究
担当者名	井上 勝 <small>いのうえ まさる</small>

講義のねらい 今日学校教育の課題は「生きる力」をもった生徒の育成であり、その要となるのが「心の教育」、道徳教育である。道徳の時間は学級担任が担当するものであり、道徳教育の指導理論・方法を習得することはすべての教員にとって不可欠のことである。

本講座では、学習指導要領に基づいて道徳教育の基本的な理論・方法について理解するとともに、道徳の時間の学習指導案を作成し、道徳の授業を担当できる実践的な指導力を習得することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 道徳教育の意義と課題
2. 道徳教育の基本構造
3. 戦前の道徳教育とその問題点
4. 戦後の道徳教育とその課題
5. 学習指導要領と道徳教育
6. 道徳資料の内容分析と学習指導案（2）
7. 内容分析と学習指導案の作成（3）
8. 模擬授業（2）
9. 道徳教育の基礎理論
10. 道徳教育の評価、他の教育活動との関連

履修上の留意点

道徳教育の基礎理論を学ぶと同時に、学習指導案の作成に重点を置き、直ちに「道徳の時間」の授業を担当できる指導力の養成をねらいとするので、授業への能動的な参加を望む。

成績評価の方法

次の3つの観点から総合的に評価する。尚、レポートは必ず2回提出する。

- ① 出席状況
- ② 授業中に提出する学習指導案等
- ③ レポート（2回）

**教科書
参考書等
その他**

文部科学省『中学校学習指導要領解説―道徳編―』（財務省印刷局）260円

金井肇『道徳授業の基本構造理論』（明治図書）2,000円

授業中の飲食、携帯電話の使用、私語等の行為は厳禁するので、それに同意の上で受講すること。

履修コード	078611・078711
科目名	特別活動論
担当者名	藤木 篤典 <small>ふじき あつひ</small>

講義のねらい 特別活動は、知育のみを重視せず、バランスのとれた豊かな人間性を育む徳育を目指している。「いじめ」や不登校の問題をはじめ、国際化、情報化、科学技術の発展、環境問題への関心の高まり、高齢化・少子化のもと、集団活動をおおして、好ましい人間関係を築き、個人の自覚と責任ある態度を身につけることを目的としている。

特別活動の内容、指導原理、指導計画・方法について学び、実践的な指導力を養成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 特別活動の意義・目的、ガイダンスについて
- 2 特別活動の歴史の変遷 I・II
- 3 特別活動の内容と他教科との関連
- 4 学級活動
- 5 生徒会活動
- 6 学校行事の意義と活用 I・II
- 7 ホームルーム活動
- 8 クラブ活動・部活動
- 9 ボランティア活動と地域との連携
- 10 特別活動の評価、課題と展望

履修上の留意点

特別活動の役割と内容を理解し、指導計画の作成や、指導内容・方法などについて、実践的な指導力を身につけてほしい。

成績評価の方法

試験、出席状況、指導案作成、レポート等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部科学省『中学校学習指導要領解説―特別活動編―』（財務省印刷局）70円

文部科学省『高等学校学習指導要領解説―特別活動編―』（東山書房）126円

参考書等

教師養成研究会 教職課程講座6『特別活動の理論と方法―改訂版―』（江川ピン成編（学芸図書株式会社）1,260円

履修コード	078811・078911
科目名	特別活動論
担当者名	すぎさき よういちろう 杉崎 洋一郎

講義のねらい	「特別活動」が人間形成に果たす役割は極めて大きい。「生きる力」を育むためには、塾や予備校では教えることのできない特別活動の果たす役割は重要です。 この授業では、「特別活動」の特質や、教育的意義、目標、内容及び指導方法等について、理論と実践の両面から講義します。「特別活動」は、特に実践的な面が重要ですから、活動内容や指導方法等に具体的な資料を活用して、教師としての実践的な指導力を身につけることをねらいとしています。
講義の内容・授業スケジュール	1 はじめに、教育基本法、学習指導要領、特別活動とは何か 2 特別活動の目標、特別活動の歴史的変遷 3 特別活動の教育的意義、特別活動の内容 4 学級（ホームルーム）活動の特質と内容、指導の実際 5 生徒会活動の特質と内容、部活動、ボランティア活動 6 学校行事の特質と内容 7 進路指導 8 横断的・総合的な学習 9 教育課題1 国際理解教育・帰国生徒教育 10 教育課題2 生徒指導上の諸問題（学級崩壊、不登校、いじめ等） 11 特別活動の評価と今後の課題と展望1 12 今後の課題と展望2
履修上の留意点	特別活動における実践的な指導力を身につけるために、学習指導案・課題レポート提出等の積極的な参加を期待しています。
成績評価の方法 教科書 参考書等	試験、レポート、学習指導案の提出、及び出席状況等を総合的に判断して評価します。 教科書は特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布します。 必要に応じて紹介します。

履修コード	079011・079111
科目名	特別活動論
担当者名	いのうえ まさる 井上 勝

講義のねらい	特別活動とは、学校の集団活動を通して生徒の個性の伸長と社会的資質の育成をねらいとする活動であり、具体的には学級（ホームルーム）活動、学校行事、生徒会活動などである。特別活動の指導は教科指導以外のほとんどの領域・機能を含んでおり、このため、その指導は学級担任の主要な職務と重なるものである。 本講座では、特別活動の基礎理論を理解するとともに、受講者の小中高校での学校生活の positive な体験を事例として取り上げ、事例研究を中心として具体的な指導の考え方や方法を理解し、学級（ホームルーム）担任としての実践的指導力を習得することをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	1.特別活動の意義と内容（2） 2.学級（ホームルーム）活動の役割と内容（2） 3.生徒会活動の役割と内容（2） 4.学校行事の役割と内容（2） 5.部活動の役割と指導（2） 6.特別活動と生徒指導、教育相談 7.特別活動とガイダンス 8.特別活動とボランティア活動 9.特別活動の評価
履修上の留意点	受講者の小中高校での特別活動の positive な体験を事例とする事例研究を中心にして授業を行うので、発表、討論等への積極的な参加を求める。
成績評価の方法	次の3つの観点から総合的に評価する。尚、レポートは2回必ず提出する。 1.出席状況 2.授業中に提出する意見、感想等 3.レポート（2回）
教科書 参考書等 その他	文部科学省『中学校学習指導要領解説－特別活動編－』（ぎょうせい） 文部科学省『高等学校学習指導要領解説－特別活動編－』（東山書房） その都度紹介する。 1.授業は事例研究、受講者による事例発表に基づく根討論形式の授業を中心に行う。 2.授業中の飲食、携帯電話の使用、私語等の行為は厳禁するので、それに同意の上で受講すること。

履修コード	079301・079701・079801
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	佐藤 尚人

講義のねらい	教科の学習の指導はもちろんのこと、教師には、子どもが抱える様々な問題への対応も求められます。子どもの理解や指導の方法、指導の際の注意点などについて講義していきます。
講義の内容・授業スケジュール	（１）生徒指導の基本的考え方：教師の役割や問題行動の理解（２～４）（２）子どもの理解と指導の手がかり：エリクソンの発達段階・課題の考え方（５～８）（３）具体的な問題行動を考える：不登校・いじめ・非行など（９～１２）（４）問題行動への対応・指導の方法（１３～１５）
履修上の留意点	毎回出欠を確認し、欠席や遅刻が一定以上になった場合は評価の対象から除外します。受け身での受講ではなく、次回の授業内容について事前に調べたり、講義の内容を事後に確認するなどしてください。
成績評価の方法	出席状況が佳良で、評価対象となった受講者について、期末の筆記試験の点数で評価します。ただし、発言や質問、事前学習など、授業への積極的な参加態度をプラスして最終的な評価を出します。
教科書	使用しません。
参考書等	特に指定しません。必要に応じて、講義の中で適宜紹介します。

履修コード	079401・079901・080001
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	遠藤 司

講義のねらい	生徒指導、ならびに進路指導の名のもとに、現在の学校で様々な教育的営みが行われている。生徒の成長を支える重要な関わりであるこれらの指導について、将来教職に就くことを目指している人間として、その意味を改めて問い直し、無意識のうちに既にもっているであろう自らの生徒指導観、および進路指導観をとらえ直した上で、より豊かに深めていくことがこの授業の目的である。
講義の内容・授業スケジュール	１．ガイダンス：生徒指導観を考えるための視点（１～２） ２．生徒指導の理論について学ぶ（３～６） ３．問題行動について考える（７～１０） ４．進路指導について考える（１１～１４） ５．全体のまとめ（１５）
履修上の留意点	主体的・積極的に授業に参加すること。授業時に授業者により発せられる様々な問いに対して自分の言葉で考えようとする。ほぼ毎回の授業で授業者の問いについて考えたことを書く機会を作るが、それに対しては誠実に真剣に考え、自分の言葉で文章にすること。要するに、考えることを厭わない学生の参加を望む。
成績評価の方法	授業期間内の試験またはレポート、および学期末のレポートにより成績評価を行う。なお、授業への参加の仕方の積極度、また、授業時の提出物の内容等も成績評価に加味する場合もある。
教科書	特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

履修コード	079501・079601
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	目良 秋子 <small>めら あきこ</small>

講義のねらい 生徒指導は学業、社会性、道徳性、進路などの諸領域の指導を統合するものと考えられます。学校教育活動においてこうした統合的な生徒指導は生徒の個性を尊重・伸張しつつ、社会的資質・行動を高めるという方向性を持って行われます。しかし、児童期・青年期は発達的に変化の大きい時期であると同時に、子どもたちの問題も複雑・個別性を伴っているため生徒指導に必要な生徒理解が困難な場合があります。そこで、この授業では児童期・青年期において重要と思われる自己意識の発達とアイデンティティの達成というテーマから生徒理解を深めます。また、進路選択は青年期における重要な課題であるため、指導上留意すべき点について最近の職業選択に関わる諸問題と合わせて講義を行う予定です。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス及び生徒指導論概説（1）－生徒指導の意義について－
2. 生徒指導論概説（2）－生徒指導の諸側面について－
3. 生徒指導論概説（3）－生徒指導の歴史－
4. 生徒理解の意義とその方法
5. 学校教育における生徒指導の現状（1）
6. 学校教育における生徒指導の現状（2）
7. 児童期・青年期の自己の発達と適応
8. アイデンティティの発達と危機（1）
9. アイデンティティの発達と危機（2）
10. 発達障害と不適応行動
11. 進路指導（1）概説
12. 進路指導（2）フリーター・ニートの現状と要因
13. 進路指導（3）進路選択からみた青年期の問題と留意点
14. 教師としての成長・発達とバーンアウト
15. 総括

履修上の留意点

教職課程科目であるため出席は毎回とり、評価においても重視します。また、授業期間内に数回のレポート提出があります。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

試験の結果とレポート、および出席状況によって評価します。
必要に応じて資料を配布します。
小杉礼子著『フリーターという生き方』（勁草書房）2003年
授業は講義形式で行います。

履修コード	080101
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	川原 誠司

講義のねらい	生徒を指導するとはどういうことか、生徒指導を行っていく上で必要なことは何かを、様々なことの喩えを通して理解し、指導する際の意識やコミュニケーションの難しさについて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	授業スケジュールについては、初めの方の授業で显示する予定です。資料や文献を読んでの小課題実施、教員からの講義、実習風の体験、班での英文献発表などといったものを組み合わせて授業を組み立てていきます。
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ●最初の授業で受講人数を把握して、班編成を行う予定です。受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。2回目以降からの参加は原則認めません。 ●意欲的かつ積極的な受講態度の形成のために、「自分で考えて動くこと」を授業の柱にします。誰かが（特に教員が）何かしてくれると思って受身で待っていても、得られるものではありません。 ●グループ作業をはじめとした活動に物理的にも意識的にも参加していなければ話になりません。責任もって授業に参加すること。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ●小課題等を実施しますので、配付された資料等は読んできてください。 ●例年通りの受講人数や受講態度なら、試験を実施します。試験の際は持ち込みは一切不可になります。あと、必要に応じてレポートを付加することもあります。 ●平常点等についての考えなどの詳細は、初回の授業に述べます。
教科書参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ●このシラバスを入力している現在、選定中です。初回の授業で指示します。 ●必要なものがあれば、授業中に呈示します。
その他の	<ul style="list-style-type: none"> ●自学自習のために参考となる本の紹介もできますので、関心のある方は積極的にお尋ねください。 ●今までの実態を見ると、多くの学生が後期の授業まで通年登録しているようです。しかし、後期授業のアンケートをみると、満足しない学生も多いようですので、履修登録の際には十分にご注意ください。 ●「授業に出ていれば教職単位は何とか取れる」という学生には決して向きません。 ●授業や試験にあたって必要な情報は、授業中に口頭で指示します。 ●授業の一部では、生徒指導に関する英文献をグループで発表してもらうこと、あるいは実習風の実演をしてもらうことなども考えています。

履修コード	080301・080701・080801
科目名	教育臨床
担当者名	佐藤 尚人

講義のねらい	教師が教育の現場で出合うさまざまな問題を毎回取りあげていきます。それぞれについての理解と対応について、参加する学生一人ひとりが、できるだけ具体的に考えていくことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	各回に取り上げる問題（テーマ）は次のようなものです。不登校・ひきこもり、非行・犯罪、いじめ、学力低下、IT教育、学級崩壊、体罰、教師のストレス・精神衛生、保護者や地域との連携・協力、発達・学習の障害。
履修上の留意点	授業は、参加する学生の課題発表によりすすめていきます。課題の作成では、①インターネット上の情報だけに頼らず、本や資料など複数のものを比較検討しながらまとめること、②提言（結論）として、自分のことばで自分の考えをきちんと表現すること、を重視します。図書館を積極的に利用してください。
成績評価の方法	毎回、作成した課題を持って授業に出席すること。課題は提出し内容を評価します。授業では、課題の発表や討論に参加することが評価の条件です。筆記試験は行わず、提出された課題の内容・発表・討論への参加を総合して評価を行います。
教科書参考書等	<p>使用しません。</p> <p>毎回の課題の作成に際して、各自工夫してください。なお、どのような参考書（資料）を探しているかも、評価の際のポイントになります。</p>

履修コード	080401・080901・081001
科目名	教育臨床
担当者名	<small>えんどうつかさ</small> 遠藤 司

講義のねらい	心の教育が重視されている現在の教育現場において、カウンセリング的視点をもつ教師の育成が求められている。この授業では、将来教職に就くことを目指している人間がカウンセリングについて学ぶことの意味を考え、双方向の対話を基に教師―生徒関係を生きようとしつつ、なおかつ指導する人間としての教師をも生きようとするという意味を考えることを通して、自らの教師間をより豊かに深めていくことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1. ガイダンス：カウンセリングの基礎を学ぶ（1～3） 2. カウンセリングの理論を学ぶ（4～7） 3. 教師としてカウンセリングを学ぶことについて考える（8～11） 4. 対話について考える（12～14） 5. 全体のまとめ（15）
履修上の留意点	主体的・積極的に授業に参加すること。授業時に授業者により発せられる様々な問いに対して自分の言葉で考えようとする。ほぼ毎回の授業で授業者の問いについて考えたことを書く機会を作るが、それに対しては誠実に真剣に考え、自分の言葉で文章にすること。要するに、考えることを厭わない学生の参加を望む。
成績評価の方法	授業時間内の試験またはレポート、および学期末のレポートにより成績評価を行う。なお、授業への参加の仕方の積極度、また、授業時の提出物の内容等も成績評価に加味する場合もある。
教科書	特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

履修コード	080501・080601
科目名	教育臨床
担当者名	<small>めらあきこ</small> 目良 秋子

講義のねらい	この授業では教育現場における臨床活動の現状と諸問題をスクールカウンセラーと教員の相互視点に立ち考察しながら、児童・生徒の諸問題について理解を深めていきます。また、主に不登校の事例を通して具体的なスクールカウンセラーと教師の子どもへの対応や、学校内および家庭との連携、子どもとの間で生じる葛藤や問題の扱い方などについてもみていきます。
講義の内容・授業スケジュール	1. ガイダンス及び教育臨床概説 2. 子どもの問題と教育臨床の現状 3. 教育相談の理論と方法（1）理論 4. 教育相談の理論と方法（2）歴史 日本とアメリカ 5. 教育相談の理論と方法（3）方法 教育現場と病院臨床の比較から 6. 児童期・青年期の心の問題（1）不登校・いじめ 7. 児童期・青年期の心の問題（2）発達障害との関連 8. 学校における臨床活動（1）スクールカウンセラーと教師 9. 学校における臨床活動（2）カウンセリングと心理療法 10. 学校における臨床活動（3）児童・生徒の心の変容 1 11. 学校における臨床活動（4）児童・生徒の心の変容 2 12. 事例研究―不登校生徒に対するスクールカウンセラーの対応― 13. 事例研究―不登校生徒の変化と親の変化― 14. 事例研究―不登校以外の諸問題を抱える生徒への対応― 15. 総括
履修上の留意点	教職課程科目であるため出席は毎回とり、評価においても重視します。また、授業期間内に数回のレポート提出があります。
成績評価の方法	試験の結果とレポート、および出席状況によって評価します。
教科書	必要に応じて資料を配布します。
参考書等	必要に応じて紹介します。
その他	授業は講義形式で行います。

履修コード	081101
科目名	教育臨床
担当者名	川原 誠司

講義のねらい	心理療法に関する英文献を読み、主たる4つの心理療法（精神分析、行動療法、認知療法、クライエント中心療法）の基本的な考え方や知識、治療方法が、学校という場所で子どもに接する場合にどのような形で援用できるかという、教師の仕事を行うにあたっての視点の広がりや深まりを獲得することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業スケジュールについては、初めの方の授業で呈示する予定です。文献購読と質疑応答、教員からの補足説明、学校現場への適用、といったものを組み合わせて授業を組み立てていきます。
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ●最初の授業で受講人数を把握して、班編成を行う予定ですので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。2回目以降からの参加は原則認めません。 ●意欲的かつ積極的な受講態度の形成のために、「自分で考えて動くこと」を授業の柱にします。誰かが（特に教員が）何かしてくれると思って受身で待っていても、得られるものではありません。 ●グループ作業をはじめとした活動に物理的にも意識的にも参加していなければ話になりません。責任もって授業に参加すること。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ●例年通りの受講人数や受講態度なら、試験を実施します。試験の際は持ち込みは一切不可になります。あと、必要に応じてレポートを付加することもあります。 ●平常点等についての考えなどの詳細は、初回の授業に述べます。 ●このシラバスを入力している現在、選定中です。決まり次第指示します。 ●必要なものがあれば、授業中に呈示します。
教科書	●自学自習のために参考となる本の紹介もできますので、関心のある方は積極的にお尋ねください。
参考書等	●今までの実態を見ると、多くの学生が前期からの継続で登録しているようです。前期の履修登録の段階でご注意ください。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●「授業に出れば教職単位は何とか取れる」という学生には決して向きません。 ●授業や試験にあたって必要な情報は、授業中に口頭で指示します。 ●グループでの活動・発表をしてもらいますので、他者と関係をとろうとする意欲のある人の参加を希望します。

履修コード	081501・081502
科目名	総合演習Ⅰ（環境・地域） 総合演習（3）〔環境教育〕
担当者名	北村 和夫

講義のねらい	環境問題が現代社会にどのような問いを突き付けているかを考えるとともに、そうした考察を学校での環境教育に生かすにはどうしたら良いかを考える。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 1回 オリエンテーション 2～4回 近代社会と環境問題 5～9回 環境思想史上の重要な人物について。南方熊楠、田中正造、レイチェル・カーソン、ヘンリー・ソロー等。 10～12回 環境教育の現状と問題点。エコロジカル・リテラシーの意義。 13回 エントロピー 14回 共生 15回 まとめ
履修上の留意点	話の流れを全体として理解すること。
成績評価の方法	試験。いくつかのテーマについて、授業中話された内容をまとめるとともに、それについての自分の考察を書く。前半の正確さと後半の独自性を評価する。
教科書	北村和夫『環境教育と学校の変革—ひとりの教師として何ができるか』（農山漁村文化協会）2000年 2,900円（税込）ISBN-4-540-99291-0
その他	この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認してください。

履修コード	081601・081602
科目名	総合演習Ⅰ(環境・地域) 総合演習(4)[近代社会と身体]
担当者名	北村 和夫

講義のねらい	人間の体が良くできているということを様々な角度から学ぶとともに、現代社会でそれが十分に生かされているかを考える。
講義の内容・ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 コミュニケーションと体 3 二足歩行の意味 4 三木成夫の世界 5 腸は考える 6 デカルトとダマジオ 7 感情 8 フーコーと規律・訓練 9 ジョージ・レイコフ マーク・ジョンソン『肉中の哲学』(哲学書房)について。 10 意識とは何か 11 細胞の世界・生きているということ 12 人体常在菌 13 免疫 14 臓器移植、クローン人間 15 農業
履修上の留意点 成績評価の方法	話の流れを全体として理解すること。 レポート。いくつかのテーマについて、授業中話された内容をまとめるとともに、それについての自分の考察を書く。前半については正確さ、後半については独自性を評価する。
参考書等 その他の	授業中に紹介する。 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082701・082702
科目名	総合演習Ⅰ(環境・地域) 総合演習(15)[持続可能性と技術]
担当者名	北村 三子

講義のねらい	地球温暖化の影響は私たちにも日々感じられるようになりました。環境問題についてさらに理解を深め、今後の私達のあり方を考えていきたいと思います。
講義の内容・ 授業スケジュール	『ワールド・ウォッチ』(発行所：ワールド・ウォッチ・ジャパン)を共通文献とし、その記事の中から関心のあるテーマを選び発表し合います。スケジュールは、おおむね次のようになります。地球環境の現状(導入)(1~2)、発表(3~14)、まとめ(15)
履修上の留意点 成績評価の方法	演習ですので、積極的な参加が求められます。 出席状況、発表、レポートによります。
教科書 その他の	教場で指示 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082801・082802
科目名	総合演習Ⅰ(環境・地域) 総合演習(16)[豊かさの多様性]
担当者名	北村 三子

講義のねらい	自然と調和して生きていくために、私たちはどのような社会や文化を築いていったらよいのでしょうか。その手掛りを江戸時代に探ってみたいと思います。
講義の内容・ 授業スケジュール	『江戸はエコ時代』(石川英輔 講談社文庫)を読みながら考え合います。スケジュールは、おおむね、次のようになります。 はじめに(1)、江戸時代の日常生活について(2~3)、『江戸時代はエコ時代』を読む(4~14)、まとめ(15)
履修上の留意点 成績評価の方法	演習形式ですので、積極的な参加が求められます。 出席状況、発表、レポートによります。
教科書 その他の	『江戸時代はエコ時代』(石川英輔 講談社文庫) 2008年 495円 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082101・082102
科目名	総合演習II(生活・人権) 総合演習(9)[教育と法律]
担当者名	ひろさわ あきら 広沢 明

講義のねらい

教育職員免許法施行規則第6条は、「総合演習は、人類に共通する課題又は我が国社会全体にかかわる課題のうち一以上のものに関する分析及び検討並びにその課題について幼児、児童又は生徒を指導するための方法及び技術を含むものとする」と定めている。この授業では、「教育と法律」にかかわる諸課題についての分析・検討を通じて、現実には生起する教育問題に対する理解力を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「教育と法律」にかかわる諸問題として、①教育基本法の改正、②学校行事と国旗国歌、③学習指導要領の法的性格、④学校選択制度、⑤教育特区、⑥教員免許更新制、⑦住民参加制度、⑧国立大学法人化等の中から、各受講生の関心のある問題を取り上げ、報告・討論を行う形で演習を進める予定である。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

特になし。
平常点(出席・報告内容・発言等)及びレポート試験で評価する。
特に使用しない。
適宜授業中に紹介する。
教育問題に関心が深くかつ討論に積極的に参加する意欲のある学生の参加を希望する。
この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082201・082202
科目名	総合演習II(生活・人権) 総合演習(10)[子どもの人権]
担当者名	ひろさわ あきら 広沢 明

講義のねらい

教育職員免許法施行規則第6条は、「総合演習は、人類に共通する課題又は我が国社会全体にかかわる課題のうち一以上のものに関する分析及び検討並びにその課題について幼児、児童又は生徒を指導するための方法及び技術を含むものとする」と定めている。この授業では、「子どもの人権」にかかわる諸課題についての分析・検討を通じて、現実には生起する教育問題に対する理解力を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「子どもの人権」にかかわる諸問題として、①校則、②懲戒処分、③体罰、④いじめ、⑤個人情報開示、⑥児童虐待、⑦教育と宗教、⑧性差別、⑨民族学校、⑩障害児、⑪子どもの権利条例、⑫青少年条例、⑬少年法改正等の中から、各受講生の関心のある問題を取り上げ、報告・討論を行う形で演習を進める予定である。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

特になし。
平常点(出席・報告内容・発言等)及びレポート試験で評価する。
特に使用しない。
適宜授業中に紹介する。
教育問題に関心が深くかつ討論に積極的に参加する意欲のある学生の参加を希望する。
この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	081301・081302
科目名	総合演習III(福祉・ボランティア) 総合演習(1)[障害児と教育]
担当者名	えんどう つかさ 遠藤 司

講義のねらい

「障害児・者」に関わる様々な問題を取り上げながら、現代の日本社会の抱える諸課題とも関連づけながら総合的に学んでいく。さらに、これらの問題を知り、深く考えることが、中学・高校の教師になろうとする人間としていかなる意味をもつことなのかということについても改めて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス:授業の内容と進め方に関するオリエンテーション(1~2) 2. 障害児・者に関わる様々な問題の学習(3~12) 3. 自らの学びの振り返り(13~14) 4. まとめ(15)
ただし、授業スケジュールについては、参加者の状況や希望等により、適宜考える。

履修上の留意点

第一回の授業で概要を説明する。受講希望者は第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者は履修を認めないので注意すること。「演習」という授業形式なので、主体的・積極的に参加することを望む。

成績評価の方法

学期末のレポートにより成績評価を行う。なお、授業への参加の仕方の積極度、また、授業時の提出物の内容等も成績評価に加味する場合もある。

教科書
その他

特定の教科書は用いない。参考書は適宜紹介する。
この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	081401・081402
科目名	総合演習Ⅲ(福祉・ボランティア) 総合演習(2)[障害児と福祉]
担当者名	遠藤 司 <small>えんどう つかさ</small>
講義のねらい	「障害児・者」に関わる様々な問題を取り上げながら、現代の日本社会の抱える諸課題とも関連づけながら総合的に学んでいく。さらに、これらの問題を知り、深く考えることが、中学・高校の教師になろうとする人間としていかなる意味をもつことなのかということについても改めて考察する。
講義の内容・授業スケジュール	1. ガイダンス：授業の内容と進め方に関するオリエンテーション(1～2) 2. 障害児・者に関わる様々な問題の学習(3～12) 3. 自らの学びの振り返り(13～14) 4. まとめ(15) ただし、授業スケジュールについては、参加者の状況や希望等により、適宜考える。
履修上の留意点	第一回の授業で概要を説明する。受講希望者は第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者は履修を認めないので注意すること。「演習」という授業形式なので、主体的・積極的に参加することを望む。
成績評価の方法	学期末のレポートにより成績評価を行う。なお、授業への参加の仕方の積極度、また、授業時の提出物の内容等も成績評価に加味する場合もある。
教科書その他	特定の教科書は用いない。参考書は適宜紹介する。 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	081901・081902
科目名	総合演習Ⅲ(福祉・ボランティア) 総合演習(7)[心の健康と教育]
担当者名	野中 弘敏 <small>のなか ひろとし</small>
講義のねらい	本演習では、心理的困難を抱える人々への臨床心理学的援助の事例を通じて、これら困難の様相、またそこに生じた症状や苦痛の意味を当事者の経験に即して理解していく、という試みを、参加者と共に重ねていきます。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 本演習の内容と進め方に関するオリエンテーション(2) 構成的グループエンカウンター体験/事例報告担当の決定(3) カウンセリング・心理療法の考え方(4) 臨床心理学的アセスメントの体験的理解(5～15) 概要・事例報告及びディスカッション(不登校・いじめ・軽度発達障害・非行・児童虐待・保護者への対応・不安障害・摂食障害・境界性人格・うつ・統合失調症)
履修上の留意点	初回は授業の進め方を詳しく説明します。各自の受講継続の判断のためにも必ず出席してください。 5回目以降は配布するテキストに即した事例報告及び話し合いを中心に進めます。報告は全参加者が最低1回担当します。参加者は各回終了までにコメントを書いて提出します。 参加者全員が各回のテキストを予め熟読した上で参加すること、そして授業の中では各自の経験も振り返りながら、真摯に読み、聴きいることを求めます。
成績評価の方法	事例報告の内容・各回の授業内課題・各回の討論への参加を基本に評価します。
教科書その他	授業内でプリントを配布します。 随時紹介します。 参加人数にもよりますが、概ねいわゆる輪講形式となります。 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082001・082002
科目名	総合演習Ⅲ（福祉・ボランティア） 総合演習（8）〔心の援助と教育〕
担当者名	野中 ^{のなか ひろとし} 弘敏

講義のねらい	本演習では、心理的困難を抱える人々への臨床心理学的援助の事例を通じて、これら困難の様相、またそこに生じた症状や苦痛の意味を当事者の経験に即して理解していく、という試みを、参加者と共に重ねていきます。
講義の内容・授業スケジュール	（1）本演習の内容と進め方に関するオリエンテーション（2）構成的グループエンカウンター体験／事例報告担当の決定（3）カウンセリング・心理療法の考え方（4）臨床心理学的アセスメントの体験的理解（5～15）概要・事例報告及びディスカッション（不登校・いじめ・軽度発達障害・非行・児童虐待・保護者への対応・不安障害・摂食障害・境界性人格・うつ・統合失調症）
履修上の留意点	初回は授業の進め方を詳しく説明します。各自の受講継続の判断のためにも必ず出席してください。 5回目以降は配布するテキストに即した事例報告及び話し合いを中心に進めます。報告は全参加者が最低1回担当します。参加者は各回終了までにコメントを書いて提出します。 参加者全員が各回のテキストを予め熟読した上で参加すること、そして授業の中では各自の経験も振り返りながら、真摯に読み、聴きいることを求めます。
成績評価の方法	事例報告の内容・各回の授業内課題・各回の討論への参加を基本に評価します。
教科書等	授業内でプリントを配布します。
その他の	随時紹介します。 参加人数にもよりますが、概ねいわゆる輪講形式となります。 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	081701・081702
科目名	総合演習Ⅳ（健康・人間） 総合演習（5）〔対人関係とストレス〕
担当者名	川原 ^{かわはら せいし} 誠司

講義のねらい	●「ストレス」という言葉が日常頻繁に用いられているが、そのメカニズムについて丁寧に考えていることは少ない。本演習ではストレスの心理学的プロセスの詳細について学習し、自分自身のストレスのことを内省し、学校現場での子どものことに思いを馳せ、子どものストレスに対する教育のあり方を検討することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	●授業スケジュールについては、初めの方の授業で提示する予定です。資料や文献を読んでの小課題実施、教員からの講義、班での話し合いや作業といったものを組み合わせて授業を組み立てていきます。
履修上の留意点	●最初の授業で受講人数を把握して、班編成を行う予定です。受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。2回目以降からの参加は原則認めません。 ●意欲的かつ積極的な受講態度の形成のために、「自分で考えて動くこと」を授業の柱にします。誰かが（特に教員が）何かしてくれると思って受身で待っていても、得られるものではありません。 ●どの授業も同じではありませんが、特にこれは演習なので、グループ作業をはじめとした活動に物理的にも意識的にも参加していなければ成績評価の対象になりません。責任をもって授業に参加すること。
成績評価の方法	●ストレスに関する文献をほぼ毎週読んでもらい、それらに対してきちんと思考してもらうことを考えています。小課題等で確認していきます。
教科書等	●例年通りの受講人数や受講態度なら、試験を実施します。試験の際は持ち込みは一切不可になります。あと、必要に応じてレポートを付加することもあります。
その他の	●平常点等についての考えなどの詳細は、初回の授業に述べます。 ●このシラバスを入力している現在、選定中です。決まり次第指示します。 ●必要なものがあれば、授業中に呈示します。 ●自学自習のために参考となる本の紹介もできますので、関心のある方は積極的にお尋ねください。 ●ストレスという言葉をただ飾りとして用いるのではなく、それを乗り越えるために必要な見方や考え方を実感して考えてもらいたいと思います。あなたの想像力や思考力が学校の中の様々な子どもの様子にまで働いていくといいなと願っています。 ●この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	081801・081802
科目名	総合演習Ⅳ（健康・人間） 総合演習（6）〔学校における対人関係〕
担当者名	川原 誠司

講義のねらい	●教師の精神的健康について、ストレスというものを教職の多忙化の面から、また「生徒との関係」「保護者との関係」「同僚との関係」といった対人関係の面から考える。また、周囲からの支え（ソーシャル・サポート）の実態をもとに改善のための対人関係のあり方を考慮することや、ストレス対処に影響を与える学生個人の認知のありようや意識のありようについて自己分析していくことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	●授業スケジュールについては、初めの方の授業で呈示する予定です。資料や文献を読んだの小課題実施、教員からの講義、班での話し合いや作業といったものを組み合わせて授業を組み立てていきます。
履修上の留意点	●最初の授業で受講人数を把握して、班編成を行う予定です。受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。2回目以降からの参加は原則認めません。 ●意欲的かつ積極的な受講態度の形成のために、「自分で考えて動くこと」を授業の柱にします。誰かが（特に教員が）何かしてくれると思って受身で待っていても、得られるものではありません。 ●どの授業も同じではありませんが、特にこれは演習なので、グループ作業をはじめとした活動に物理的にも意識的にも参加していなければ話になりません。責任をもって授業に参加すること。 ●教師の精神的健康に関する文献をほぼ毎週読んでもらい、それらに対してきちんと思考してもらうことを考えています。小課題等で確認していきます。
成績評価の方法	●例年通りの受講人数や受講態度なら、複数のレポートを課することを考えています。ただし、人数が多くなった場合には試験を行う可能性があります。試験の際は持ち込みは一切不可になります。 ●平常点等についての考えなどの詳細は、初回の授業に述べます。 成績評価の形式は、受講人数や受講態度などによって変わるものなので、授業を進めていく中で決定します。ある程度の人数を越えたら試験を行う予定です。
教科書	●このシラバスを入力している現在、使用する予定はありません。もし使用する場合には、掲示・指示します。
参考書等	●必要なものがあれば、授業中に提示します。
その他	●自学自習のために参考となる本の紹介もできますので、関心のある方は積極的にお尋ねください。 ●教師の精神的健康は、近年大きな課題となっています。教師になろうとする若いみなさんがそのことに真摯に向き合うことで、基盤を作っておくことで、精神的健康への視野が広がり、理解が深まり、意識が高まるものと考えます。 ●この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082301・082302
科目名	総合演習Ⅳ（健康・人間） 総合演習（11）〔生と死の教育〕
担当者名	柳堀 素雅子

講義のねらい	バイオエシックスの問題を宗教的視点を中心に考察していく。現代の先端医療における問題点を探り出し、それがどのようにしてバイオエシックスという学問になっていったのかを検証していく。そのあとで、欧米におけるキリスト教とバイオエシックスの関係を世俗化の問題と並行させながら、分析していく。さらに仏教や日本の神道においてはバイオエシックスの問題にどのように取り組んでいるのかを見ていく。そして最終的に日本人はバイオエシックスの問題にどのように取り組んでいけばよいのか、さらに学校教育においてどのように取り組んでいくべきかについて、参加者全員で考えていく。
講義の内容・授業スケジュール	1～3回－バイオエシックスの意味とその展開 4～5回－キリスト教とバイオエシックスの関係 6～8回－仏教、神道とバイオエシックスの関係 9～11回－討論 12～15回－まとめ
履修上の留意点	講義内容をじゅうぶんに理解するためには、自分で本を読み、調べて分析していく能力を養うことが必要である。受け身の姿勢では討論に参加できません。
成績評価の方法	欠席は4回まで認める。与えられたレポート課題の内容を調べて合格点に達しているかどうかを調べる。
教科書	使用しない
参考書等	神田健次編『講座 現代キリスト教倫理1 生と死』（日本基督教団出版局）2750円＋税 ISBN4-8184-0351-2 木村利人『いのちを考える』（日本評論社）2000円＋税 ISBN4-535-57671-8 木村利人『自分のいのちは自分で決める』（集英社）1500円＋税 ISBN4-08-781195-6 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082401・082402
科目名	総合演習Ⅳ（健康・人間）・総合演習（12）〔生命倫理〕
担当者名	柳堀 素雅子 <small>やなぎほり すがこ</small>

講義のねらい	バイオエシックスの諸問題をさまざまな視点から考察し、教育現場での具体的な取り組み方法を話し合っていく。1960年代にアメリカで始まったバイオエシックスは、「患者の権利」を中心に人権獲得運動の1つとしての市民運動であった。それを体系化して発展させ、学問として確立したが、同時にさまざまな問題点を残したまま、現在まで進んできてしまっている。アメリカでは学校教育の中でもとりあげられているが、日本でのバイオエシックス教育はほとんど進んでいないようである。授業では、バイオエシックスの概要を伝えるとともに、日本ではこの問題をどのように考えていったらよいかを、参加者全員で考察していく。
講義の内容・授業スケジュール	1～4回－バイオエシックスの意味とその展開を説明する 5～7回－個々のバイオエシックスの問題をいくつか取りあげる 8～10回－討論1 テーマ設定 11～12回－討論2 教育現場での取り組みについて 13～15回－まとめ
履修上の留意点	討論の時間を多く取り入れることによって、バイオエシックスの問題を自分の問題として考えられるようになることを目的とする。そのあとで教育現場での取り組みを考えていく。
成績評価の方法	欠席は4回まで認める。レポート課題によって成績評価のかなりの部分が決定される
教科書等	使用しない 星野一正『医療の倫理』（岩波書店）780円＋税 ISBN4-00-430201-3 木村利人『いのちを考える』（日本評論社）2000円＋税 ISBN4-535-57671-8 木村利人『自分のいのちは自分で決める』（集英社）1500円＋税 ISBN4-08-781195-6 森田恭彦『医の倫理と法』（南江堂）1800円＋税 ISBN4-524-23966-9
その他	この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	082811・082821
科目名	総合演習Ⅴ（国際理解・情報）
担当者名	大浜 幾久子 <small>おほはま きくこ</small>

講義のねらい	「平和のための教育は可能か」をめぐる、諸メディアからの情報を参考にしつつ、考えていく。そのことを通して、中学校・高等学校で「総合的な学習の時間」を担当する力量の形成をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに、下記の2冊の参考書を読む。その後は、受講生自身が、「平和のための教育」につながる「総合的な学習」を個人または数人のグループで展開し、その成果を発表する。 第1回：インターネット上に公開されている「総合的な学習の時間」の実践記録を検索し、興味をひかれた実践記録のレジュメを作成。 第2・3回：『良心的兵役拒否の思想』を読む。総合学習における「思想」の位置づけを考える。 第4・5回：『15歳が受け継ぐ平和のバトン：祖父母に聞いた235の戦争体験』を読む。自分の身の周りから総合学習を展開することについて、また、「情報」と「物語」の違いについてなど、討論する。 第6・7回：中学校または高等学校における「総合的な学習の時間」の指導実践を想定し、対象学年、期間、テーマ、学習の展開方法を選定する。必要に応じて数人のグループをつくる。 第8～11回：個人またはグループで、「総合的な学習の時間」の展開を（中学生・高校生のレベルも想定して）実習する。様々なメディアの特性に留意する。 第12～15回：各人またはグループによる「総合学習」の発表。パソコンのプレゼンテーションソフトを活用する。質疑応答、討論の時間もとる。
履修上の留意点	必要に応じて、英語をはじめとする外国語の文献も読んでいく。 履修にあたっては、英語の学習を（できれば他の外国語の学習も）積極的に続けていく意思が明確であることが求められる。
成績評価の方法	出席状況と、学期末の個人またはグループの研究発表による。
参考書等	阿部知二著『良心的兵役拒否の思想』（岩波新書）1969年 女子学院中学校「祖父母の戦争体験」編集委員会編『15歳が受け継ぐ平和のバトン：祖父母に聞いた235の戦争体験』（高文研）2004年
その他	この科目には、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	O11911・O11912
科目名	宗教科教育法I 宗教科教育法
担当者名	小山 一乘

講義のねらい 本講は、講義（4月～6月）と模擬授業・授業分析（7月以降後期終了まで）とで行う。教科「宗教」は、他教科のその各特殊性論とは根底的に異質な論議が伏在する。すなわち、宗教科は確かに教育職員免許法施行規則等には明示・措置されているが、肝腎な学習指導要領・同解説には教科「宗教」の具体的な名称すら明示・措置はない。宗教科以外の他教科は、厳に学習指導要領に教科目標・内容・取扱いの注意等が明示・指定され、教科が大系化されている。しかし、宗教科は、端的に言えば、授業者にその殆どが委ねられている。ここはいわゆる昭和20年の改革時点の日本国憲法・教育基本法立法制定自体に密着した根本問題である。そこで、①その法的・教育的史的コンテクストを講義し、宗教科の教科大系構築化への方法論を講義をし、②「宗教科教育」と「宗教教育」との教授概念を比較し、③学習指導要領で示す他教科の目標等の範疇から、宗教科教育方法を抽出する手続きを講義する。④学習指導案作成と教育観（開発・本覚、注入・始覚）についての講義、⑤受講生各自50分の模擬授業計画立案と模擬授業実践指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール 前期（4・5・6月）は①日本国憲法・教育基本法、学校教育法、教育職員免許法等での宗教科教育の法的思考と教育的思考。②教育課程編成と宗教科③中学校・高等学校の宗教科学習指導計画作成の理論と実際④学習指導案の理論と様式と教育観について講義する。⑤前期7月以降後期終了までは、模擬授業（50分、ビデオ収録し鏡利用に供す）を課す。毎時、模擬授業終了後、内容・指導方法の面の自由討議。

履修上の留意点 入学年度毎の履修上の指示に注意すること。幼小中高での、各教科・領域等及び総合的学習の時間等に連関する題材を広く深く視野に入れ、かつ、生涯学習の観点からも留意すること。

成績評価の方法 模擬授業及び学習指導案（細案）作成状況を重視する。出席状況、レポートも参考とする。

教科書 ①『仏教概論一わかりやすい仏教一』、曹洞宗宗務庁、¥800。②『中学校学習指導要領』、¥260（税別）。③『高等学校学習指導要領』、¥520（税別）。

参考書等 『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』（大法輪閣、1,600円）、その他は授業中適宜指示。

その他 資料整理用のA4版ファイル表紙を用意すること。詳細は授業。

履修コード	O12001
科目名	宗教科教育法II
担当者名	小山 一乘

講義のねらい 本講は、①講義、②模擬授業（7月以降、各自50分）、③模擬授業分析、④他教科・他領域との連関研究（各教科・総合的学習の時間・道徳・特別活動等との連関）の4で構成する。

「宗教科教育法II」は、これに先行しての履修が前提である「宗教科教育法I・宗教科教育法」を承けて、授業を進める。すなわち教育課程上の教科「宗教（科）」の、教科体系、目標、内容の基礎・基本等は既習であることを前提とする。

本講では、各受講生が、中学校・高等学校のいずれの校種での宗教科にも備えられるように、知識・理解度事項、態度的事項、技能的事項の精義を講義し、教育実習等教育実践をめざす受講生に、模擬授業を通して広い深い実践研究を課す。用意周到な年間学習指導計画立て、そこから絞り込んだ本時の学習指導（計画）案作成指導を経て、模擬授業の具体的指導を行う。模擬授業はビデオ収録し各自の授業分析の鏡利用に供する予定である。

講義の内容・授業スケジュール 前期（4～7月）は講義で、①国立・公立・私立のそれぞれの中学及び高校の教育の意義。②宗教科の成立。③教授概念検討（宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派信仰教育、宗教的寛容教育、対宗教安全教育）。④「宗教科教育」の教授概念検討（事實的言明・規範的言明、行動的解釈・非一行動的解釈）。⑤宗教の定義考。⑥「4つの宗教どこがちがう」考。⑦社会科、地理歴史科、公民科、道徳、特別活動、総合的学習の時間等における宗教（的）教材の取り扱い1⑧史資料の選取選捨の判断規準・基準、マルチ・メディア活用法⑨宗教科教育と教育観（開発主義か注入主義か、本覚か始覚か、学習論か教育論か、自力か他力か）、⑩教育観と学習指導計画と学習指導案の様式⑪学習指導案の用語についての講義⑫評価の意味⑬学習指導案（略案・細案）作成の具体的方法の講義。前期（7月～後期終了まで）は、模擬授業（50分）と授業分析討議（ビデオの鏡利用）。

履修上の留意点 個々の宗教・宗派の独自性について、生徒たちが、客観的捕捉、主観的捕捉の両方が自在に出来るような指導が出来るかの自己点検をすること。教える題材は、各教科等の随所に既存していることに留意し、また、地域や学校の特色、生徒の興味・関心の特性、国際理解、情報、環境、福祉、健康にも留意すること。

成績評価の方法 模擬授業実践状況（含学習指導案）、授業分析討議状況、レポート、出席状況

教科書 ①監修櫻井秀雄・大山興隆、『仏教概論一わかりやすい仏教一』、曹洞宗宗務庁、平成7年

参考書等 ②『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』

その他 『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』（大法輪閣、1,600円）、適宜指示資料整理用のA4版ファイル表紙を用意すること。詳細は授業。

履修コード	022811・022812
科目名	国語科教育法I 国語科教育法
担当者名	<small>くぼた みのる</small> 久保田 實
講義のねらい	中学校・高等学校の国語教育の成立・意義・目標・内容から、各領域・教材に応じて開発された指導法について概観したのち、実際の教材によって、教材研究のあり方、指導事項、指導方法、指導過程等について、基礎学力を確認しつつ、模擬授業の形式で体験的具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	〈前期〉①国語教育の限界と可能性、危険性と必要性、過去と現況の確認。 ②国語教育の方法、実践に関する先人の試みを知り、その意義を探索。 〈後期〉③国語教育実践の準備（模擬授業） 以上のうち①②は、教科書・プリント・参考資料等を用いて講義形式で行う（前期）。③は、実際に教材研究をしたり、指導案を作成し提出するなどの課題形式と、実際の教材による模擬授業（グループにより全員参加）の形式で行う（後期）。基礎学力の点検にも配慮する予定。 出席・模擬授業の積極的参加を重視する。 定期試験の成績を主とするが、提出物、模擬授業の成果、授業参加（出席）の状況等の観点も加えて総合的に評価する。
履修上の留意点 成績評価の方法	
教科書	全国大学国語教育学会編新訂中学校・高等学校『国語科教育研究』（学芸図書株式会社） 2,310円（税込）
参考書等	その都度指示する。

履修コード	022911
科目名	国語科教育法II
担当者名	<small>くぼた みのる</small> 久保田 實
講義のねらい	「国語科教育法I」の講義を受けて、国語教育の過去・現在を見つめ、教材研究・教材分析を中心に、指導事項・指導方法・指導過程等の可能性について研究を深め、情報化社会を見すえながら、国語の授業の構想力・指導力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	以下の三項目を中心に前・後期の授業を進める予定 (前期)①中学校(高等学校)の国語科の現状を確認し、国語教育のあり方を考察する。 ②上記をふまえて、国語教育の過去に学びながら、授業のありようを考察する。 (後期)③授業技法の多様な流れに学びながら、コンピュータやインターネットの利用も視野に入れた授業を構想する(指導案並びにレポートの作成)。 コンピュータを使いながら講義を展開してゆく。①については教科書・プリント等を用いて、パワーポイントや、課題用ファイルを使いながら行う。②③については、教科書は使用せず、パワーポイントや配布の資料ファイルをもとに必要な解説を行う。最後に、その後パワーポイントやインターネットを使った教材や授業の開発などを行う。また上記のほか基礎学力の点検にも配慮する(随時小テストなどの形式で実施予定)。
履修上の留意点	授業に積極的に参加すること（なお、中学校・高等学校で使用した教科書・副読本を手元に置いて必要な場合参照できるようにしておくことが望ましい）。
成績評価の方法	出席状況、授業の参加態度、提出物、随時の小テスト等により総合的に評価する。
教科書	新訂中学校・高等学校『国語科教育研究』（『国語科教育法I』で使用のものと同じ）
参考書等	その都度指示・紹介する。

履修コード	023001
科目名	書道科教育法
担当者名	<small>なす たかよし</small> 那須 隆吉
講義のねらい	長い歴史を持つ書道の特徴を考察し、その指導法を学習する。そして将来の教師としての自覚を促し、その指導力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	文部省の芸術科学習指導要領を理解し、芸術科書道の指導計画の作成についての基本的な考え方や、学習指導のあり方、指導法の工夫などについて事例を挙げながら講じたい。又、書道の基礎的知識を広く理解する。
履修上の留意点	遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。
成績評価の方法	出席及び随時レポートの提出により評価する。
教科書	『大学書写書道教育』（第一法規出版）約2,000円
参考書等	随時紹介する。

履修コード	031311・031312
科目名	英語科教育法I 英語科教育法
担当者名	佐藤 真二

講義のねらい 中学校及び高等学校において、英語教師として授業を行うために必要な事項を学ぶとともに実際に教壇に立ち、教えることに慣れることを目標とする。英語科教育法Iでは、高校の内容を中心とする。

講義の内容・授業スケジュール 主に取り上げる内容は以下のとおりである。
1. 英語科教育の目標 2. 主な教授法 3. 言語材料と指導 4. 言語活動 5. 授業の展開 (1-8) 模擬授業 (9-15) 模擬授業 (16-24) 6. 指導形態 7. 評価とテスト 8. 教具・視聴覚機器 9. 教育と学習者 (25-30)

履修上の留意点 自分が、近い将来、実際に教壇に立ち、生徒を前にして授業を行うことになるのだということを念頭におき、積極的に取り組んで欲しい。欠席は慎むこと。

成績評価の方法 前期末・後期末のレポートのほか、授業内の発表も評価に加える。

教科書 『新英語科教育の展開』(英潮社)

参考書等 教場において指示する。

その他 授業の方法は、教壇に立ち、授業を行うことに慣れるという目標を踏まえ、模擬授業を多く取り入れてゆく。また、本講義の中で学ぶ事項に関しても、担当の学生が、予習をしてまとめたうえで、他の学生に発表し、説明するという形式をとる予定である。それによって、人前で話し教えることに馴染んで欲しいと願う。

履修コード	031401
科目名	英語科教育法II
担当者名	佐藤 真二

講義のねらい 中学校及び高等学校において、英語教師として授業を行うために必要な事項を学ぶとともに実際に教壇に立ち、教えることに慣れることを目標とする。英語科教育法IIでは、中学の内容を中心とする。

講義の内容・授業スケジュール 主に取り上げる内容は以下のとおりである。
1. 英語科教育の目標 2. 主な教授法 3. 言語材料と指導 4. 言語活動 5. 授業の展開 (1-8) 模擬授業 (9-15) 模擬授業 (16-24) 6. 指導形態 7. 評価とテスト 8. 教具・視聴覚機器 9. 教育と学習者 (25-30)

履修上の留意点 自分が、近い将来、実際に教壇に立ち、生徒を前にして授業を行うことになるのだということを念頭におき、積極的に取り組んで欲しい。欠席は慎むこと。

成績評価の方法 前期・後期末のレポートおよび、授業内の発表で評価する。

教科書 教場において指示する

参考書等 『新英語科教育の展開』(英潮社)

その他 教壇に立ち、授業を行うことに慣れるという目標を踏まえ、模擬授業を取り入れてゆく。また、本講義の中で学ぶ事項に関しても、担当の学生が、予習をしてまとめたうえで、他の学生に発表し、説明するという形式をとる予定である。それによって、人前で話し教えることに馴染んで欲しいと願う。

履修コード	042701・042702
科目名	社会科教育法Ⅲ(地理歴史) 地理歴史科教育法I
担当者名	生田 清人 <small>いくた きよと</small>

講義のねらい 地理と歴史の授業をつくるために、教師としてどのような力量(考え方・知識・技術など)を形成することが求められているのでしょうか。この講義では、毎回、具体的な実践例を使って、教師論・学習論・カリキュラム論・教材論・評価論・学力論などと関連づけながら展開する予定です。なお、この講義では「授業をつくる」を分析する方向で展開し、社会科教育法IVではこの講義での学習をもとに、「授業をつくる」を総合化する方向で展開する予定です。

講義の内容・授業スケジュール (1) 高校生に「地理・歴史を教える」しごととはどのようなものか、高校生に教える地理と歴史はどのような科目か、それぞれ具体的な事例をあげながら、教師論や目標論・構成論とも関連づけて考えます。

(2) 「授業をつくる」とはどのようなことか、まずコンセプトマップを使って授業のしくみ・構造を分析してみます。つぎに、教材研究を進めるために、地理と歴史の教科書を分析的に読むことを具体的な例や演習によって学習します。最後にそれらのまとめとして単元を構成したり学習指導案を作成したり、カリキュラムについて考えます。

(3) 地理と歴史の授業で使う教材について、実際に教材プリントを作成しながら、学習内容論や方法論に関連づけて考えます。また、「歴史新聞」・「空想旅行記」などのロールプレイングゲームや「遊牧民ゲーム」などのシミュレーションゲームなどを取り入れた授業について、実際にゲームをしながら考えます。

(4) 地理と歴史の単元テストについて、実際に確認テストを作成しながら、学習内容論や評価論と関連づけて考えます。それを発展させて、学校の地理と歴史の学力とは何かを考えます。また、生徒の評価だけでなく教師間で行なう教育評価や授業を改善する方法についても具体的な演習を通して考えます。

(5) 地理と歴史は「総合的な学習の時間」にどのようにつきあえばよいのか。具体的な実践例を紹介しながら考えます。後期(社会科教育法IV)には、演習をする予定です。

成績評価の方法 学習指導案・教材プリント・単元テストなどを作成するレポートの到達度評価と出席状況などによる評価を総合して行います。試験は実施しません。詳細については、第1回の講義において説明します。

教科書 授業では毎回教材(プリント)を配布する予定ですが、①・②の図書を教科書、③・④の図書を参考図書とします。参考図書は、これ以外にも随時授業の中で紹介します。

- ① 社会認識教育学会編『改訂新版 地理歴史科教育』(学術図書出版)1,751円
- ② 社会認識教育学会編『改訂新版 中学校社会科教育』(学術図書出版)1,854円
- ③ 白井嘉一・柴田義松編『社会・地歴・公民科教育法』(学文社)2,415円
- ④ 加藤西郷・吉岡真左樹編『社会・地歴・公民科教育論』(高専出版)2,800円

履修コード	042901・042902
科目名	社会科教育法Ⅲ(地理歴史) 地理歴史科教育法I
担当者名	櫻井 明久 <small>さくらい あきひさ</small>

講義のねらい 中学校社会科の地理的分野・歴史的分野と、高等学校地理歴史科の教育の目標と方法について、地理教材の取り扱いを通じて概説し、実践を試みる。なお、この授業は後期に行われる櫻井担当の社会科教育法IVとセットで授業計画がなされているので、あわせて受講すること。

講義の内容・授業スケジュール おおよその内容は、以下の通りである。

履修上の留意点 ①地理教育の目標 ②マイクロティーチング ③教授方法上の工夫 ④指導案の作成
各自マイクロティーチングを試み、(個人またはグループで模擬授業を行うなど、)実際に授業を試みてもらうので、授業への積極的な参加が求められる。同時に、担当部分の放棄、担当日の欠席は許されないのので、とくに注意すること。それが避けられない場合は、事前(2週間以上前)に連絡し、相談すること。また、仲間の授業を観察し、反省に参加することが非常に重要であるので、出欠は厳しくチェックする。

成績評価の方法 出欠、授業・討論への参加、マイクロティーチング・模擬授業の成果など60点 教科書読書レポート20点 期末試験20点

教科書 桜井明久『地理教育学入門』1999年(古今書院)全242頁

履修コード	057301・057302
科目名	社会科教育法Ⅲ(地理歴史) 地理歴史科教育法I
担当者名	藤木 正国 <small>ふじき まさくに</small>

講義のねらい	高等学校地理科(特に日本史・世界史)の教師として、自ら授業を組み立て、実践できる能力を養う。学習指導案作成や模擬授業などを重点的に行い、直接的には次年度の教育実習に備える。また、その前提として日本教育制度の変遷(古代から明治)や高等学校学習指導要領―地理歴史編―の解説も講義する。
講義の内容・授業スケジュール	日本教育制度の変遷(古代から明治)(1~3) 学習指導案の作成(4~6) 高等学校学習指導要領―地理歴史編―の解説(7~8) グループ別の模擬授業(9~15)
履修上の留意点	受講する以上は、教員を目指し努力すること。安易な単位修得は考えない。出席状況と提出物は特に重視する。常に努力と創意工夫を忘れぬよう。尚、授業計画上、後期の社会科教育法Ⅳおよび地理歴史科教育法Ⅱと連続して履修することが望ましい。
成績評価の方法	出席状況(重視)、提出物(学習指導案・模擬授業の感想等)、考査の3点を総合して評価する。
教科書	文部科学省『高等学校学習指導要領解説―地理歴史編』(実教出版)310円+税 高等学校『日本史B』もしくは『世界史B』の教科書(何処の出版社でもかまわない)を一冊用意すること。
参考書等	講義は全てプリントを配布して行う。

履修コード	042801・042802
科目名	社会科教育法Ⅳ(地理歴史) 地理歴史科教育法II
担当者名	生田 清人 <small>いくた きよひと</small>

講義のねらい	社会科の授業をつくるために、教師としてどのような力量(考え方・知識・技術など)を形成することが求められているのでしょうか。この講義では、毎回、具体的な実践例を使って、教師論・学習論・カリキュラム論・教材論・評価論・学力論など関連づけながら展開する予定です。 なお、この講義では、社会科教育法Ⅲの学習をもとに、「授業をつくる」を総合化する方向で展開する予定です。また、高校の地理、歴史だけでなく、高校にくらべ教科指導・学習指導がむずかしい中学社会科(地理・歴史)についても扱い、具体的な実践例を紹介したり、模擬授業を行ったり演習を重視して展開する予定です。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 高校生に地歴を教えることと中学生に社会科を教えることとはどのようにちがうのか。後期は、高校生よりも教科指導・学習指導がむずかしい中学生にわかる授業をつくることを重視して展開します。まず、高校地歴と中学社会科の学習指導要領を読みくらべたり、実際に行った教育実践の事例を紹介したり、演習を中心に進めます。 (2) これまでの授業の総合化として模擬授業を行います。2004年度には8回行いましたが、毎回、課題を設定して実施しました。課題は、次のとおりです。 (a) 学習指導案を作成し、それにもとづいて授業を展開できるか。 (b) 教材プリントを作成し、それを使って授業を展開できるか。 (c) ゲーム教材・歴史新聞・新聞記事を使った授業を計画・実施できるか。 (d) 効果的な単元テストを作成し、学習評価ができるか。 (3) 課題学習・野外実習など、教室での授業とは異なる学習形態での教科指導・学習指導や調べ学習・発表学習などの進め方や評価について、具体的な実践例を紹介し、「総合的な学習の時間」とも関連づけながら考えます。また、実際に野外学習を行う予定です。 (4) 模擬授業では、互いに評価しあって、授業を改善する方法について考えます。これは教師間で行う教育評価だけでなく、教育実習での研究授業にも応用できるものです。
成績評価の方法	学習指導案・教材プリント・単元テストなどを作成するレポートによる到達度評価と出席状況などによる評価を総合して行います。試験は実施しません。なお、詳細は、第1回の講義において説明します。
教科書	授業では、毎回、教材(プリント)を配布する予定ですが、①・②の図書は教科書、③・④の図書を参考書とします。参考図書は、これ以外にも随時授業の中で紹介します。 ① 社会認識教育学会編『改訂新版 地理歴史科教育』(学術図書出版)1,751円 ② 社会認識教育学会編『改訂新版 中学校社会科教育』(学術図書出版)1,854円 ③ 白井嘉一・柴田義松編『社会・地歴・公民科教育法』(学文社)2,415円 ④ 加藤西郷・吉岡真左樹編『社会・地歴・公民科教育論』(高菅出版)2,800円

履修コード	043001・043002
科目名	社会科教育法Ⅳ（地理歴史） 地理歴史科教育法Ⅱ
担当者名	桜井 明久 <small>さくらい あきひさ</small>

講義のねらい 中学校社会科の地理的分野・歴史的分野と、高等学校地理歴史科の教育の目標と方法について、地理教材の取り扱いを通じて、模擬授業を行う。なお、この授業は前期開講の桜井担当の社会科教育法Ⅲとセットになるように授業計画を組んでいる。前期から引き続き連続して授業をとるよう工夫すること。

講義の内容・授業スケジュール おおよその内容は、以下の通りである。
④指導案の作成 ⑤模擬授業 ⑥授業の研究と方法 ⑦地理教師の仕事

履修上の留意点 個人またはグループで模擬授業を行うなど、実際に授業を試みてもらうので、授業への積極的な参加が求められる。同時に、担当部分の放棄、担当日の欠席は許されないので、とくに注意すること。それが避けられない場合は、事前（2週間以上前）に連絡し、相談すること。また、仲間の授業を観察し、反省に参加することが非常に重要であるので、出欠は厳しくチェックする。

成績評価の方法 出欠、授業・討論への参加、マイクロティーチング・模擬授業の成果など60点 教科書読書レポート10点 指導案作成20点 期末試験10点

教科書 桜井明久『地理教育学入門』1999年（古今書院）全242頁

履修コード	057401・057402
科目名	社会科教育法Ⅳ（地理歴史） 地理歴史科教育法Ⅱ
担当者名	藤木 正国 <small>ふじき まさくに</small>

講義のねらい 高等学校地歴科（特に日本史・世界史）の教師として、自ら授業を組み立て、実践できる能力を養う。学習指導案作成や模擬授業などを重点的にを行い、直接的には次年度の教育実習に備える。また、日本教育制度の変遷（大正から戦後）や学習指導要領の変遷等も講義する。

講義の内容・授業スケジュール 日本教育制度の変遷（大正から戦後）（1～2）
学習指導要領の変遷（3～6）
中学校学習指導要領－社会編－の解説（7～8）
グループ別の模擬授業（9～15）

履修上の留意点 受講する以上は、教員を目指し努力すること。安易な単位修得は考えない。出席状況と提出物は特に重視する。常に努力と創意工夫を忘れぬよう。尚、授業計画上、前期の社会科教育法Ⅲおよび地理歴史科教育法Ⅰと連続して履修することが望ましい。

成績評価の方法 出席状況（重視）、提出物（課題レポート・模擬授業の感想）、考査の3点を総合して評価する。
文部科学省『高等学校学習指導要領解説・地理歴史編』（実教出版）310円＋税
文部科学省『中学校学習指導要領解説・社会編』（日本文教出版）175円
高等学校『日本史B』もしくは『世界史B』の教科書（何処の出版社でもかまわない）を一冊用意すること。

教科書 『中学校社会』－歴史的分野－の教科書（何処の出版社でもかまわない）を、一冊用意すること。
参考書等 講義は全てプリントを配布して行う。

履修コード	062401・062402・062601・062602
科目名	社会科教育法Ⅴ（公民） 公民科教育法Ⅰ
担当者名	橋爪 敏 <small>はしづめ さとし</small>

講義のねらい この授業は、高等学校公民科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、公民科教育法に関する文献講義を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、公民科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点 教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。
成績評価の方法 最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。
教科書 使用するが、未定。
参考書等 適宜、授業中に紹介する。

履修コード	113401・113402
科目名	社会科教育法V（公民） 公民科教育法I
担当者名	谷敷 正光

講義のねらい 本講は高等学校公民科で教育実習を行う学生や公民科教師を目指す学生に、「教育とは」「公民科教育とは何か」といった公民科教育の基本原則から、公民科の授業について「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方まで学び、自分が実際に公民科の授業を行うことを想定して教材を精選し、学習指導案が作成できるようにします。本講は公民科の学習指導案が書け、公民科の授業ができることをねらいにしています。できれば、前後期の履修をのぞみます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 公民科教育ガイダンス
- 2 教育の意義
- 3 社会科・公民科の意義と社会科の原点
- 4 高等学校の教育課程と社会科・公民科
- 5 社会科の成立 公民科・社会科委員会
- 6 初期社会科の教科構造
- 7 社会科の教科構造第3期 融合科目・系統科目
公民科の授業設計、学習指導案の意義と作成
- 8 社会科の教科構造第4期 経験主義から系統主義へ
学習指導案単元の目標・本時の指導目標・指導計画の意義と作成
- 9 社会科の教科構造第5期
公民科授業の動機づけと「導入」の意義・作成
- 10 社会科の教科構造第6期 高校社会科の再編成
公民科授業の展開過程「学習内容」の意義と作成
- 11 社会科の教科構造第6期
公民科授業の展開過程「学習活動」の意義と作成
- 12 社会科の教科構造第7期
公民科授業の展開過程「指導上の留意点」「資料」「時配」の意義と作成
- 13 社会科の教科構造第8期
公民科授業の「むすび」・評価・確認テストの意義と作成
思考力を育む公民科の授業
- 14 社会科の教科構造第9期 補充・発展学習
公民科授業の板書計画・教材研究の意義、教材の発掘
- 15 公民科の教育評価と公民科学習指導案の完成・提出
公民科前期授業総括・小テスト
公民科教員採用試験の準備と心構え、「特別演習」「サブゼミ」について

履修上の留意点

- (1) 教材としてプリントを配布します。必ずその時間に受け取って下さい。
- (2) ビデオ、DVD教材を使用します。視聴覚教室に変更することがあります。

成績評価の方法

- (1) 課題提出、学習指導案の作成、出席、小テストなど総合的に評価します。
- (2) 定期試験、追試は行いません。小テストは授業中に実施します。

教科書

- (1) 教科書に代わるプリントを授業で配布します。
- (2) 高等学校で使用している教科書『改訂版 現代社会』実教出版、570円
(教科書の検定番号は、7実教 現社019です)

参考書等

以下の参考書は講義の参考にして下さい。図書館で参照のこと。

- (1) 大濱徹也『現在問われている世界 社会科』(同成社)、(2) 槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)、(3) 谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』(黎明書房)、(4) 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)、(5) 谷敷正光他『社会科教育研究』(梓出版)
- (6) 福山憲市『資料提示の技術』(明治図書)、(7) 高元厚憲『高校生と政治教育』(同成社)、(8) 木村博一『日本社会科の成立理念とカリキュラム構造』(風間書房)、(9) 小林洋一郎『学習指導体制の研究 授業と発問』(酒井書店)、(10) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説—公民編』(実教出版)、(11) 井原政純『社会・地歴・公民科基礎論—教科指導の研究』(多賀出版)、(12) 授業技術研究会『指導細案の作成と実践』(学習研究社)、(13) 教育実習を考える会『教育実習のための学習指導案作成教本 社会、地歴、公民科』(蒼丘書林)、(14) 鈴木健二『社会科指導案づくりの上達法』(明治図書)

履修コード	134501・134502
科目名	社会科教育法Ⅴ（公民） 公民科教育法Ⅰ
担当者名	小川 ^{おがわ みつお} 光夫

講義のねらい 現代社会を様々な角度から考察するとともに現代社会の課題を主体的に追求し、人間としての在り方生き方について考える力を育成する。また「高等学校学習指導要領解説・公民編」の趣旨及び要点並びに各科目の目標、指導内容の取り扱い等について考察し、公民科の教材研究と授業研究を深める。

- 講義の内容・授業スケジュール
- 1 社会科・公民科教育の変遷（3回）
 - ①社会科の成立・意義
 - ②社会科の変遷と公民教育
 - 2 「学習指導要領公民科」の研究（6回）
 - ①公民科の目標
 - ②公民科各科目の基本的性格と目標
 - ③公民科各科目の構成
 - ④公民科各科目の内容の取り扱い
 - ⑤公民科各科目の指導計画の作成と指導上の配慮事項
 - ⑥各科目にわたる内容の取り扱い
 - 3 授業実践事例研究（6回）
 - ①各科目の課題と内容
 - ②各科目の教材研究と授業研究の方法
 - ③各科目の学習指導案づくり

履修上の留意点 高等学校公民科の基礎知識が必要なので予め「現代社会」「政治・経済」及び「倫理」の教科書を購入し予習しておくこと。

成績評価の方法 定期試験、レポート、出席状況等で総合的に評価する。
教科書 文部科学省『高等学校学習指導要領解説・公民編』（実教出版）を購入する。231円
参考書等 必要な参考書は授業時に随時指示をする。
その他 レポート課題については授業時に説明する。

履修コード	062501・062502・062701・062702
科目名	社会科教育法Ⅵ（公民） 公民科教育法Ⅱ
担当者名	橋爪 ^{はしづめ さとし} 敏

講義のねらい この授業は、高等学校公民科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。
講義の内容・授業スケジュール 授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、公民科教育法に関する文献講読を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、社会科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点 教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。
成績評価の方法 最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。
教科書 使用するが、未定。
参考書等 適宜、授業中に紹介する。

履修コード	113501・113502
科目名	社会科教育法VI(公民) 公民科教育法II
担当者名	谷敷 正光

講義のねらい 後期は、授業実践に必要な授業展開の仕方、発問の仕方、板書法などの基本的指導技術や教材開発など実際的能力を修得し、各自が立てた授業設計・学習指導案をもとに公民科の模擬授業を実践する。授業実践を通じて教育実習に備えるとともに公民科教師としての資質・力量形成につとめます。本講は前期、後期の授業で公民科の学習指導案が書け、公民科の授業ができることをねらいにしています。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 公民科教育ガイダンス
高等学校公民科のねらい
- 2 高等学校公民科「現代社会」の内容構成と授業の配慮事項
- 3 高等学校公民科「政治経済」の内容構成と授業の配慮事項
- 4 高等学校公民科「倫理」の内容構成と授業の配慮事項
公民科の学習形態
- 5 公民科授業技術 机間巡視・机間指導法
- 6 公民科授業技術 教材開発と教材の活用
- 7 公民科授業技術 板書計画と板書法
- 8 公民科授業技術 発問の仕方と問答法
- 9 模擬授業の意義と学習指導案の立案
(授業研究)模擬授業の実施方法と諸注意・実施要領
(授業研究)4年生の模範授業
- 10 (授業研究)模擬授業実践・感想意見の集約
- 11 (授業研究)模擬授業実践・感想意見の集約
- 12 (授業研究)模擬授業実践・感想意見の集約
- 13 (授業研究)模擬授業実践・感想意見の集約
- 14 (授業研究)公民科教師による模範授業 できれば授業参観(予定)
- 15 実践した模擬授業の評価、後期授業の総括と小テスト、教育実習と公民科の授業、高等学校公民科教師論、
公民科の教員採用試験の準備、「特別演習」と「サブゼミ」

履修上の留意点

- (1) 教材としてプリントを配布します。必ずその時間に受け取って下さい。
- (2) ビデオ、DVDなどを利用します。視聴覚室に変更することがあります。

成績評価の方法

- (1) 課題提出、模擬授業の実践、出席、小テストなど総合的に評価します。
- (2) 定期試験、追試は行いません。小テストは授業中に実施。

教科書

- (1) 教科書に代わるプリントを授業で配布します。
- (2) 高等学校で使用している教科書『改訂 版現代社会』実教出版、570円。
(教科書の検定番号は、7実教 現社019です)

参考書等

- 以下の参考書は講義の参考にして下さい。図書館で参照して下さい。
- (1) 大濱徹也『現在問われている世界 社会科』(同成社)、(2) 無着成恭『山びこ学校』(角川文庫)、(3) 菊地宏義他『社会科と私たち』(大月書店)、(4) 谷敷正光他『社会科教育研究』(梓出版)、(5) 槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)、(6) 関根正明『教師のちょっとした口のきき方』(学陽書房)、(7) 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)、(8) 浜上薫『発問づくりの技術』(明治図書)、(9) 大西忠治『発問上達法』(民衆社)、(10) 公民教育学会編『公民教育の理論と実践』(第一学習社)、(11) 教師教育研究会『実践的教師入門』(東洋館出版社)、(12) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説一公民編』(実教出版)

履修コード	134601・134602
科目名	社会科教育法VI(公民) 公民科教育法II
担当者名	小川 光夫

講義のねらい 先進的・魅力的な授業とは何かについて授業実践事例を示しながら考察する。また模擬授業を通して公民科の実践的な指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 学習指導事例と授業実践報告を取り上げ、考察する。(2回)
- 2 各科目のシラバスの作成と観点別評価について(1回)
- 3 教材研究と学習指導案の作成について(1回)
- 4 学習指導案に基づく模擬授業(11回)

成績評価の方法

出席状況、模擬授業、学習指導案、レポート等で総合的に評価する。

教科書

文部科学省『高等学校学習指導要領解説・公民編』(実教出版 231円)及び平成21年度使用の公民科各科目の教科書。なお高等学校で使用している「現代社会」「政治・経済」「倫理」の教科書については別途受講時に指示をする。

参考書等

必要な参考書は授業時に随時指示をする。
受講者は学習指導案を作成し、模擬授業を行なう。

履修コード	088401
科目名	社会科教育法I
担当者名	いそやま すずみ 磯山 進

講義のねらい	戦後新たに設置された社会科の意義ならびに社会科が今日まで果たしてきた役割について考察する。そして現行学習指導要領に示された社会科の目標や内容等について認識を深め、その目標を具現化するための授業の在り方を研究する。
講義の内容・授業スケジュール	1 社会科教育の成立と歴史の変遷（2回） 2 社会科の目標と構造（1回） 3 地理的分野の目標と内容構成（1回） 4 歴史的分野の目標と内容構成（1回） 5 公民的分野の目標と内容構成（1回） 6 指導計画の作成と内容の取扱い（1回） 7 学習指導案の作成と評価の方法（1回） 8 学習指導案の作成と指導の方法（1回） 9 学習指導案の作成と模擬授業（6回）
履修上の留意点	各自の専門領域における知見を活用することはもとより、社会科の指導に必要とされる広い視野を養うために、社会科の各分野に関心を持ち、教材の研究、開発に努めること。
成績評価の方法	出席状況、レポート、定期考査等で総合的に評価する。
教科書	文部科学省『中学校学習指導要領 解説—社会編—』（日本文教出版）175円 他に中学校社会科各分野の教科書を用意すること。教科書については授業の際に指示する。
参考書等	長谷川・工藤監修『中学校社会科授業のリ・デザイン』（東洋館出版社） 佐伯・澁澤・堀井編著『生徒の心を揺さぶる社会科教材の開発』（三晃書房）
その他	1～9回は講義中心、10～15回は模擬授業と授業研究で行う。

履修コード	088501
科目名	社会科教育法II
担当者名	いそやま すずみ 磯山 進

講義のねらい	社会科教育法Iに続いて、実践的指導力を養うことを目標とする。そのために各分野ごとの指導計画の作成、学習指導の工夫、教材研究と教材開発ならびに模擬授業等を通して授業構成能力の向上を図る。
講義の内容・授業スケジュール	1 観点別評価を踏まえた学習指導案と授業の事例研究—各分野ごと—（3回） 2 教材研究とカリキュラム開発（1回） 3 単元の指導計画の作成と評価の観点（1回） 4 学習指導案を踏まえた模擬授業と授業研究（9回） 5 まとめ—社会科教育を考える（1回）
履修上の留意点	実践的指導力を高めることが主な目標なので、教材の研究と開発、指導法の工夫、模擬授業と授業研究に意欲的に取り組むことを期待する。
成績評価の方法	出席状況、授業への参加態度、レポート、定期考査等で総合的に評価する。
教科書	文部科学省『中学校学習指導要領 解説—社会編—』（日本文教出版）175円 なお、中学校社会科各分野の教科書を用意すること。
参考書等	長谷川・工藤監修『中学校社会科授業のリ・デザイン』（東洋館出版社） 佐伯・澁澤・堀井編著『生徒の心を揺さぶる社会科教材の開発』（三晃書房）
その他	1～5回は講義中心、6～14回は模擬授業と授業研究、15回は講義中心で行う。

履修コード	088601・088801
科目名	社会科教育法I
担当者名	<small>おがわ みつお</small> 小川 光夫
講義のねらい	戦後社会科の特徴及び変遷について概観し、社会科の基本的な性格について検討する。また、『中学校学習指導要領解説・社会科編』を活用して社会科の目標と内容、その取り扱いについて考察し、社会科の教材研究と授業づくりについて検討する。
講義の内容・授業スケジュール	1 社会科改訂の趣旨及び要点（2回） 2 社会科の目標及び内容（2回） 3 社会科各分野の目標及び内容（2回） 4 社会科各分野の内容の取り扱い（2回） 5 社会科各分野の指導計画の作成上の配慮事項（2回） 6 社会科各分野の資料等の活用と作業的、体験的な学習（1回） 7 政治及び宗教に関する事項の取り扱い（1回） 8 社会科各分野の学習指導案の作成及び社会科の授業づくり（3回）
履修上の留意点	しばらくの間、プリント授業を行なうが『中学校学習指導要領解説・社会科編』は必ず購入し学習しておくこと。また中学校の「地理的分野」「歴史的分野」「公民的分野」の教科書も準備すること。
成績評価の方法	定期試験、レポート、出席状況等で総合的に評価する。
教科書	文部科学省『中学校学習指導要領解説・社会科編』日本文教出版 175円
参考書等	必要な参考書は授業時に随時指示をする。
その他	レポート課題については授業時に説明する。

履修コード	088701・088901
科目名	社会科教育法II
担当者名	<small>おがわ みつお</small> 小川 光夫
講義のねらい	授業実践事例を示しながら先進的・魅力的な授業方法について考察する。教材研究を深め、年間指導計画と観点別評価を踏まえたバランスの取れた学習指導案を作成する。また模擬授業を通してより実践的な指導力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	1 先進的な学習指導事例や授業実践報告等を取り上げて検討する。（3回） 2 各科目のシラバスの作成と観点別評価について（1回） 3 教材研究と学習指導案の作成について（1回） 4 学習指導案に基づく模擬授業（11回）
成績評価の方法	出席状況、模擬授業、レポート、学習指導案等で総合的に判断する。
教科書	文部科学省『中学校学習指導要領解説・社会科編』（日本文教出版 175円）及び平成21年度使用の公民科各科目の教科書。なお公民科各科目の教科書については別途受講時に指示する。
参考書等	必要な参考書は授業時に随時指示をする。
その他	受講者は学習指導案を作成し、模擬授業を行なう。

履修コード	089001
科目名	社会科教育法I
担当者名	<small>にい まさひろ</small> 二井 正浩
講義のねらい	「社会科教育法I・II」は、中学校「社会科」の原理（社会科とは何のために、何を、どのように教える教科なのか？）と方法（一定の内容を教えるために、どのような授業を設計し、実践し、評価すればよいのか？）について学ぶ科目である。 具体的には、「社会科教育法I」では、中学校社会科の学習指導要領、代表的な社会科論や授業実践などについて考察し、社会科教育の現状と課題を明らかにする。 「社会科教育法I」では、主に「社会科」の原理について扱う。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは必ず購入すること。また、授業への出席とは、単にその教室にいることではなく、参加することであるということを、忘れないように。
履修上の留意点	レポート、授業への出席などで総合的に評価する。
成績評価の方法	星村平和監修 原田智仁編『社会科教育へのアプローチ—社会科教育法—』（現代教育社）2,477円＋税
教科書	森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』（明治図書）2,620円＋税
参考書等	森分孝治、片上宗二編『社会科 重要用語300の基礎知識』（明治図書）2,660円＋税
その他	基本的には講義形式でおこなう。

履修コード	089101
科目名	社会科教育法II
担当者名	にい まさひろ 二井 正浩

講義のねらい

「社会科教育法I・II」は、中学校「社会科」の原理（社会科とは何のために、何を、どのように教える教科なのか？）と方法（一定の内容を教えるために、どのような授業を設計し、実践し、評価すればよいのか？）について学ぶ科目である。

具体的には、「社会科教育法II」では、教材研究、授業設計および評価の実践的能力を身に付けることを目標としている。

「社会科教育法II」では、主に「社会科」の授業づくりについて扱う。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

テキストは必ず購入すること。また、授業への出席とは、単にその教室にいてはならず、参加することであるということを、忘れないように。

成績評価の方法

レポート、学習指導案、授業への出席などで総合的に評価する。

教科書

星村平和監修 原田智仁編『社会科教育へのアプローチ—社会科教育法—』（現代教育社）

参考書等

森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』（明治図書）2,620円＋税

その他

森分孝治、片上宗二編『社会科 重要用語300の基礎知識』（明治図書）2,600円＋税

基本的には講義形式でおこなう。

履修コード	070801
科目名	福祉科教育法
担当者名	きはら ひろゆき 桐原 宏行

講義のねらい

本授業は、人権教育を含む福祉科教育の目的、福祉科の各科目の内容、授業計画、教材研究、授業の基本的指導技術等への理解を深め、福祉科教師としての資質の向上を目指すことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 導入（授業のすすめ方）（第1回）
- 2 人権教育と福祉科教育の目標（第2回～第3回）
- 3 学習指導要領の理解（第4回～第5回）
- 4 授業計画の立案（第6回～第8回）
- 5 授業の組み立ての理解（第9回～第12回）
- 6 教材研究と開発・資料の活用（第13回～第15回）
- 7 授業指導案の作成（第16回～第22回）
- 8 模擬授業（第23回～第29回）
- 9 総括（第30回）

履修上の留意点

この授業は福祉科教師を目指す上で不可欠な科目である。授業では、各自が作成した授業指導案（教案）に沿って、ロールプレイによる模擬授業を実施し、それをもとに議論していくため、無断欠席は厳禁である。

成績評価の方法

教案の提出(50%)、模擬授業の実施(30%)、授業への出席状況及び授業態度(20%)による評価とする。

教科書

桐原宏行編著、『福祉科教育法』、三和書籍、ISBN4-916037-63-4 C3036、2,400円＋税

参考書等

授業中、必要に応じて紹介する。

履修コード	113301
科目名	商業科教育法
担当者名	<small>つづみはら まさのぶ</small> 黒葛原 正展

講義のねらい 高等学校商業科の教師を目指す学生が、商業教育に関する基礎的知識を学習すると共に、商業科の教師として備えておくべき指導方法・指導技術を習得する。

「教育とは」「商業教育とは」から「社会における商業の役割」、「商業教育の役割」まで学習し、講義と演習により、商業教育の専門家の養成と資質の向上を図る。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. 商業教育の意義
2. 商業の活動と商業教育
3. 商業教育の草創
4. 商業教育の変遷（昭和20年まで）
5. 商業教育の変遷（昭和20年以降）
6. 前回学習指導要領の理解（総則）と学習指導要領の理解（商業）
7. 教育基本法の改訂と商業教育
8. 教育三法の改定と商業教育
9. 新学習指導要領の理解（総則）
10. 新学習指導要領の理解（商業）
11. 中央教育審議会答申「生きる力」とは
12. 平成21年度からの教育課程
13. 平成21年度からの商業教育
14. 商業各科目の指導目標と指導内容
15. 商業各科目の指導法・指導技術と評価
16. 年間指導計画と年間授業計画
17. 学習指導案の作成について
18. 教科書研究－1（必修科目、総合科目）
19. 教科書研究－2（簿記・会計科目、情報科目）
20. 新学習指導要領改訂による新科目の指導目標と指導内容
21. 新しい学力観と評価
22. 模擬授業案の作成について
23. プレゼンテーションと授業
24. 模擬授業
25. 模擬授業
26. 模擬授業と評価
27. 商業教育の成果と課題
28. 商業教育の展望
29. 商業科の教育実習
30. 教員採用試験に向けて

履修上の留意点

本講座は、商業科教師を目指す者が学ぶものである。単に単位を修得すれば良いものではなく、積極的に学習し、多くを吸収しようとする熱意が必要である。

本講座では、パソコンを使用するので、履修する前にワード、パワーポイントは操作できるようにしておくこと。

成績評価の方法

授業への参加意欲、態度、課題提出、模擬授業、授業内テストなどによって評価。定期試験、追試験はおこなわない。

**教科書
参考書等
その他**

黒葛原正展、他 共著、「教職必修 新商業科教育法」（実教出版）
新簿記（実教出版）、ビジネス基礎（実教出版）、その他、必要に応じて紹介する。
授業は講義方式および演習方式、必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	113601・113602
科目名	職業科教育法I 職業科教育法
担当者名	谷敷 正光 <small>やしき ただみつ</small>

講義のねらい

戦後の新教育は職業に関する教育を重視し、「学校教育法」では「社会に必要な職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度および個性に応じて将来の進路を選択する能力を養うこと」(第36条)を明示し、中学校に「社会科」とともに「職業科」が必修教科として新設された。「職業科」には農業、工業、商業、水産、家庭の各科目が設けられ、これらの科目を通じて職業の基礎的知識・技能の修得と生徒に職業選択の能力を身に付けることをねらいとした。

しかし、新設された「職業科」は昭和24年には「職業・家庭科」となり、昭和33年には「学校教育法施行規則」一部改正により「技術・家庭科」が新設され、「職業・家庭科」は「職業に関する教科」となって必修から選択教科となった。そして昭和52年度版学習指導要領以降は「その他特に必要な教科」と称されている。

そこで、本講は、変遷をたどった職業科の教科構造とその内容・特色や職業科の学習指導原理、学習指導の方法等を明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 職業科の意義
- 2 戦前の小学校・中学校と職業教育
- 3 戦後新教育と職業科の成立
- 4 昭和22年度版中学校学習指導要領―職業科の教科構造とその内容・特色
- 5 昭和26年度版中学校学習指導要領―職業家庭科の目標・性格と教科構造
- 6 昭和26年度版中学校学習指導要領 職業家庭科編―教育内容の編成、教育計画
- 7 昭和32年度版中学校学習指導要領 職業家庭科編―職業・家庭科の教育内容・組織
- 8 昭和33年度版中学校学習指導要領―職業科の目標・内容・指導上の留意点
- 9 昭和44年度版中学校学習指導要領―職業科の目標・内容・指導上の留意点
- 10 昭和45年度版中学校指導書 農業、工業、商業、家庭編―職業・家庭科の教育内容
- 11 昭和52年度版、平成元年度版中学校学習指導要領―職業・家庭科改訂の要点
- 12 職業家庭科の現状と課題
- 13 職業家庭科学習指導の原理
- 14 職業家庭科学習指導の方法
- 15 職業家庭科の評価、職業家庭科の課題作成

「特別演習」と「サブゼミ」について

毎時間プリントを配布し、教科書とするので必ずその時間に受け取ること。

出席と小課題などで総合評価する。

教科書に変えて毎時間資料プリントを配布します。

昭和22年度版、昭和26年度版、昭和33年度版、昭和44年度版、昭和52年度版『中学校学習指導要領』(文部省)

『職業・家庭科指導細案』(牧書店) 図書館 375.6-Sy957

安藤克雄著『職業科図説』(岩崎書店) 図書館 357.6-A515s3

産業教育研究連盟『職業科指導事典』(国土社)

(最近の文献は少ないので、必要な時は図書館を利用して下さい。)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

履修コード	114301
科目名	職業科教育法II
担当者名	黒葛原 正展

講義のねらい	職業科教育法Iをもとに、教育方法・教育技術の向上を目指して、学習指導の実戦力がつくようにパソコンを教具として教材作り、模擬授業を中心にした授業を行う。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育方法と教育技術（1） 2. 教育方法と教育技術（2） 3. 教材・教具と指導方法・技術 4. 新しい学力観と評価 5. 学習指導形態と指導方法・指導技術（1） 6. 学習指導形態と指導方法・指導技術（2） 7. 新学習指導要領の理解（総則） 8. 新学習指導要領の理解（技術） 9. 板書計画とプレゼンテーション 10. 新教育基本法 11. 新学校教育法等 12. 「生きる力」の理解 13. 年間指導計画と授業計画〔13.～14.〕 15. 学習指導案の作成と評価〔15.～16.〕 17. ワードによる学習指導案の作成〔17.～19.〕 20. 自作教材による模擬授業案の作成〔20.～23.〕 24. パワーポイント活用による模擬授業案の作成〔24.～26.〕 27. 模擬授業の評価と授業研究（1） 28. 模擬授業の評価と授業研究（2） 29. 模擬授業の評価と授業研究（3） 30. 教員採用試験に向けて
履修上の留意点 成績評価の方法	本講座では、パソコンを使用するので、ワード、パワーポイントの操作が出来るようにしておく。授業への参加意欲、態度、課題提出、模擬授業、授業内テストなどによって評価。定期試験、追試験はおこなわない。
教科書 参考書等 その他	授業時に資料を配布する。 必要に応じて紹介する。 授業は講義方式および演習方式、必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	438801
科目名	英語科教育法Ia
担当者名	町田 尚子

講義のねらい	グローバル・メディア・スタディーズ学部の「英語科教育法」は、日本語を母語とする中学生、高校生が、さまざまな言語を話す人たちと、意思疎通し、理解しあうために必要な『共通語としての英語』を教える英語教師を目指す学生が修得しておくべき科目、と位置づけています。
講義の内容・授業スケジュール	<p>以下の項目を中心に資料を集め、検討を加え、議論をします。</p> <p>(1) 日本の英語教育の指導目標、指導の概要と変遷を学習指導要領（外国語—英語）を次のサイトから調べる http://www.nicer.go.jp/lom/program/search/guidelineforteaching.php?kind=juniorh...</p> <p>(2) 現行の中学校、高等学校の外国語（英語）学習指導要領（Elementary and Secondary Education: The Course of Study for Foreign Languages）を http://www.mext.go.jp/english.shotou/030301.htm から download し研究する。</p> <p>(3) 新しい学習指導要領「中学校外国語（英語）」を http://www.mext.go.jp/a-menu/shotou/new-cs/youryou/index.htm から download し研究する。</p> <p>(4) 新しい学習指導要領小学校外国語（英語）を http://www.mext.go.jp/a-menu/shotou/new-cs/youryou/shyo/gai.htm から download し研究する。</p> <p>(5) 英語を母語とする国、英語を公用語とする国の教育方針を探ってみる。</p> <p>(6) 英語圏と非英語圏のSLあるいはFL教員養成コースの指導法を調べる。</p>
履修上の留意点	① Ia の履修が IIa, IIb, IIc 履修の前提となります。
成績評価の方法	② 教場で web site にアクセスするのでPCを持参すること。
教科書 参考書等	授業中の課題発表と提出課題レポートの成績を総合して評価点を出します。 プリント教材配布 教場で指示します。

履修コード	438911
科目名	英語科教育法Ib
担当者名	町田 尚子

講義のねらい	『英語科教育法 Ia』で考察する、英語教育についての理想像を基にして、教授法を考え、授業を実践してみる。Ib では主として高等学校レベルの英語授業を想定します。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 中学校、高等学校で英語を教えるために必須の音声、語彙、文法について、exercise を主として復習する。 (2) 英語の教授法について、e-learning を含め、考察する。 (3) 英語授業実践：教育実習を想定し、英語指導計画書の作成を試みる。 (4) 教育実習先の教科書を調べ、1時限の授業の teaching plan に基づき、50分の模擬授業を順次担当する。模擬授業実施後、受講生全員が、模擬授業について、評価と助言を中心とした discussion を行う。 (5) さらに ITを活用した英語授業の導入を、グループで実験してみる。
履修上の留意点	Ia の履修を前提とします。
成績評価の方法	授業中の発表と提出課題の成績を総合して評価点数を出します。
教科書	プリント教材と中学校、高等学校の英語教科書。
参考書等	教場で指示します。

履修コード	439001
科目名	英語科教育法IIa
担当者名	町田 尚子

講義のねらい	グローバル・メディア・スタディーズ学部の「英語科教育法」は、日本語を母語とする中学生、高校生が、さまざまな言語を話す人たちと、意思疎通し、理解しあうために必要な『共通語としての英語』を教える英語教師を目指す学生が修得しておくべき科目、と位置づけています。特にIIaは中学校の英語教育の指導を中心に考察します
講義の内容・授業スケジュール	『英語科教育法 Ia』で取り上げる項目について、特に初習者への導入教育に焦点を当てて考察します。 (1) 現行の中学校の外国語（英語）学習指導要領（Elementary and Secondary Education: The Course of Study for Foreign Languages）を http://www.mext.go.jp/english.shotou/030301.htm から download し研究する。 (2) 新しい学習指導要領「中学校外国語（英語）」を http://www.mext.go.jp/a—menu/shotou/new—cs/youryou/index.htm から download し研究する。 (3) 新しい学習指導要領小学校外国語（英語）を http://www.mext.go.jp/a—menu/shotou/new—cs/youryou/shyo/gai.htm から download し研究する。 (4) 英語を母語とする国、英語を公用語とする国の教育方針を探ってみる。 (5) 英語圏と非英語圏のSLあるいはFL教員養成コースの指導法を調べる。 (6) 言語教育の枠組みで初習英語教育を考えてみる。
履修上の留意点	① Ia の履修を前提とする。 ② 教場で web site にアクセスするのでPCを持参すること。
成績評価の方法	課題発表と提出課題レポートの成績を総合して評価点数を出します。
教科書	プリント資料を配布します。
参考書等	教場で指示します。

履修コード	439111
科目名	英語科教育法IIb
担当者名	町田 尚子

講義のねらい 『英語科教育法IIa』で考察する、中学校レベルの英語教授法から、理想とするモデルを想定し、実践してみる。特に初習者への英語導入教授法の工夫を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール (1) 中学レベルの英語の教授法について、e-learning を含め、特に、中学レベルでの初習言語導入教育の問題点と解決法を考える。
(2) Oral Communication の導入指導について考察する。
(3) 英語授業実践：教育実習を想定し、英語指導計画書の作成を試みる。
(4) 教育実習先の教科書を調べ、1時限の授業の teaching plan に基づき、50分の模擬授業を順次担当する。模擬授業実施後、受講生全員が、模擬授業について、評価と助言を中心とした discussion を行う。
(5) さらに ITを活用した英語授業の導入を、グループで実験してみる。

履修上の留意点 Ia, IIa, IIb の履修を前提とします。

成績評価の方法 授業中の課題発表と提出課題レポートの成績を総合して評価点数を出します。

教科書等 プリント教材のほか、中学校英語教科書を数種類利用します。教場で指示します。

履修コード	083101・083102・083801・083802
科目名	教育実習I 教育実習II
担当者名	豊田 千代子

講義のねらい 中学・高校での教育実習を充実させるための準備を行うことと、実習をおとしてみえてきた教育のさまざまな課題について、ともに考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 【前期】(1) ガイダンス、実習の目的と意義 (2) 実習の心がまえ (3) 生徒指導、教科指導について (4) 指導案作成について (5～8) 模擬授業 (9～11) 個別指導 (12～15) 実習の報告
【後期】(16) 教育の現状 (17～29) 教育をめぐる諸問題についての検討 (30) まとめ

成績評価の方法 出席状況、実習ノート、実習校からの評価、実習報告、レポートによる。

教科書等 教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。適宜紹介する。

履修コード	083201・083202・083701・083702・084001・084002・084101・084102
科目名	教育実習I 教育実習II
担当者名	坂本 信昭

講義のねらい 教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくすることよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導（教育）も大事にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール 教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容（領域）等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。（前期）(1～15)
教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。（前期・後期）
教育実習後は、各自の教育実習報告、レポート作成（提出）、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か—どうあるべきか—について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。（後期）(16～30)

履修上の留意点 授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法 (1) 実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、(2) 教育実習報告（口頭報告）及び報告レポート、(3) ビデオ視聴のコメント（感想）、(4) 年度末試験（または、課題レポート）によって、総合的に評価します。

参考書等 栗原敦雄他編『教育実習ガイド』（宣協社）1,500円
寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』（学文社）1,000円

履修コード	083401・083402
科目名	教育実習I 教育実習II
担当者名	萩原 建次郎

講義のねらい 教育実習をはさんで、教育実践体験を受講者同士で深め合い、教育という営みを深くつかんでいく感性と知性を磨いていきたい。

講義の内容・授業スケジュール ①実習前には指導案作成の方法を学び、実習することの意義や心がまえなどを扱う。(1～10)
②実習後は実習前に作成した指導案と比較検討し、どのような点を改善すべきか話し合い、どこを留意して指導案を作成すべきかチームで発表する。(11～15)
③各自実習のふりかえりレポート作成をおこなう。そこから実践事例をとり上げ、共同でふりかえる。テーマは生徒へのかかわり方や学習指導の在り方、いじめ・不登校などの教育問題への理解など、受講生の関心と実際の体験にもとづき多様に展開する。それらを通じて教師としての心構えと教育への理解をより一層深める時間としたい。(16～30)

履修上の留意点 教育実習を中心とした参加型の学習なので、受講者の主体的な参加が求められる。事前指導・事後指導がセットとなって構成されている年間授業である。そのため前期・後期のどちらか一方のみの受講は認めない。

成績評価の方法 実習校からの評価、口頭発表、レポート、出席等により総合的に評価する。
教科書 教科書・参考書等はそのつど指示する。
参考書等 教科書・参考書等はそのつど指示する。

履修コード	083501・083502
科目名	教育実習I 教育実習II
担当者名	北村 三子

講義のねらい 中学・高校での教育実習は、教員免許を得るために乗り越えなくてはならない最大の課題であろう。実習生とはいえ教師であることを求められる、責任の重い課題でもある。この授業は、実習のための準備と、実習体験を他の人々と共有し深めることを目的とするものである。実習がスムーズに進み、また、実り多いものとなるように、以下に述べるような様々なことを試みたい。また実習後は、教える立場から新たに見えてきた学校や教師、生徒の問題や、それらの存立基盤としての、社会や文化の問題を考え合いたい。

講義の内容・授業スケジュール 内容・スケジュールはおおむね以下の通り。
前期：実習の概要と注意(ビデオを含む)(1～3)、学習指導案作成・発表(4～6)、個別指導(7～10)、実習の報告(11～15)
後期：教育関係の雑誌論文等を読みあい、考えあう(内容は参加者と相談の上決定)(1～14)、まとめ(15)

履修上の留意点 実習の準備としては、教材研究を各自よくやること。後半は積極的に参加すること。
成績評価の方法 実習ノート・評価表などの実習の記録、授業への参加度、最終授業時のまとめのテストによる。

履修コード	083601・083602
科目名	教育実習I 教育実習II
担当者名	伊藤 茂樹

講義のねらい 中学・高校での教育実習を乗り切るものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それをとりまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。

講義の内容・授業スケジュール 実習前には、教育実習の意義や目的、内容についての講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験を報告により共有したうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。

履修上の留意点 第一回の授業で概要を説明する。第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は、事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者は履修は認められないので注意すること。

成績評価の方法 実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。
教科書 教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	083901・083902
科目名	教育実習I 教育実習II
担当者名	<small>えんどう つかさ</small> 遠藤 司

講義のねらい	教職課程での学びの総仕上げとしての「教育実習」を意義深いものとするための学びをすることがこの授業の目的である。実習前には、実習に向けての準備を万全なものとするために、実習することの意義を理解し、具体的な準備をするための学びを行う。実習後には実習の体験をより深めるために、自らの実習体験を振り返りながら、教育についての様々な問いを共有し、参加者とともに考えを深め合うための学びを行う。以上のことを通して、教育実習を自らの人生の中での意義深い体験とすることが、この授業を通して目指されることとなる。
講義の内容・授業スケジュール	前期 1. ガイダンス：教育実習の基礎を学ぶ（1～2） 2. 事前準備のための学び（3～5） 3. 模擬授業・学習指導案作成（6～11） 4. 教育実習の報告・振り返り（12～14） 5. 前期のまとめ（15） 後期 1. 実習体験から発生した問いについて考える（16～25） 2. 教職課程での学びを振り返る（26～29） 3. 全体のまとめ（30）
履修上の留意点	第一回の授業で概要を説明する。受講希望者は第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者は履修を認めないので注意すること。「教育実習」という実際の活動を中心とした授業であるため、主体的・積極的に参加することを望む。
成績評価の方法	実習校からの評価、実習ノートなどの実習の記録、授業への参加度、学期末のレポート等を総合して評価する。
教科書	特定の教科書は用いない。参考書は適宜紹介する。

履修コード	084151・084152
科目名	教育実習I 教育実習II
担当者名	<small>おほし 幾久子</small> 大浜 幾久子

講義のねらい	中学校・高等学校における教育実習では、学生でありながら教師としての仕事を要求される。この難しい課題に取り組むにあたって必要とされる諸側面の準備をする。さらに実習を終えた時点で各人の体験を発表しあい、学校教育を教師の側からとらえるための討論を積み重ねていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期：①実習の概要（1～3）、②学習指導案作成・模擬授業（4～6）、④個別指導（7～10）、⑤実習の報告（11～15）。 後期：学校教育をめぐる様々な論文を読み、討論を重ねる。とりあげる論文は、受講者の関心、提案により決定したい（1～14）。まとめ（15）。
履修上の留意点	実習前に必須なのは教材研究を充実させることである。さらに、実習後の授業にも積極的な参加が必要である。
成績評価の方法	①実習校からの評価、『実習ノート』等の実習記録、②授業への参加度、③学年末のレポート、を総合した評価。
教科書	使用しない。必要に応じ参考書や他の文献を紹介する。

履修コード	085101・085201
科目名	教育関係法規
担当者名	ひろさわ あきら 広沢 明

講義のねらい 学校教師にとって教育法規に関する知識は必要不可欠である。この授業では、教育基本法・学校教育法をはじめとする教育法規について概説するが、その際、学校現場に生起している具体的事例(判例・行政実例等)を多く取り上げ、将来教員をめざす者に応用力の効法的思考力が身につくよう留意したい。

講義の内容・授業スケジュール (1)オリエンテーション、(2)教育を受ける権利、(3)教育権の所在、(4・5)教育の機会均等(差別の禁止、障害児、就学援助)、(6・7)義務教育(就学義務、無償)、(8・9)学校の公共性(学校の種類、学校設置者)、(10・11)教育の中立性(政治的中立性、宗教的中立性)、(12~14)児童生徒の懲戒(懲戒処分、校則、体罰)、(15)中間試験、(16~18)教育目的・目標、(19~21)教育行政(文科省、教育委員会、学習指導要領、教科書検定)、(22・23)教職員法制(免許、任用、勤務、分限・懲戒、研修、勤務条件)、(24・25)家庭教育・幼児教育、(26)社会教育、(27・28)児童福祉法、児童虐待防止法、少年法、(29)まとめ、(30)学年末試験

履修上の留意点 特になし。
成績評価の方法 試験(年2回)と平常点(出席等)で評価する。
教科書 解説教育六法編集委員会編『ガイドブック教育法』(三省堂)、『解説教育六法2009』(三省堂)。毎回必ず使うので必携のこと。
参考書等 適宜授業中に紹介する。

履修コード	085301
科目名	教育評価
担当者名	おおほら きくこ 大浜 幾久子

講義のねらい 狭義の教育評価にとらわれず、人間の能力とは何か、学力とは何かについて、様々な側面から討論し、研究することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール はじめに、教育心理学の研究手法(実験・観察・調査・テスト)の基礎を学ぶ。その上で、発達や学習の測定、評価にかかわる研究実習を行う。実習においては、必要に応じパソコンも活用していく。

- 前期 第1回:「教育評価」とは
 第2回:日常生活における測定
 第3~6回:心理学研究における測定法の展開
 第7回:性格テスト実習
 第8回:知能テスト実習
 第9~11回:統計学入門:パソコンソフトの活用方法
 第12~15回:研究実習
- 後期 第1~3回:前期の研究実習のプレゼンテーション。
 第4~6回:学校とテスト
 第7~10回:よいテストとは:テスト理論入門
 第11~15回:テスト作成の研究実習

履修上の留意点 ゼミ形式で進める。討論、実習への積極的参加が不可欠である。
成績評価の方法 2回の研究実習レポートを主に、ゼミ討論への参加状況などを加味した総合評価。
参考書等 資料等は随時、準備し指示する。また、受講生からの提案も歓迎する。

履修コード	085401
科目名	教育哲学
担当者名	きたむら みつこ 北村 三子

講義のねらい 教育について自分なりの考えが持てるようになるために必要な、基礎的な力を養います。加えて、人間理解を深めることによって、今まで以上に豊かな対他関係を生み出していけるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 『ハラスメントは連鎖する 「しつけ」「教育」という呪縛』(安富歩・本條晴一郎著)を手がかりに、より良い人間関係のあり方について考えます。スケジュールは次のようになります。はじめに(1)、『ハラスメントは連鎖する 「しつけ」「教育」という呪縛』を読む(2~29)、まとめ(30)

履修上の留意点 ゼミ形式で行います。毎回テキストを読んでくる必要があります。
成績評価の方法 出席状況、発表、レポートによります。
教科書 安富歩・本條晴一郎著 『ハラスメントは連鎖する 「しつけ」「教育」という呪縛』 光文社新書 2007年 840円

履修コード	085501
科目名	教育情報学
担当者名	石橋 <small>いしばし たつや</small> 達也

講義のねらい	<p>情報化が著しく進展している今日の社会的状況における情報と情報メディアをテーマにして、その在り方の特質や活用方法について教育との関わりを視野に入れて学んでいく。「教育とメディア」の授業との関連性を考慮して、本授業の狙いを次の三点とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 応用レベルの学習を取り入れて、情報に関してより進んだ知識と技能の習得を目指す。 2. コンピュータ（パソコン）の教育分野での利用について、教育学観点からの考察とともに、さまざまな活用の在り方を具体的に探り検討する。 3. 基本的に汎用性の高いソフトウェアの操作実習を通して、広く社会で必要とされる実用的なコンピュータ・リテラシー（パソコン活用能力）を育成する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>授業は常にパソコン教場で行ない、テーマの講義とパソコン実習を組み合わせる。</p> <p>前期の授業内容としては、情報科学の基礎（講義）、パソコン利用の基礎（講義・実習）、インターネット利用①閲覧・検索、②ファイルの収集・加工処理、③プログラムのダウンロード・インストール・実行、④オンライン学習（以上、実習）、コンピュータとインターネットの教育的活用（講義）、教育用ソフトウェアの活用（講義・実習）などを予定。</p> <p>後期の授業内容としては、インターネットの新たな形態（講義・実習）、表計算ソフトを活用した情報整理（実習）、社会における統計情報の活用（講義）、表計算ソフトでの情報の統計処理（実習）、汎用的なプログラミングの基礎（講義・実習）、情報とデータベース（講義・実習）などを予定。</p>
履修上の留意点	履修する学生は、パソコンの実習には継続と反復練習が大切であることを自覚した上で、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むこと。
成績評価の方法	成績の評価は、平常点（出席状況、受講態度）、授業内小テスト、課題の提出、期末試験、などを行なう。
教科書等その他	<p>教科書は使用せず、必要に応じて資料プリントを配布して授業を進めていく。</p> <p>授業中の中で、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していく。</p> <p>受講学生には、「学ぶ意欲」をもって積極的に授業に取り組むことを期待する。</p>

履修コード	085601
科目名	教育臨床心理学
担当者名	小田切 <small>おだぎり のりこ</small> 紀子

講義のねらい	<p>教職課程を履修し教師を目指している学生、将来スクールカウンセラーになりたいと思っている学生、学校現場の問題を学びたいと思っている学生を対象にした授業です。児童期・思春期の子どもの発達の様相、軽度発達障害の子どもたちの理解と家族への支援、児童虐待と家族の病理、不登校・引きこもり・高校中退の問題、いじめとその予防、非行少年と彼らの更生、非行少年の家族への支援などを中心に学んでいきます。</p> <p>また、学校内での連携体制の作り方、学校と地域の専門機関（教育相談室、児童相談所、医療機関など）との連携についても学びます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 児童期の発達課題、2 児童期に生じる精神病理と障害、3 思春期の発達課題、4 思春期に生じる精神病理と障害、5 軽度発達障害とは何か、6 軽度発達障害の種類と症状、7 軽度発達障害を抱える子どもへの支援、8 軽度発達障害の家族への支援、9 児童虐待の現状、10 児童虐待への対応、11 児童虐待の家族の病理、12 不登校の現状、13 不登校への対応、14 高校中退と引きこもりへの対応、15 まとめ <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 いじめの定義と現状、2 いじめへの対応と予防、3 学校での人間関係—生徒同士、生徒と教師、4 学校での人間関係—教師同士、教師と保護者、5 非行少年の実態、6 非行少年と更生に向けての支援、7 非行少年の家族への対応、8 学業不振児の現状と対応、9 教師のストレスと精神衛生、10 学校内での連携体制の作り方、11 地域の専門機関との連携、12 学校現場で役に立つ心理検査、13 カウンセリングの基礎的知識、14 特別支援教育の現状、15 まとめ
履修上の留意点	履修する学生はテキストを購入してください。授業は出席を重視します。
成績評価の方法	試験（前期・後期）60%、平常点（出席）40%によって評価を行います。
教科書	宮川充司・津村俊充・中西由里・大野木裕明 スクールカウンセリングと発達支援 ナカニシヤ出版 2400円
参考書等	伊藤美奈子 思春期の心さがしと学びの現場 北樹出版 1600円

履修コード	085701
科目名	教育社会学
担当者名	伊藤 ^{いとう} 茂樹 ^{しげき}

講義のねらい

教育社会学は、教育を社会現象ととらえ、社会学の手法を用いてアプローチする学問であり、教育や学校、子ども、青少年などに関するあらゆる現象が対象となる。分析のレベルも国の教育政策といったマクロレベルから、教室内での人間関係や相互作用といったミクロレベルまで多岐にわたる。そして、私たちがともすれば自明視しがちな「常識」を相対化して批判的なまなざしを向けたうえで、実態の客観的な分析をふまえて実践や政策に寄与する知見を得る学問である。この学問についての基礎知識を持ち、それを用いて現代社会の教育について考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

(1-5) 教育社会学の対象と方法、(6-9) 学校の歴史と機能、(10-13) 教育制度の類型と発展、(14-17) 学校における相互作用、(18-22) 情報化社会と子ども、(23-30) 現代の教育問題と教育改革
授業への積極的な参加を求める。
課題とレポートにより評価する。
教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	085801
科目名	教育史
担当者名	山本 ^{やまもと} 敏子 ^{みこ}

講義のねらい

近代学校システムが肥大化し、その教育様式が社会全般に浸透している現代においては、生物としてのヒトの子どもが人間らしい感受性をもって生き生きと暮らし、成長していくために必要な生活経験の基盤が大きく切り崩されています。近代学校システムの限界とはどこにあるのか。子どもから大人への人間形成に不可欠な経験とはどのようなものなのか。さらにまた、21世紀に生きる私たちは、学校の変革を含めて、いかなる教育システムを構想していったらよいのか。子どもの生活世界の視点から教育の歴史を辿り直すことによって考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) 講義中心：幕末維新时期から敗戦直後までの教育史概説
(後期) 演習中心：「ことばの世界の変容と人間形成」をテーマに文献講読
(1) 「教育史」への招待 (2) 教育基礎論としての教育史 (3～5) 江戸時代の教育システム (6～8) 近代学校システムの創出と子どもの生活世界の変容 (9～10) 学歴社会の成立とエリート青年の世界、非進学者の学びの世界 (11～12) 教育改造運動ー子ども中心の新しい家族の登場と新学校 (13) 戦時下の学校生活 (14～15) 戦後教育改革と憲法・教育基本法制の成立 (16) 演習テーマの提示と文献講読の分担決め (17～22) 齋藤希史『漢文脈と近代日本』を読む (23～29) 北村三子『青年と近代』を読む (30) 全体のまとめ
受講される皆さんの主体的な参加を期待いたします。
出席状況や授業時間内の発表、学期末レポート等の総合評価。
齋藤希史『漢文脈と近代日本』2007年刊 (NHKブックス) 970円。
北村三子『青年と近代』1998年刊 (世織書房) 2,600円。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

履修コード	086001
科目名	教育調査
担当者名	鈴木 規夫

講義のねらい	人間行動を科学的方法によって研究するための方法論（統計理論）を学ぶとともに、研究を進めていく上で欠かすことのできないコンピュータ利用技術の習得をめざす。また、実際のデータの解析を通じて、どのようにしてデータがまとめられていくかを学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	<p>【前期】調査の方法とEXCEL 調査に係る基本的な手段とその内容について概説し、その後、EXCELを使った図表の作成やデータ処理等の演習を行う。主な内容は以下の通りである。</p> <p>(1) 調査の方法 ①調査の考え方 ②調査表の設計（項目、変数、尺度等） ③調査結果の分析（基礎的な統計） ④報告書の作成</p> <p>(2) EXCELによる統計処理 ①データの入力 ②基礎的な統計処理（平均、標準偏差、比率） ③表の作成とデータのソート ④図の作成とプレゼンテーション</p> <p>【後期】統計理論とSPSSによるデータ解析 統計理論について講義するとともに、教育調査に関連したデータの解析を行い、どのようにしてデータがまとめられていくかを学ぶ。</p> <p>(1) 統計理論 ①データの特徴の記述 ②関係の強さの記述 ③大小関係の比較 ④主成分分析等</p> <p>(2) SPSSによるデータ解析 ①データの入力 ②変数の変換等 ③図の作成 ④分析方法の利活用</p>
履修上の留意点	学習内容は積み重ねによって学ぶよう構成されているので、履修する方はできるだけ欠席しないようにしてください。
成績評価の方法	演習を主体とした授業のため、課題の提出状況と出席状況によって評価する。
教科書	特に指定しない。授業に必要なテキストを授業初日に配布する。

履修コード	086201
科目名	現代社会の諸問題と教育II
担当者名	鈴木 朋夫

講義のねらい	現代の社会は急激な変化に伴って解決の難しい多くの問題を発生させていますが、これらの問題は、教育の在り方に直接的、間接的に重大な影響をおよぼしています。わが国の場合、社会的変化は、とりわけ、1960年代の経済成長政策以降、テンポを速め、激しさを増しています。
講義の内容・授業スケジュール	<p>講義では、わが国の高度経済成長期以降の社会的変化の過程で生じた重要な問題と教育との関係を明らかにして、将来を展望し、問題解決の方途を探ることをねらいとしています。</p> <p>講義は、次の4セクションに分けて行う予定です。</p> <p>第1セクション：「高度経済成長にともなう社会の諸問題と教育」（第1～4回） 第2セクション：「情報化にともなう問題と生涯学習」（第5～8回） 第3セクション：「自由化をめぐる問題と教育」（第9～12回） 第4セクション：グループごとのプレゼンテーション（第13～15回）</p>
履修上の留意点	新聞に目を通し、社会問題・教育問題への関心を高めるとよいでしょう。グループごとに、テーマを設定し、プレゼンテーションを行います。
成績評価の方法	授業への積極性を重視したうえで、出席状況・プレゼンテーション・試験により、総合的に評価します。
教科書	プリントを配布します。
参考書等	授業中に紹介します。
その他	12月には、個人またはグループでプレゼンテーションを行っていただきます。

履修コード	006602
科目名	青少年問題研究
担当者名	讃岐 ^{さぬき} 真佐子 ^{まさこ}

講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶことを目的とする。現代は不適応状態や問題が長引く傾向にあり、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型へ、さらに言語で訴えるよりも身体の症状として現す等、様々な変化が見られるように思う。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもち、どのような人と出会えるかが決定的に重要な意味をもつと思われる。この講義ではこのような問題意識を基に、この時期の青少年に起こり得る諸問題を、発達や事例に則して生き生きと学んでみたいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 青少年に生じ得る「問題」をどう捉えるのか——その二面性について
(2～4) 青少年にいかに出会っていけるのか——臨床心理学に基づくカウンセリングを中心として
(5～14) 事例を通して、不登校、友人関係（いじめ）、非行などのテーマ毎に学ぶ
(15～19) 人間の誕生から青春期に至るまでの心の発達の諸相
(20～25) いくつかの症状（対人恐怖、ひきこもり、身体症状等）について
(26～30) 心の健康に関する諸知識
ただし上記内容は、その時の授業の流れや重点の置き方によって前後することもある。またビデオ視聴も用いる予定。

履修上の留意点

授業は講義中心となるだろうが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらい、受講生同士のフィード・バックも考えていきたい。出席状況（授業態度を含む）も重視する。

成績評価の方法
教科書
参考書等

- 出席状況、筆記試験、夏休みレポート、受講態度
必要な資料は適宜配布する。
岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）
河合隼雄著『カウンセリングを語る（上下）』（創元社）
河合隼雄著『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）
河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』（楡出版）
河合隼雄著『子どもの宇宙』（岩波新書386）
小川捷之・村山正治編『学校の心理臨床』心理臨床の実際2（金子書店）
季刊『仏教——特集癒し』No. 31（法蔵館）

履修コード	007102
科目名	宗教教育
担当者名	小山 一乘 <small>こやま かずのり</small>

講義のねらい

用語「宗教教育」の教授概念には現今、宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派信仰教育、対宗教安全教育、宗教的寛容教育の五があり、論者は、先入観的に、いずれか一の義で解釈し、他は棄却してしまっているという傾向が重大問題としてある。当事態を解説・講義する。当事態の史的背景にある宗教教育改革を企図する対日米国占領政策のねらいに、米国流の宗教教育施策があったこと、また、日本国憲法20条の規定不備や教育基本法9条の補完規定の不徹底に起因する事後の紆余曲折事態が宗教教育論を迷走させた経緯を解説し講義をする。さらに新「教育基本法」の改正点について講義をする。その上で、あらためて「宗教の定義」の諸相を概観する。関係法規は宗教の定義を他に委ねている。

本講義は、決して、或る特定の宗教・宗派を価値ありとして判定して促進したり、または、価値なしと判定してそれを抑制したりするというそのような内容・方法を専らに考えるというような、とかくありがちないわゆる宗派信仰への導入をのみ考えるという狭義の宗教教育を構想する講義ではない。端的には自覚的寛容の態度育成の方途を構想する。種々の宗教と称されている現象事例を取り上げる。

具体的には、身振り・音声・文字等の各教材、マルチメディア等を用いて、様々な題材を取りあげる。いわゆる神仏習合を彷彿とさせる広義の伊勢音頭、各地の民謡、歌謡曲、唱歌、数え歌、演歌、浪曲、説話、写真、古典音楽、詩、書など様々なジャンルの現象を観る。日常の実際生活の深層・表層面で、宗教的事柄が隠れたカリキュラム又は顕れたカリキュラムとして、人間形成に関与している諸相を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

予定は、前期では、(1～2回)用語「宗教教育」の教授概念5類型、(3～4回)宗教的情操教育の成立をめぐる対立的2見解、(5～6回)学校教育法にみえる用語考「目的-目標」、「判断-批判力」、「選択-決定」、(7～8回)教育観の分類：「開発-注入」「本覚-始覚」、(9～10回)「宗教の様々な分類」、「宗教の定義集」、あなたの定義を考える端緒、(11回)日本国憲法・教育基本法・初期社会科学習指導要領の相互補完関係(旧教育基本法第9条立法制定審議の推移の検証)、(12～13回)対日米国占領教育改革政策が胎息していた異文化理解問題の史実宗教教育と宗教科教育(教育職員免許法に規定)との差異検討(←だれでもの国語教育と、誰でもではない国語科教育との比較からの援用論)後期は、(14回)命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法の精神』)考、世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、(15回)比較法各国の宗教教育、(16回)これからの宗教教育の教授概念検討(不均衡是正)政策・法律論議「何を教えることができないのか」の禁止事項教授概念論議、「何を教えることができるのか」の肯定的事項、(17～18回)シェフラーの教授概念検討(意図的用法・成功的用法、行動的解釈・非-行動的解釈、事実的言明文・規範的言明文、(19～27回)宗教教育の指導計画(児童生徒の疑問態、国内外の種々の歌、種々の年中行事(節分、雛祭り、七夕など)、合格祈願、日常用語になった仏教用語(挨拶・会釈・我慢・玄関・工夫・覚悟・油断・娑婆等)、医療現場のターミナル・ケア等、通過儀礼(入学式、卒業式、入社式、成人式、結婚式、等)等考察、(28～29回)自由討議(これからの宗教教育のあり方)、(30回)まとめ

履修上の留意点

宗教教育という用語への偏見・先入観をいったんは払拭して欲しい。教場の一時的移動指示掲示に注意すること。宗教学、宗教人類学等の関連授業科目を積極的に受講することを是非すすめたい。

成績評価の方法

レポート(夏季休暇後及び学年末提出、その他中間で適宜にレポート提出を求める)を基本に評価する。出席も尊重する。

教科書
参考書等
その他

教材は適宜プリントを配布する。
『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』(大法輪閣、¥1,600)
講義形式で実施する。資料整理用のA4版ファイル表紙を用意すること。詳細は授業にて。

履修コード	084501
科目名	生涯学習概論I
担当者名	豊田 千代子 <small>とよた ちよこ</small>

講義のねらい

この授業では、ユネスコやOECDなどの国際機関や日本における生涯教育・生涯学習について、理念や思想、歴史、制度、政策、子どもやおとなの発達を支える学習といったさまざまな点から検討し、それをおして、今日求められている学校教育改革・社会教育改革の方向性について考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

(1)ガイダンス、生涯教育・生涯学習とは (2～4)生涯教育・生涯学習の国際的動向 (5～8)日本における生涯学習政策の展開 (9～11)生涯学習と学校計画 (12～14)生涯学習と社会教育 (15)まとめ

成績評価の方法

出席状況とレポートによる。

教科書
参考書等

教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。
適宜紹介する。

履修コード	084601
科目名	生涯学習概論II
担当者名	豊田 ^{とよた} 千代子 ^{ちよこ}

講義のねらい この授業では、学校教育と社会教育について、それぞれ理念、思想、歴史、制度等を検討し、これらの教育における今日的課題を整理するとともに、子どもや若者やおとなを対象とした学習活動に着目し、学習者の成長や発達につながる学習プロセスの組織化の方法等について考察することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス、生涯学習時代における学校教育・社会教育 (2～3) 学校教育の歴史と理念、制度の変遷 (4) 学校教育をめぐる今日的課題 (5) 子どもの成長・発達を支える学校教育実践 (6～8) 社会教育とは、社会教育の歴史、法、施設、形態・方法 (9) 社会教育をめぐる今日的課題 (10～14) 子ども、若者、おとなの成長・発達を支える社会教育実践 (15) まとめ

成績評価の方法 出席状況とレポートによる。
教科書 教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。
参考書等 適宜紹介する。

履修コード	084901・085001
科目名	視聴覚教育
担当者名	高津 ^{たかつ} 直己 ^{なおき}

講義のねらい 視聴覚教育は、文字や言語を中心とした教育に対して、映像などの視聴覚メディアがもたらす教育効果を重要視する教育方法である。視聴覚メディアはその具体性においてすぐれており、その特質を利用して豊かな教育を行うことが視聴覚教育の目的である。この講義では、学校教育・社会教育における視聴覚教育の基礎を、教育という営みについての基本的理解を前提にしながら、メディア・リテラシーの立場から考察するとともに、視聴覚教育の基本的な教育方法を学習する。授業は、主として「視聴覚」の方法を使って講義形式ですすめる。

講義の内容・授業スケジュール

1 視聴覚教育とは	16 前期の復習とオリエンテーション
2 メディアの歴史 (I)	17 美術館・博物館とメディア活用
3 メディアの歴史 (II)	18 学芸員の役割
4 メディアの歴史 (III)	19 コンピュータの登場と発達
5 映像の文法と概念形成	20 教育メディアとしてのコンピュータ
6 ラジオ放送の誕生	21 メディア・リテラシーと情報リテラシー
7 テレビ放送の誕生	22 マルチメディア教材の利用
8 教育における「経験」の意義	23 インターネット利用教育
9 教育方法としての視聴覚教育理論	24 高度情報化社会
10 教育メディアの変遷	25 情報化社会でのコンピュータの役割
11 テレビ教育番組の教育効果	26 学校における情報教育
12 教育番組の特性	27 情報教育のねらい
13 教育番組の制作方法	28 高度情報化時代の生涯教育
14 メディア・リテラシーの諸相	29 情報リテラシー教育
15 中間まとめ	30 全体のまとめ

履修上の留意点 「視聴覚教育」の学習は単に方法を学ぶものではなく、教育という人間の営みについての基本的な理解のうえに成り立つものであるから、すくなくとも「教育原理」または「教育方法論」に関する科目を学んだ上で履修してほしい。

成績評価の方法 出席回数 (50%)、レポート (50%) で評価する。
教科書 佐賀啓男編著『視聴覚メディアと教育』(樹村房) 2002年、¥1,890、ISBN 4-88367-095-3

履修コード	086901・087001
科目名	学校経営と学校図書館
担当者名	松尾 ^{まつお} 不二夫

講義のねらい	学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題・教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス (2) 学校図書館の理念と教育的意義 (3・4) 教育行政と学校図書館 (5) 学校図書館の発展と課題 (6) 学校図書館の経営 (7) 司書教諭の役割と校内協力体制 (8・9) 学校図書館メディアの構築 (10) 学校図書館の現状と課題(学校図書館調査報告) (11) 学校図書館の施設と設備 (12) 図書館の相互協力とネットワーク (13) ビデオ (14) 学校図書館の評価 (15) 全体のまとめ(試験)
履修上の留意点	講義回数の70%以上出席ができ、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスに必ず出席すること。
成績評価の方法	平常点・レポート・提出物・試験を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。
教科書参考書等	教育実習をする学生は、実習校での学校図書館見学レポートを提出する。 特に指定しない。随時プリントを配布。 「新学校図書館学」編集委員会編『新学校図書館学1；学校経営と学校図書館』(全国学校図書館協議会 1,400円) ISBN4-7933-2233-6 全国学校図書館協議会編『司書教諭の任務と職務』(全国学校図書館協議会 2,800円) ISBN4-7933-0048-0
その他	講義・ビデオ

履修コード	087201・087301
科目名	読書と豊かな人間性
担当者名	松尾 ^{まつお} 不二夫

講義のねらい	現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本と結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と自らの責務を中心に、活動の原理と方法、技能についても具体的に体得してもらおう。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス (2) 読書の意義と目的 (3) 子どもの読書の実態と課題(学校読書調査報告) (4) 読書資料の種類と特性 (5・6) 子どもの発達段階と読書 (7・8) 学校教育の中の読書 (9) 読書指導の方法 (10~13) 子どもと本を結ぶために (14) 地域の関連施設等との連携 (15) 全体のまとめ(試験) ※演習(学生による読み聞かせ)
履修上の留意点	講義回数の70%以上出席でき、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスには必ず出席すること。
成績評価の方法	平常点・レポート・提出物・試験等を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。
教科書参考書等	教育実習をする学生は実習校での学校図書館見学レポートを提出する。 特に指定しない。随時プリントを配布。 「新学校図書館学」編集委員会編『新学校図書館学4 読書と豊かな人間性』(全国学校図書館協議会 1,400円) ISBN4-7933-2236-0
その他	講義・演習(読み聞かせ) この科目の受講は下記の1、2を修了してからが望ましい。 1、学校経営と学校図書館(前期) 2、学習指導と学校図書館(前期)

履修コード	087501
科目名	学校図書館メディアの構成
担当者名	源 昌久 <small>みなもと しょうきゆう</small>
講義のねらい	本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る。
講義の内容・授業スケジュール	1) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク 2) 分類法(表)の解説・演習 3) 目録の解説・演習 4) 資料組織の機械化 5) 多様な学習環境と学校図書館メディアの配置
履修上の留意点	予習・復習をしっかりと行ってほしい。
成績評価の方法	平常点および試験の成績を併せて評価する。
教科書	『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会) セット定価 6,000円
参考書等	『日本目録規則 1987年版 改訂3版』(日本図書館協会) 3,675円
その他の	必要に応じて、ビデオを活用する。

履修コード	087601
科目名	学校図書館メディアの構成
担当者名	松本 直樹 <small>まつもと なおき</small>
講義のねらい	学校図書館メディアの教育的な意義と役割について確認した上で、各種メディアの種類、特性について理解を図る。以上のことを踏まえて各種メディアの組織化(目録法・分類法)の意義や方法について学ぶ。目録法、分類法等については講義と演習によって行う。
講義の内容・授業スケジュール	本講義では、学校図書館メディアについて理解するとともに、資料の組織化に関する知識を習得することを目的としている。 司書教諭に求められるメディアの知識と技術(1)、メディアの種類と特徴(2-3)、収集のための資料(4)、メディアの選択と構築(5)、分類法(6-8)、件名目録法(9)、目録法(10-12)、目録のコンピュータ化(13)、ファイリングシステム、装備、配架(14)、施設の配置(15)
履修上の留意点	レポート、出席状況、試験にもとづいて評価します。
成績評価の方法	小田光宏編『学校図書館メディアの構成』樹村房, 1,400円, ISBN978-4883670918
参考書等	
その他の	

履修コード	087801
科目名	情報メディアの活用
担当者名	源 昌久 <small>みなもと しょうきゆう</small>
講義のねらい	学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。
講義の内容・授業スケジュール	1) 情報化社会と人間 2) 情報メディアの特性と選択 3) 視聴覚メディアの活用 4) 学校図書館におけるコンピュータの活用 5) 情報検索 6) 学校図書館と著作権
履修上の留意点	予習・復習をしっかりと行ってほしい。
成績評価の方法	平常点および試験の成績を併せて評価する。
教科書	田中功(ほか) 編著『CD-ROMで学ぶ情報検索の演習 新訂3版』(日外アソシエーツ) 2300円
参考書等	講義中に指示する。
その他の	必要に応じて、ビデオを活用する。

履修コード	087901
科目名	情報メディアの活用
担当者名	松本 直樹 <small>まつもと なおき</small>
講義のねらい	近年、学校および学校図書館における情報技術の活用は急速に進んでいる。本講義では、学校図書館の情報化の実態と意義を把握し、学校図書館における情報メディアへの理解を深めると共に、活用方法を考える。
講義の内容・授業スケジュール	情報教育政策と学校図書館(1-2)、情報メディアの歴史(3)、情報検索(4-5)、インターネット上の情報評価(6-7)、インターネットを利用した業務(8-9)、リテラシー(10)、図書館システム(11-12)、情報モラル・情報倫理(13)、著作権(14-15)
履修上の留意点	レポート、出席状況、平常点に基づいて行います。
成績評価の方法	根本彰監修『インターネット時代の学校図書館(司書・司書教諭のための「情報」入門)』東京電機大学出版局, 2,400円, ISBN978-4501619701
参考書等	
その他の	

履修コード	088101・088201
科目名	学習指導と学校図書館
担当者名	松尾 不二夫
講義のねらい	学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学校図書館は、児童・生徒が「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動がさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。 この科目は、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関し、理解を深めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス (2) 教育課程の展開と学校図書館 (3・4) 教育課程の編成と学校図書館 (5) メディア活用能力の育成の意義と目的 (6・7) メディアの活用能力育成の指導内容・方法 (8～11) 課題探求型学習の方法 (12) 学校図書館における情報サービス (13) ビデオ (14) 教師への支援と働きかけ (15) 全体のまとめ(試験)
履修上の留意点	講義回数の70%以上出席でき、積極的な姿勢で授業に臨める学生。ガイダンスには必ず出席すること。
成績評価の方法	平常点・レポート・提出物・試験等を総合して評価する。ただし、出席が不足する場合は評価の対象外となる。 教育実習をする学生は、実習校での学校図書館見学レポートを提出する。
教科書参考書等	特に指定しない。随時プリントを配布。 「新学校図書館学」編集委員会編『新学校図書館3；学習指導と学校図書館』（全国学校図書館協議会 1,400円）ISBN4-7933-2235-2
その他	講義・ビデオ

履修コード	089111
科目名	介護等体験
担当者名	豊田 千代子
講義のねらい	「介護等体験」を有意義なものとするために、必要とされる基礎的知識や態度等を学ぶとともに、各自の体験をもとにさまざまなテーマについて考えあっていくことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	【前期】(1) ガイダンス、介護等体験の目的と意義 (2～3) 介護等体験の心がまえ (4～6) 特別支援学校における介護等体験 (7～9) 社会福祉施設における介護等体験 (10～12) 障害児についての理解 (13～15) 高齢者・障害者についての理解 【後期】(16) 体験報告の方法等について (17～29) 体験報告とディスカッション (30) まとめ
履修上の留意点	初回到授業の概要等を説明するため、必ず出席すること。事前連絡なしに欠席した場合には履修は認められない。
成績評価の方法	「介護等体験」に取り組む真剣さ、体験日誌などの記録、通年講義の授業への参加度、学期末のレポートの内容等を総合して評価する。
教科書	全国特殊学校長会編『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』 社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート-社会福祉施設-』
その他	平成16年度以降入学生で当該年度に「介護等体験」を行う中学校免許取得希望者は必ず履修登録すること。

履修コード	089121・089171
科目名	介護等体験
担当者名	坂本 信昭

講義のねらい 養護学校及び社会福祉施設での介護・介助・交流体験を原体験として、生あるものの尊さと、共に生きることの意味、そして社会的弱者に対する人権意識を高め、ノーマライゼーションの思想を深め、さらに他者との共感的受容的な人間理解深める、自己変革の契機にして欲しいと思います。そのために、事前指導としては介護等体験で何を学ぶか、そして介護等体験を通して何を学んだか、どのような課題に気づいたかについて事後指導において考察すべきと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

- ・介護等体験特例法について（1）
- ・21世紀に求められる教師の力量・資質（2～4）
- ・介護等体験の意義と課題（5～6）
- ・介護等体験にいかに関与するか（7～9）
- ・養護学校等での介護等体験（10～12）
- ・社会福祉施設での介護等体験（13～15）
- ・介護等体験の事後（介護等体験報告）（16～25）
- ・介護等体験を教育実習にどう生かすか（26～27）
- ・あらためて、教師志望を考える（28～30）

履修上の留意点 授業への出欠は厳密にとる。初回の授業で概要を説明するので必ず出席すること。「介護等体験」という実際の活動を中心とする授業であるから、主体的・積極的に対応すること。

成績評価の方法 「介護等体験」に取り組み真剣さと体験日誌などの記録、通年授業への出席度、学年末のレポートの内容等を総合して評価する。

教科書 全国特殊学校校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブックフィリア』
社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート～社会福祉施設～』
（教科書は授業時間中に配布する）

参考書等その他 現代教師養成研究会編『介護等体験ハンドブック』（大修館書店）1,200円
平成16年度以降入学生で当該年度に「介護等体験」を行う中学校免許取得希望者は必ず履修登録をすること。

履修コード	089131
科目名	介護等体験
担当者名	萩原 建次郎

講義のねらい 本授業は介護等体験を有意義なものとし、今後の教育実践に生かすため、教育の基底にある自己と他者とのかかわりの質を問い直すことを目的としている。

他者との関係性は教育に携わる人間として常に問われることであり、教育の質を規定する重要な要素となっている。そのため本授業では、さまざまなアクティビティを通じて、体験的に自己と他者とのかかわりの質を感じて、考える機会をもちたい。

講義の内容・授業スケジュール 介護等体験前には、事前指導として教科書をもとに体験の目的や意義を学ぶ。また、体験先となる社会福祉施設や特殊教育諸学校の実際についてビデオなどを交えて、体験する際の心構えを学ぶ。（1～4）

事後指導においては、介護等体験をふりかえり、そこで学んだことや気づきをまとめ、受講生同士で共有しあう機会を持つ。他の受講生の体験と交流することを通じて、自らの体験をより深くふりかえる視点をつかむきっかけとしたい。（随時）

また、全体を通して自己と他者、自然、事物とのかかわりの質を問うための多様なアクティビティを実施する予定である。（5～27）

履修上の留意点 後半は次年度教育実習を見据え、4年生との体験交流を含めた内容構成となる予定。（28～29）
介護等体験を中心とした体験学習、参加型の学習なので、受講生の意欲的な参加が求められる。軽度の身体運動が求められることが多いので、動きやすい服装で参加すること。教場が体験内容に応じて変更される場合があるので注意すること。

成績評価の方法 介護等体験に取り組む真剣さ、体験日誌などの記録、通年講義の授業への参加度、学期末のレポートの内容等を総合して評価する。

教科書 全国特殊学校校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブック フィリア』
社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート～社会福祉施設～』

その他 なお、教科書は授業時間中に配布する。
平成16年度以降入学生で当該年度に「介護等体験」を行う中学校免許取得希望者は必ず履修登録をすること。

履修コード	089141
科目名	介護等体験
担当者名	北村 三子

講義のねらい	本年度中に「介護等体験」を行う学生を対象に、事前事後指導を通じて、「介護等体験」をより有意義なものにすることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	事前指導においては、「介護等体験」の目的や意義、特殊教育諸学校および社会福祉施設の概要などを学び、「体験」への意識を高めます。「体験」後は、「体験」で得たものを他の受講生と分かち合い、深めていきます。 スケジュールは、おおむね、介護等体験について(1)、『介護等体験マニュアルノート』に即して(2)、『フィリア』に即して(3～5)、介護等体験の報告と話し合い・関連するビデオ・文献などの検討(6～15)となります。
履修上の留意点	初回に授業の進め方などの説明をしますので、必ず出席してください。やむをえない理由で欠席する場合には事前に連絡してください。
成績評価の方法	「介護等体験」に取り組む真剣さ、体験日誌などの記録、通年授業への参加度、学期末のレポートの内容を総合して評価します。
教科書	全国特殊学校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブック フィリア』、社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート-社会福祉施設-』（教科書は授業中に配布）
その他の	平成16年度以降入学生で、当該年度に「介護等体験」を行う中学校免許取得希望者は、必ず履修登録してください。

履修コード	089151
科目名	介護等体験
担当者名	伊藤 茂樹

講義のねらい	中学校教諭免許を取得する者に課せられている「介護等体験」を今年度に行う学生を対象とする事前事後指導である。介護等体験をより有意義なものにすることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	介護等体験の前には、一般的な注意事項を伝えるとともに、体験の意義や目的を理解し、体験先である特殊教育諸学校と社会福祉施設について概要を学ぶ。体験の後には、各自が体験したことや学んだこと、考えたことを報告し合って共有し、今後教職課程でさらに学んでいくうえで生かせるよう、ディスカッションなどを通じて深めていく。 (1-5) 介護等体験の意義と目的、(6-8) 体験にあたっての具体的な注意事項、(9-20) 各自の体験の報告と共有、(21-25) 介護等体験の総括、(26-30) 教育実習に向けて
履修上の留意点	第一回の授業で概要を説明する。第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は、事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者は履修は認められないので注意すること。
成績評価の方法	「介護等体験」という実際の活動を中心とした授業であるため、主体的、積極的に参加すること。「介護等体験」に取り組む真剣さ、体験日誌などの記録、通年講義の授業への参加度、学期末のレポートの内容等を総合して評価する。
教科書	全国特殊学校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブック フィリア』 社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート-社会福祉施設-』 なお、教科書は授業時間中に配布する。
その他の	平成16年度以降入学生で当該年度に「介護等体験」を行う中学校免許取得希望者は必ず履修登録すること。

履修コード	089161
科目名	介護等体験
担当者名	遠藤 つかさ えんどう つかさ 司

講義のねらい	本講義は、当該年度に「介護等体験」を行う学生を対象とし、事前・事後指導を通して「介護等体験」をより有意義な目的とする。教職に携わる人間として極めて重要なことを学ぶ機会である「介護等体験」に向けての意識を高め、体験で学んだことを自らの中に位置づけるための機会としたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期 1. ガイダンス：介護等体験の基礎を学ぶ（1～2） 2. 特別支援学校について学ぶ（3～5） 3. 社会福祉施設について学ぶ（6～8） 4. 介護等体験の事前の準備に必要なことを学ぶ（9～14） 5. 前期のまとめ（15） 後期 1. 後期授業のガイダンス（16） 2. 介護等体験の振り返り：体験終了者の発表、体験を通して学んだことを基にした討論（17～29） 3. 全体のまとめ（30）
履修上の留意点	第一回の授業で概要を説明する。受講希望者は第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者は履修を認めないので注意すること。「介護等体験」という実際の活動を中心とした授業であるため、主体的・積極的に参加することを望む。
成績評価の方法	「介護等体験」に取り組む真剣さ、体験日誌などの体験の記録、授業への参加度、学期末のレポート等を総合して評価する。
教科書	全国特殊学校長会編 『特別支援学校における介護等体験ガイドブック フィリア』 社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート-社会福祉施設-』
その他	平成16年度以降入学生で当該年度に「介護等体験」を行う中学校免許取得希望者は必ず履修登録すること。

履修コード	089181
科目名	介護等体験
担当者名	おおはま きくこ 大浜 幾久子

講義のねらい	今年度「介護等体験」を行う学生のための必修科目である。事前・事後指導を通して「介護等体験」をより有意義なものとした。
講義の内容・授業スケジュール	1) 事前指導：「介護等体験」の意義や目的を理解し、「体験」に臨むための注意事項を学ぶ。2日間の「体験」を行う諸学校と5日間の「体験」を行う諸社会福祉施設の教育内容・業務内容を学び、それに相応しい準備をする。(1～7) 2) 事後指導：自らの「体験」をまとめグループによる討論をする。 3) 各人の「体験」の日程にあわせ、体験先に応じた個別あるいはグループでの事前指導・事後指導の日時を設定する。なお「体験」は、おおむね5月下旬に始まり、遅い場合には3月になることもあるので、6月以降の授業スケジュールは、各人の「体験」日程が通知された時点で順次、決めていくことになる。(8～30)
履修上の留意点	第1回の授業で、年間のスケジュール等を確認する。やむを得ない理由で出席できない者は、必ず事前に連絡をすること。
成績評価の方法	「介護等体験」に取り組む真剣さ、『体験日誌』などの記録、学年末のレポート提出等を総合して評価する。
教科書	全国特殊学校長会編『盲・聾・養護学校における介護等体験ガイドブック：フィリア』 社会福祉法人東京都社会福祉協議会『介護等体験マニュアルノート：社会福祉施設』 なお、教科書は4月の授業時に配布する。

履修コード	016803
科目名	東洋思想史
担当者名	末木 恭彦

講義のねらい	中国の伝統思想、特に儒教のあり様について理解を深めることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	直線的に歴史把握を行うのではなく、儒学の根本文獻(経)についての理解を深め、各経の歴史的展開を並行的に把握することとする。手掛りとしては、江戸時代の儒者荻生徂徠の『経史子要覧』を用いる。『経史子要覧』の言説を読み、それに現代の視点からの補説を行う。この作業を通じて、儒学の経とは何か理解を深めていく。 (1) ガイダンス (2) 荻生徂徠について (3~5) 経総論 (6~9) 詩・書 (10~12) 礼記・易 (13) 春秋 (14) 予備 (15~18) 論語・孝経 (19) 経まとめ (20~21) 子総論 (22~23) 孟子 (24) 荀子 (25~27) 老荘列 (28) 子まとめ (29・30) 質疑応答
履修上の留意点	予習をして来て欲しい。テキストの疑問点を整理して授業に臨んで欲しい。その疑問点の解明を中心として、授業を展開する予定である。
成績評価の方法	平常の受講態度と学年末リポートによる。追試はしない。
教科書	『経史子要覧』(コピーを配布する)
参考書等	関口順『儒学のかたち』(東大出版会)

履修コード	017903
科目名	民間信仰論
担当者名	谷口 貢

講義のねらい	日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成す様々な世界には、どのような意味があるのかを追究していくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義について考察を加える。
講義の内容・授業スケジュール	(1~3) 民間信仰研究とフィールドワーク、(4~5) 民間信仰の性格、(6~10) 伊豆諸島青ヶ島の神祭りと巫俗、(11~15) 巫俗信仰の諸相、(16~18) 山岳信仰の性格、(19~23) 福島県会津地方の神社参拝の講集団、(24~25) 民間信仰と成立宗教の関係、(26~28) 憑霊信仰の諸相、(29~30) 死霊結婚の習俗
履修上の留意点	学年末に課題に基づくレポートの提出を求める。レポートの課題は授業の中で発表する。
成績評価の方法	学年末の課題レポートに基づいて成績評価を行う。出席を重視する。
教科書	使用しない。

履修コード	036901・037001
科目名	人文地理学概説
担当者名	中村 剛

講義のねらい	この講義は、スタンダードな人文地理学の理論やモデルを概説するとどまらず、「人文地理学」さらには「地理学」が、私たちの実生活(地域の社会・文化・自然)と深く関わっていることを強く意識した講義としたい。
講義の内容・授業スケジュール	1・2: 人文地理学とは? (イントロ、自然地理学・地誌学との関係)、3・4: 地図と教養地理(地図の歴史と利用、「地理」のイメージ)、5・6: 地図と地理教育(中学・高校における地理教育と地図教育、地図帳)、7・8: 自然(気候景観、人文地理学と「自然」との関わり)、9・10: 農業(文化としての農業、農業地域)、11・12: 鉱工業(鉱業分布、工業立地と工業地域)、13・14: 貿易(食料・鉱産資源の輸出入、フェアトレード)、15・16: 農村(過疎化、高齢化)、17・18: 都市(都市構造と都市機能、都市化)、19・20: 都市計画と土地利用(郊外化とスプロール、法制度とその問題)、21・22: 交通・観光(時間距離、ツーリズムとまちおこし)、23・24: 文化(言語と民族・民族と宗教、民族分布と民族問題)、25・26: 国家(国際機構、領土問題)、27・28: 環境問題と災害(温暖化と地球環境、成長と破壊)、29・30: まとめ(総括、試験)
履修上の留意点	この講義に強い興味・関心を持つ学生の受講を希望する。よって、出席や授業への参加態度も当然のように評価に影響する。
成績評価の方法	前期・後期それぞれ最終回に行う試験と出席、小テスト、提出課題を総合して評価する。なかでも、出席率を重視する。
教科書	・高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・佐藤哲夫・杉谷隆 編(2008):『改訂新版 ジオグラフィー入門』古今書院 2,500円(税別) ISBN978-4-7722-3118-3 ・高校用の「学校地図帳」を用意することが望ましい。

履修コード	043101
科目名	自然地理学概説
担当者名	早船 元峰
講義のねらい	人間生活の舞台である第四紀の大地の生成過程などを論じ、さらに自然に対し人間はいかにあるべきかを災害などの環境問題を通して考えていく。また、いくつかの地域をとりあげ、人間と自然とのかかわりあい（人間に対する自然の影響・自然への人間の働きかけ）を主に環境地誌的立場から論じる。
講義の内容・授業スケジュール	(1～6) ・地形図とは、主題図の作成方法 (7～12) ・山麓における土地利用 (13～17) ・山麓における環境保全 (18～20) ・気温と湖水温の垂直分布の季節的变化と人間とのかかわり (21～23) ・北海道本部の気候地形 (24～27) ・関東平野の地形発達史（東京の地形の成り立ち） (28～30) ・ビオトープ（学校ビオトープ、緑の回廊、近自然工法）
履修上の留意点	国土地理院発行の地形図を数枚用意してもらい、それらをもとに種々の作業（高度別着色・地形断面図など）をして、理解を一層深めてもらう。直定規・方眼紙・トレース紙・硬質色鉛筆・黒色水性ペンを各自用意すること。
成績評価の方法	課題・レポート・出席状況などによる平常点。

履修コード	043201
科目名	自然地理学概説
担当者名	高木 正博
講義のねらい	自然地理学の分野のうち、河川や地下水など水にかかわる地理学を中心に講ずる。近年、河川環境や地下水の汚染・保全などに関心が寄せられている。これらのテーマを考えるため、その基礎となる河川や地下水の水文特性について、地域事例をもとに説明する。
講義の内容・授業スケジュール	年間の授業内容は次の通り予定している。1-2自然地理学と水文学、3-4水文循環と水収支、5-6河川の流域とは、7-8日本の河川と洪水、9-10河川の侵食・運搬・堆積作用、11-12地形と災害、13-14都市の河川と水害、15-16自然湖沼と人造ダム湖、17-18地下水とは、19-21地下水と河川水、22-23地下水の利用、24-26 地下水の汚染、27-30 都市の水環境と地下水など。地域事例を紹介する際、地形図や空中写真などを利用して地域調査の基礎についても概説する。
履修上の留意点	講義が中心になるが、受講者にも問題意識を持ってもらうため、夏休みに現地調査を伴う課題を提示する。地域概要を把握するために、地図帳や地形図を利用してほしい。
成績評価の方法	年度末の定期試験（40％）と夏休みの課題レポート（30％）に重点を置いて評価するが、授業中に随時実施する課題、出席状況などの平常点（30％）も加算する。
教科書 参考書等	授業時間にプリントを配布する。 配布プリントをとおり随時紹介する。

履修コード	037101
科目名	地誌学概説
担当者名	川元 豊和
講義のねらい	この授業では、アジアを事例地域として、地誌的な見方・考え方を身につけることを目的とします。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定しています。
講義の内容・授業スケジュール	(1～3) 地誌的な見方・考え方について、(4～6) 世界の人口-発展途上国における「人口爆発」とその収束、(7～10) 農業の発展-稲作における「緑の革命」を中心として、(11～15) アジアの宗教-イスラームとヒンドゥー教を中心として、(16～20) バングラデシュ農村における近年の農業の変化、(21～22) バングラデシュ農村における土地所有と小作制度、(23～26) 半島マレーシアにおける多民族社会の形成、(27～28) 半島マレーシアにおける地方都市の発展、(29～30) サラワク州におけるイバンの生活
履修上の留意点	高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して授業に臨んでもらいたい。
成績評価の方法	出席状況（授業回数の2/3以上、15%）及び9月末のレポート提出（15%）を前提とし、学年末の筆記試験（70%）と併せて総合的に評価します。
教科書 参考書等 その他	教科書は、特に定めずプリントを配布します。 授業内において、その都度紹介します。 講義形式。

履修コード	037201
科目名	地誌学概説
担当者名	湯田 <small>ゆた</small> ミノリ

講義のねらい	インドネシア、特にジャカルタについて理解を深めることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	前期はインドネシアの地理的位置、自然環境、民族構成とジャカルタの成立を、後期は主にジャカルタの産業、人口、都市居住等の問題を取り上げる。 (前期) ・地理的位置（インドネシアの範囲、地理的位置と自然・人文環境との関係） ・自然環境（地形、気候） ・多民族国家インドネシア成立の背景 ・植民地時代のジャカルタ ・インドネシア独立後ジャカルタの発展 (後期) ・ジャカルタ首都圏における経済発展と産業 ・ジャカルタにおける人口動態と就業構造の変動 ・カンボンと都市居住政策
履修上の留意点	参加者には、何らかの具体的な現象に注目した上で、様々な視点からの理解や判断を編み出す努力を期待したい。さらには、休暇等を利用して自主的に海外などを旅行してほしい。
成績評価の方法	講義中に指定する課題の提出と、学年末試験の受験の両方を満たし、かつその成績が基準以上であること。
教科書 参考書等	特に指定しない。 適宜紹介する。

履修コード	037301
科目名	地誌学概説
担当者名	山口 <small>やまぐち たろう</small> 太郎

講義のねらい	地誌学は、「地域」を説明する地理学の一分野である。本講義では、風土・景観論に立脚して「地域」を読んだり、書いたりする方法を学ぶ。前期は景観論、後期は日本の風土性を中心に講義する。
講義の内容・授業スケジュール	次の項目を予定している。(1)イントロダクション、(2)地域（等質地域、結節地域）、(3)スケール、(4)～(6)空間と場所（人文主義地理学、メンタルマップ、都市のイメージ）、(7)景観と風景、文化景観、(8)景観構成要素と形態、(9)景観の可視的側面と視知覚特性、(10)(11)景観観察法、(12)景観の解釈、(13)(14)景観行政の系譜、(15)(16)日本の風土性（照葉樹林文化とブナ帯文化、日本の西と東）、(17)棚田の風景、(18)武蔵野の風景、(19)散居村の風景、(20)合掌造のある風景、(21)歴史的町並み総論、(22)(23)町家のある風景、(24)寺内町の風景、(25)斜面都市の風景、(26)南国都市の風景
履修上の留意点	出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課すことがある。また、高校などで利用した地図帳があると便利である。
成績評価の方法	夏休み明けに提出していただく景観観察現地レポートと、後期末に行なう試験を基本とし、授業内に行なう小レポートを若干加味する。なお、期限内に夏休みのレポートが提出されないと単位の認定はできない。
教科書 参考書等 その他	特に定めない。プリントを配布する。 授業の中で紹介していく。 講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。

履修コード	056302
科目名	日本史概説
担当者名	野尻 ^{のじり} かおる

講義のねらい	本講義は、歴史学、考古学を始めとする人文科学の研究を志す学生、または将来教職につくことを希望する学生に対し、下記の事項を通して、歴史を研究すること、または日本史を教授することの意義を理解し、基礎的な知識を身に付けることが目的である。講義に当たっては、古文書・記録・編纂物・金石文等の史料を中心に考古資料、絵画資料、民俗資料等を使用して進める。また、近世・近代を研究するに当たって必須の課題である身分差別の歴史もあわせて指導する。
講義の内容・授業スケジュール	一、空間から見た近世近代〔都市とその近郊等を事例とする〕(1～6)、二、モノから見た近世近代〔石造物等を事例とする〕(7～12)、三、人から見た近世近代〔生と死等を事例とする〕(13～18)、四、絵画資料に現れた近世近代〔景観や習俗等を例に〕(19～24)、五、社会組織から見た近世近代〔祭礼・講等を事例に〕(25～30)
履修上の留意点	質問等の発言は歓迎するが私語は慎む事。
成績評価の方法	定期試験及び出席状況
教科書	講義資料を配布する。
参考書等	『日本史史料』〔3〕近世、2006年(岩波書店)、4,410円、ISBN 4-00-026138-X、『日本史史料』〔4〕近代、1997年(岩波書店)、4,200円、ISBN 4-00-026139-8、地方史研究協議会編『江戸・東京近郊の史的空間』2003年(雄山閣)、5,985円、ISBN 4-639-01825-8、メタ・アーケオロジー研究会『考古学リーダー3 近現代考古学の射程～今なぜ近現代を語るのか～』、2005年(六一書房)、ISBN 4-947743-25-5、都市史研究会『年報 都市史研究』1～16、1993年～2006年、山川出版、3,880円、ISBN 4-634-61910-5 他、斎藤洋一・大石慎三郎講談社現代新書『身分差別社会の真実-新書・江戸時代く2』1995年、(講談社)、735円、ISBN978-4-06-149258-5
その他	講義資料は、原則として講義毎に配布する。前回欠席した分は用意しないので注意の事。定期試験の準備に必要な資料なので友人等から複写を入手することが望ましい。

履修コード	056402
科目名	日本史概説
担当者名	小泉 ^{こいずみ} 雅弘 ^{まさひろ}

講義のねらい	近世から現代にいたる日本の歴史について概説する。その際、政治・社会・文化・経済・外交などの関連性を重視したい。
講義の内容・授業スケジュール	前期(1～15)では幕藩体制の成立から幕末期までを対象とし、近世国家の形成過程と解体について講義する。後期(16～30)では、明治維新を契機とする近代国民国家の成立、展開過程を取り扱う。
履修上の留意点	歴史的事象を個別のものとして捉えるのではなく、広い視野で考える姿勢を身につけてほしい。
成績評価の方法	定期試験で評価し、出席状況を加味する。
参考書等	講義内容にあわせて随時紹介する。

履修コード	044202
科目名	世界史概説
担当者名	井村 行子

講義のねらい	西洋史を中心に世界史を概説する。できるだけ情報量を制限して、考え方の筋道がつかみやすい授業を心がけたい。
講義の内容・授業スケジュール	第1講 世界史とは何か 第2講 「古代オリエント」 第3講 古代地中海世界（1） 第4講 古代地中海世界（2） 第5講 中世ヨーロッパ世界（1） 第6講 中世ヨーロッパ世界（2） 第7講 ビザンツ帝国と正教世界 第8講 近世ヨーロッパ（1） 第9講 近世ヨーロッパ（2） 第10講 近世ヨーロッパの社会経済（1） 第11講 近世ヨーロッパの社会経済（2） 第12講 オスマン帝国と東ヨーロッパ 第13講 前期試験 第14講 革命の時代 第15講 自由主義と発展主義 第16講 諸国民の春 第17講 帝国と国民統合 第18講 ペル・エポック 第19講 ハプスブルク帝国とラテンアメリカ 第20講 世界戦争の衝撃 第21講 大衆動員政治の時代 第22講 大恐慌と一国主義的分立状況の出現 第23講 第二次世界大戦と社会主義的ユートピア 第24講 戦後世界と冷戦 第25講 冷戦の終結と新世界秩序 第26講 エスニシティとジェンダー
成績評価の方法	前期と後期の筆記試験の成績による。
教科書	近藤和彦編『西洋世界の歴史』（山川出版社、1999） 3,200円
参考文献等	開講時に世界史全般に関する文献目録を配布する。個々のテーマについてはその都度、必要性に応じて適宜紹介する。

履修コード	056502
科目名	世界史概説
担当者名	小林 惣八

講義のねらい	アジア史を基点に世界史の歩みを多角的にとらえることを主眼とする。
講義の内容・授業スケジュール	その場合の取り扱い方法として、同時代史に力点を置いて講義する。 例えば、 <ul style="list-style-type: none"> 中国の秦漢時代史とローマ帝国の盛衰 モンゴル民族の発展とヨーロッパ騎士団との対立 清の黄金時代とヨーロッパの市民革命…など10項目を設定する。ときに、ディスカッションや課題学習も考慮に入れる。
成績評価の方法	前期・後期のレポート提出と試験・出欠状況の総合評価とする。
教科書の他	特別定めないが、世界史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを勧める。出席を重視する。

履修コード	060002
科目名	社会学原論
担当者名	橋爪 敏

講義のねらい 本講義の対象は社会学科の2・3・4年生、ならびに「社会・地理・公民科」にかかわる教職科目の受講者である。したがって、「社会学」とは何か、いかなる学問かにはじまり、さらに「社会・地理・公民科」の基礎をなす学問としての、<社会科学としての「社会学」>とは何かにかかわる問題を取り上げたい。

いずれにせよ、社会的なモノの見方、考え方を理解し、それを踏まえて、社会現象を理解し、説明する<社会科学>についての認識を深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期1)～8)社会科学とは何か、社会科学の対象と方法、社会科学としての社会学9)～15)歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書社会学、マルクス主義の影響。後期は16)～20)フランスにおける現代社会学への歩み21)～25)ドイツにおける現代社会学への歩み26)～30)現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にした

成績評価の方法
教科書
参考書等

学年末の定期試験で評価する。
安藤喜久雄ほか著『社会学概論』学文社
適宜指示する。

履修コード	133902
科目名	社会学原論
担当者名	呉 炳三

講義のねらい 社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす社会問題を分析する手法として、社会学の基礎的な概念や理論の使い方を学ぶこと。またはその身近な社会問題を認識、理解することを通じて、現代社会を展望する視点を養ってもらうことを本講義の目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は以下の内容について概念や理論を中心に講義を行う。

(1)はじめに、(2)社会学とは、(3～4)個人と社会(社会的行為、社会化と人間形成、パーソナリティ・社会的自我)、(5～6)現代家族論(配偶者選択、結婚、家族の構造と機能、家族の現代的課題)、(7～8)組織論、官僚制(専門職)、(9～10)職業、労働(職場や人間関係、就職・転職・リストラ、フリーター・ニート)、(11～12)若者の犯罪(ラベリング理論、加害者と被害者の関係、犯罪の原因)、(13～14)自殺と社会(自殺の歴史、自殺の背景、自殺の最近の情報)、(15)社会階層など
後期は以下のテーマについて受講生の発表およびディベートを行う。

(1)教員免許更新制度、(2)教育基本法の改正、(3)少年法改正、(4)メタボ(医療化社会)、(5)自殺といじめ、(6)家族の変容、(7)高齢者虐待、(8)格差社会、(9)特殊法人の存続、(10)消えた年金の責任(個人か組織か)、(11)ペットは家族の一員か、(12)個人の銃所持許可制度、(13～15)まとめ

以上、講義を予定しているが、受講生の人数などによっては、講義内容を変更することがある。積極的にノートをとること。

履修上の留意点
成績評価の方法

出席状況(遅刻厳禁)、発表やディベートの内容と態度、簡単なレポートなどを総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書
参考書等

特に指定しない。
講義中に、その都度紹介する。

履修コード	075003
科目名	宗教人類学
担当者名	佐藤 憲昭 <small>さとう のりあき</small>

講義のねらい 宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊（ひょうれい）文化を取り上げる。

日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは、神霊・精霊が憑（つ）いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。この講座では、宗教人類学の学問的特色について概観した後に、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして、憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学（1～3）、2. 宗教人類学と宗教民俗学（4～5）、3. フィールドワーク（6～8）4. 民俗宗教の特質（9～11）、5. アニマ（霊）とマナ（力）（12～14）、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究（15～18）、7. 憑霊現象と社会組織（19～21）、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象（22～24）、9. 憑霊文化と王権（25～27）、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性（28）。

履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポート（2400字～2800字）で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

**教科書等
参考書等**

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』講談社（学術文庫）
授業中に適宜紹介する。

履修コード	089903
科目名	経済原論
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘

講義のねらい

「経済理論」という科目は経済学の基本的内容をなすものである。この講義は主としてマルクスの『資本論』を主体として講義・演習をおこなう。一般に知られているように、『資本論』はその副題を「経済学批判」として、階級社会における体制的な経済学の批判を展開している。この講義では「資本主義の経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組みについて、『資本論』が19世紀半ば（1867年）に批判をしたその内容を検証する。と同時に、現在「アメリカ発の世界的金融危機」に端を発した「黒字倒産」と大量解雇が日常不断の現象になっているなかで、マルクスへの回帰が言われるようになってきていることの問題を分析し、「経済学」は今何を課題として提起すべきかを受講生の皆さんと共に考えていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

講義は前期15回、後期15回の合計で30回である。

I 「富」とは何か（前期15回）

1：「富」とは何か（01-03回）

（1）「富」は人間にとって外部に存在する （2）「富」の人間からの乖離 （3）「富」に支配された人間

2：「経済学の方法」（04-09回）

（1）「国富」 （2）私的所有 （3）価値

3：人間社会と交換価値（11-15回）

（1）商品 （2）貨幣 （3）商品カテゴリーと人間社会

II 資本（II/IIIで後期15回）

1：資本の生産（01-03回）

（1）資本と商品 （2）資本の本質 （3）階級の生産

2：資本の運動法則（04-09回）

（1）資本の運動範式 （2）資本の生産と再生産 （3）階級社会の拡大再生産

3：資本の蓄積と階級の生産（10-14回）

（1）資本の蓄積 （2）資本関係と人間労働 （3）資本蓄積の本質

III 資本主義生産様式と人間社会――まとめ（15回）

成績評価の方法

1 レポートによる評価

（1）年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行う。

（2）レポートは、第1回目：5月／第2回目：6月末～7月初旬

第3回目：10月～11月／第4回目：12月～1月

教科書その他

阿部弘：『経世済民論』と『経済学』、創成社、2009。

「定期試験」は行なわない。

履修コード	090103
科目名	経済原論
担当者名	はたなか たかし 畠中 貴

講義のねらい

ミクロ経済学は様々な経済分析の基礎となる理論の一つである。この講義では、ミクロ経済学の基礎的な内容を一通り説明する。数学は議論を単純化し論理の厳密性を実現する上でとても有益な道具であり、ミクロ経済学の醍醐味を味わうためには、ぜひとも初歩的な数学をマスターする必要がある。したがって、初歩的な数学（関数、微分）の説明も併せて行う。

この講義の目標とするところは、次の二点である。

(i) 経済のありさまを自分なりに把握するための技術を身につける。

(ii) 筋道立ててものを考える力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

前期は需要曲線、供給曲線、完全競争市場、集合、関数について説明する。

後期は需要曲線の背後にある家計の行動、供給曲線の背後にある企業の行動、市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース（市場の失敗）、微分について説明する。

履修上の留意点

経済学の説明も数学の説明もすべて一から行うので、この講義を受講するにあたって前提とする知識は何もない。高校時代にあまり数学の勉強をしてこなかった人も積極的に受講して欲しい。ただし、講義の内容は抽象的で頭に入りにくい上、一旦理解できたと思った内容も日が経つと忘れてしまうのが通常であるから、一年を通して根気よく予習・復習を継続する必要がある。テキストは熟読しなくてはならない。前に説明したことの上に新しい内容を組み立てていくから、前にやったことがよく理解できていないと今やっていることが分からないということが起こるので、注意して欲しい。分からない部分があったら、分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。

教科書

岩田規久男『ゼミナールミクロ経済学入門』日本経済新聞社、3,107円＋税、ISBN4-532-13030-1

履修コード	090203
科目名	経済原論
担当者名	まつい りゆうへい 松井 柳平

講義のねらい 理論的な経済分析の基礎となるミクロ経済学の理論を、ゲーム理論をベースとして解説する。消費者や企業などの個別経済主体が自発的かつ合理的に行動しているとき、どのような社会・経済状態が実現するか考察する。その際、その帰結の理解よりもむしろ、その帰結に至る論理展開、つまり分析方法の理解に重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール <前期>
ガイダンス 講義の概要等説明・あるパン屋の話・ナッシュ均衡・バックワード・インダクション・サブゲーム完全均衡

<後期>
交渉ゲーム・オークション・消費者理論・金融とリスク管理・契約と誘因

履修上の留意点 この講義の履修においては、小学校・中学校・高校での算数・数学について、その基本的な部分の理解がきちんとできていることが前提となる。こうした算数、初等的な数学について自信のない受講生は、算数や中学時代の数学の教科書を事前に十分よく復習した上で授業に臨んでもらう必要がある。

具体的には、

◎小学校の算数における「数と計算」(個数を数える・比べる、加法・減法・乗法・除法、小数・分数の計算、約数・倍数、約分・通分,)、「数量関係」(表やグラフ、交換法則、結合法則や分配法則、比、比例)

◎中学校の数学における「数と式」(正の数と負の数・その四則計算、一元一次方程式、文字を用いた式の四則計算、連立二元一次方程式、式の展開や因数分解、等)、「数量関係」(比例・反比例の関係、変数・変域、一次関数、等)

◎高校の「数学I」における「方程式と不等式」、「二次関数」

以上について理解ができていない人は、この講義を理解するのに困難を感じる場合が多々あるだろう。こうした基礎学力について自信がない受講生は、必ず、算数や中学時代の数学の勉強を自学自習すること。

また、受講生の予習と復習を前提とし、授業中に学生に答えを尋ねる場合が多々ある。したがって、受講生は YeStudy に登録し、講義プリントを、YeStudy から事前にプリントアウトして必ず予習してきた上で、講義に臨むこと。

公務員試験、経済学検定試験、その他各種資格試験を将来、受験しようという学生は、この科目やマクロ経済学を履修した後、さらに、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学、公共経済学、経済政策などの科目を履修することが望まれる。

成績評価の方法 成績評価は基本的に、定期試験(年度末)に基づくが、授業中に自ら手を上げて練習問題を自発的に発表して内容がよかった人には成績評価に加味する。

また、夏期休暇中にレポート課題を課す場合がある(レポート課題の有無は7月の授業中にアナウンスする)。

教科書 梶井・松井『ミクロ経済学—戦略的アプローチ』(日本評論社) ISBN4-535-55202-9

参考書等 若田 規久男『経済学を学ぶ』(筑摩書房)(ちくま新書) ISBN4-480-05602-5

武藤 滋夫『ゲーム理論入門(日経文庫:経済学入門シリーズ)』(日本経済新聞社)

ISBN: 4532108292

渡辺 隆裕『図解雑学 ゲーム理論』(ナツメ社) ISBN: 4816337458

渡辺 隆裕『ゼミナール ゲーム理論入門』(日本経済新聞出版社) ISBN: 4532133467

その他 受講生の予習と復習を前提として講義を進める。練習問題等において自発的に解答を発表してくれる受講生を歓迎する。

履修コード	090303
科目名	経済原論
担当者名	<small>あらき よしひろ</small> 荒木 勝啓

講義のねらい	乗数理論の完全理解、貨幣の役割と信用創造理論、IS-LM-BP曲線による国際経済と国内経済の 関係の理解、という4つのメインテーマを中心にマクロ経済理論を学習する。
講義の内容・ 授業スケジュール	授業の内容は次の通り。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 国民経済の成立 2. 所得の循環図式 3. 国民所得の概念 4-5. 国民所得の決定 6-7. 政府・輸出入の導入 8. 乗数理論 9. ビルト＝イン＝スタビライザー 10. 貨幣とは何か 11-12. 信用通貨の成立 13. 信用創造理論 14-15. 貨幣数量説と古典派学説 16. 流動性選好説 17. LM曲線 18. 投資関数 19. IS曲線 20-21. IS＝LM曲線による均衡実質国民所得の決定 22. マンデル＝フレミングの定理 23. フィリップス曲線と期待理論 24-30. IS＝LM＝BP曲線による国際経済と国内経済の関係の理解
履修上の留意点	ノートを取ることが肝要。
成績評価の方法	主として計算問題から成る定期試験100により評価する。
教科書	特に指示しない。
参考書等	適宜紹介する。

履修コード	090403
科目名	経済原論
担当者名	あさの かつみ 浅野 克巳

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うところ、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。デフレ経済の要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
- 2～3. 国民経済計算と国民所得の考え方
- 4～5. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
- 6～7. 独立支出の変化とGDPの関係
- 8～9. 消費と投資
- 10～11. IS-LMモデルと財政金融政策
- 12～13. インフレとデフレについて
- 14～16. グローバル経済と国際貿易
- 17～18. 政府の経済的役割
- 19～20. 総需要と総供給
21. 労働市場の動き
22. インフレーションとデフレーション
23. 資産市場
24. 貨幣とマクロ経済
- 25～26. 金融政策と金融システム
27. 為替市場と金融政策
- 28～30. 経済成長と景気循環

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよい。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立つおすすぬ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門のコースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。

成績評価の方法

定期試験（年度末）と授業内試験（5～7回実施予定）、およびレポート（1～2回）の成績を総合評価する。

教科書等

テキストおよび参考書については最初の授業で詳しく説明します。公務員試験の過去問などの国家試験の受験対策にも十分通用するようできる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

その他

毎回の授業の主な要点、トピックスをKOMSYに掲載するから参考にしてください。また授業中わからないこと、その他問題点などあったら、オフィスアワーを設けていますので利用してください。

履修コード	098302
科目名	民法I
担当者名	<small>たけなか ちか</small> 竹中 智香

講義のねらい 民法典のうち、民法典全体に適用される一般規定である第1編「総則」と、特定の物を直接支配する権利に関する第2編「物権」を取り上げます。とくに民法典の導入部である「総則」は、民法の勉強を放棄したくなるほど抽象性が高い規定が多いことから、具体的な事案を提示しながら説明をし、学生諸君の理解を図ります。指定した教科書に沿って、前期では、第1編「総則」のうち「物権」の理解に必要な事項を概説した後、「物権の変動」について解説します。後期では、「総則」の残りの部分と、「物権」の一種である「担保物権」について説明します。

**講義の内容・
授業スケジュール**

[前期]
 (1) 導入、(2) 民法における個人、(3) 権利能力、(4) 意思能力と行為能力 ～成年後見制度～、(5) 所有権の概念、(6) 所有権の効力、(7) 契約とその効力、(8) 契約にもとづく不動産の物権変動 [1]、(9) 契約にもとづく不動産の物権変動 [2]、(10) 契約にもとづく動産の物権変動 [1]、(11) 契約にもとづく動産の物権変動 [2]、(12) 予備日

[後期]
 (1) 法人 [1]、(2) 法人 [2]、(3) 代理制度、(4) 無権代理、(5) 表見代理、(6) 法律行為、(7) 消滅時効、(8) 取得時効、(9) 抵当権、(10) 先取特権、留置権、質権、(11) 譲渡担保、(12) 予備日

履修上の留意点

第1編の「総則」は民法典の中でも非常に抽象度が高い分野ですから、必ず教科書を購入して、講義の前に教科書を読むように心がけてください。また、講義後に復習することで、理解の定着を図ってください。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も加味します。
 山野目章夫『民法 総則・物権 [第4版]』(有斐閣)
 六法(コンパクトタイプのもの)
 『法律学小辞典 [第4版]』(有斐閣)

履修コード	127803
科目名	民法I
担当者名	<small>すが あきのり</small> 須賀 昭徳

講義のねらい われわれの日常生活は民法に支配されている。したがって、この社会で活動するには民法についてひとつおりの知識がなければならない。市民の社会生活には財貨の生産、交換、消費、配分などを目的とする経済生活の面(これを規律する法が財産法)と種族保存を目的とする保族生活の面(これを規律する法が家族法)とがある。この財産法の領域の法が物権法と債権法である。これらの通則として総則がおかれている。本講義では民法第一編総則と第二編物権法について、基本となる知識を持てるようにしたい。なお、時間の関係で総則を中心として詳しく講義をし、物権についてはひとつおりの知識を持てるようにしていきたいと思います。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期(民法総則)
 ①民法とは何か、民法の歴史 ②民法の基本原則 ③権利の主体(自然人) ④法人(社団法人、財団法人) ⑤権利の客体(物とは) ⑥法律行為(意思の欠缺、瑕疵ある意思表示) ⑦無効と取消 ⑧条件および期限・期間 ⑨時効(取得時効、消滅時効)

後期(物権法)
 ①物権の意義、種類 ②物権の効力 ③物権の変動 ④占有権 ⑤所有権 ⑥用益物権 ⑦担保物権(法定担保物権) ⑧約定担保物権 ⑨非典型担保(譲渡担保、仮登記担保)

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

講義にはかならず六法を持参すること。
 期末試験の成績により評価する。
 我妻栄・有泉亨・川井健『民法』第三版①総則・物権(勁草書房)2200円
 講義の中で指示する。

履修コード	134701
科目名	政治学原論
担当者名	山崎 望

講義のねらい 現代社会が直面している様々な問題について、政治がどのように対応することができるのか、考える。

講義の内容・授業スケジュール 前期はまず国内政治と国際政治の基礎について講義します。(1～10) 近代社会の変容1・2、政治、権力、政治体制、政党、国際政治の世界1～4)。その後に政治と経済の関係に焦点をあて講義をします。(11～15) 政治と経済、福祉国家、格差社会1・2、グローバル経済。
後期はグローバルな視野から政治と社会を問い直します。(16～20) グローバル化、移民、多文化主義、ネオ・ナショナリズム、フェミニズム、(21～25) 冷戦終焉後の世界秩序、9.11同時多発「テロ」、アメリカの変化、世界金融恐慌、「イスラーム原理主義」(26～30) グローバル・テロリズム、市民社会論、民主主義の変容、国境を越える民主主義1・2。

履修上の留意点 特にありませんが、日頃から新聞や雑誌を読む習慣を身につける事をお勧めします。

成績評価の方法 年度末の試験。

教科書 加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦1998『現代政治学』有斐閣アルマISBN4 - 641 - 12168

参考書等その他 特になし。
講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定。
講義の後半10分にカードを配るので、質問や感想を書いて下さい。
翌週の講義の冒頭に簡単な応答を行います。

履修コード	134801
科目名	政治学原論
担当者名	清滝 仁志

講義のねらい この講義は教職科目として、政治学の基礎的なことがらについて学んでいきます。授業を通じて、現在の政治・経済・社会について、自分の観点から理解し、わかりやすく説明できる能力を身につけることを目的にしています。

講義の内容・授業スケジュール 前期
政治学入門(1)、民主政と選挙制度(2・3)、議院内閣制と大統領制(4・5)、政党と圧力団体(6～8)、議会と立法過程(9～11)、地方分権と地方自治(12・13)、現代社会と官僚制(14・15)
後期：福祉国家の形成と動揺(1～4)、開発主義と構造改革(5～7)、冷戦後の国際関係(8～11)、民主主義と自由(12～14)、政治学概念の基礎(15)

履修上の留意点 この講義では次のことをおこないます。
1 身近な時事問題を取りあげながら、そのポイントを解説
2 授業の冒頭で皆さんの質問に答えて、復習
3 授業中、文章の表現能力を身につけるための練習
公務員試験等の政治学にも対応できるような内容です。

成績評価の方法 授業にきちんと出席し、課題をこなすことで自分の考える力が身についたかを重視します。
①定期試験(25%) 2010年1月実施
②3回の課題レポート(35%)
6月(10%)・9月(15%)・11月(10%)
③コメント・ペーパー(40%) 授業での意見・質問等を5段階評価
※評価のポイント
・授業で取り上げた基礎的知識を理解しているか？
・授業で取り上げた話題を自発的・積極的に考え、自分で判断できるか？
・自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現できるか？
文献については講義・Yestudyを通じて随時紹介します。
毎回、レジュメと資料を配布。レジュメについてはYestudyを通じても入手可。
講義を受身に聴くのではなく、取り上げた話題を自発的・積極的に考えていくことを期待します。
質問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。
Yestudy(<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>)に授業ページを設置します。パスワードは授業で通知します。

教科書

参考書等その他

履修コード	232702
科目名	日本宗教文化史
担当者名	小川 <small>おがわ としゆき</small> 順敬

講義のねらい	日本の世界観、生死観の変遷を考える。 われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生き、いかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）
講義の内容・授業スケジュール	ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どのように具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。 最初に世界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「世界」について紹介・検討して行きたいと思います。
成績評価の方法	レポートその他で評価する。
教科書	教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はその都度紹介することにした。

履修コード	232802
科目名	民衆宗教成立史
担当者名	鈴木 <small>すずき いづほ</small> 一馨

講義のねらい	民衆宗教は、世俗の中に生きるひとびとが既成宗教の体系にとらわれずに、そのさまざまな願望に応じたものごとを取り入れながら形成したものである。それがゆえに、無秩序で「いいがけんなもの」とイメージされやすいが、実はそうではなく、取り入れた要素を独自の論理で編成しオリジナリティ溢れる体系を作り上げている。
講義の内容・授業スケジュール	この講義では、日本の民衆宗教の一例として陰陽道を採用し、前期に陰陽道の初期的形成とそれを支える中国的宇宙論について基礎的な知識を講説し、後期はその基礎に立って陰陽道の実像とその役割について講説する。そして、両者を併せて民衆宗教の形成のされ方について理解を深めてもらう。 前期：Ⅰ. 陰陽道と「陰陽」の宇宙論 1. 「陰陽寮」と「陰陽道」（1～5）、2. 「陰陽」の理論と世界観（6～10）、3. 暦と世界の変化（11～15） 後期：Ⅱ. 陰陽道と民衆宗教 1. 平安貴族の日常と陰陽道（16～20）、2. 呪術者としての陰陽師（21～25）、3. 民衆宗教としての陰陽道（26～30）
履修上の留意点	講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないといけない。 また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。
成績評価の方法	出欠状況、期末試験、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。
教科書	鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界一』（講談社選書メチエ244、2002年）1,575円、ISBN：4062582449
参考書等	林淳・小池淳一編『陰陽道の講義』（嵯峨野書院、2002年）3,150円、ISBN：4782303610 高埜利彦編『民間に生きる宗教者』（吉川弘文館、2000年）2,940円、ISBN：4642065512

履修コード	232902
科目名	宗教学概説
担当者名	いげがみ よしまさ 池上 良正

講義のねらい テーマは「生活の中の宗教」とする。多くの現代人は、「宗教」を自分とは関係ない特殊な分野のように考えている。しかし、近代になって「宗教」と呼ぶようになった現象は、人類の歴史を通して、生活のあらゆる部分に深く根ざしている。この授業では、身近な生活のトピックを取り上げ、比較宗教学的な視点から考察する。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) 全体のオリエンテーション。(4～10) 儀礼と祭り。(11～15) 癒しの文化 (16～23) 慰霊と供養。(24～30) 異文化の理解。

履修上の留意点 学生参加型の授業とする。受講者は最低1回は発表してもらう。教職科目であることを配慮し、プレゼンテーションの方法についても工夫を求める。

成績評価の方法 課題の発表、出席状況、授業中の態度によって評価する。

参考書等 講義のなかで適宜指示する。

履修コード	233002
科目名	宗教学概説
担当者名	やの ひでたけ 矢野 秀武

講義のねらい 世界には様々な宗教伝統があり、多様な思想・体験・歴史・活動が見られる。また特定の集団には関わらないが宗教的と言える現象などもある。本講義では、これらの宗教伝統や宗教的現象について、無批判に肯定するのではなく、闇雲に批判し遠ざけるのでもない、そういった視点から理解することの重要性を学んでもらいたい。また、世界の諸宗教の多様性や、それぞれの宗教伝統内部に多様性のあることも理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は宗教についての基礎知識と具体的なイメージを持っていただくため、世界の諸宗教についての歴史と思想について学ぶ。具体的には、宗教学の基礎 (1～3)、ユダヤ教・キリスト教・イスラーム (4～10)、仏教・現代日本の宗教 (11～15) について歴史的背景を紹介する。後期では、宗教学のものの見方を学ぶ。具体的には、聖と俗 (16～20)、儀礼と神秘体験 (21～25)、宗教の心理的側面と哲学的側面 (26～30) をテーマとしてとりあげ概説する。

履修上の留意点 レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。

成績評価の方法 出席、前期レポート (夏休み前に課題を提示・後期初回に提出)、後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。

教科書 なし

参考書等 授業時に随時紹介する。

履修コード	233102
科目名	宗教学概説
担当者名	かわかみ しんじ 川上 新二

講義のねらい 先般の改正教育基本法では教育上尊重されなければならないものとして、従来からの「宗教に関する寛容の態度」、「宗教の社会生活における地位」に加えて、「宗教に関する一般的な教養」が明記されました。宗教の理解は、学校教育をはじめとして社会のさまざまな場でますますその重要性を増していると思われます。この授業では、さまざまな宗教を理解するために宗教学が提出してきた見方、考え方を学びながら、今後も地球規模でさまざまな宗教をもつ人々と出会いながら生活していくことになるであろう私たちにとって有効と考えられる視座を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (前期) (1～2) 宗教学とは、(3～4) 宗教の原初形態、(5～6) 宗教と呪術、(7～8) 宗教の諸類型、(9～14) 世界の主な宗教 (ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教、ヒンズー教、仏教、道教)、など。

(後期) (1～2) 宗教の実在観、(3～4) 宗教の人間観、(5～6) 宗教の世界観、(7～8) 宗教儀礼、(9～10) 宗教教団、(11～12) 宗教体験、(13～14) 宗教の機能、など。

成績評価の方法 出席状況と、年2回 (夏休み、学期末) のレポートで評価します。

教科書 脇本平也『宗教学入門』講談社 (講談社学術文庫)

参考書等 『宗教学ハンドブック』世界書院。

履修コード	233202
科目名	哲学概説
担当者名	末木 恭彦 <small>すえき やすひこ</small>

講義のねらい 哲学とはいかなる学問か理解をはかる。哲学は西洋の独占物でない。西洋に啓発されてであるが、東洋にも独自の哲学の試みはなされている。本講義は、そのような東洋哲学を考察する。

講義の内容・授業スケジュール 近代中国の哲学の試みの中から、馮友蘭の新理学を取りあげ、その著『新原人』を紹介する。
(1～2) 中国の近現代哲学の概観 (3～6) 馮友蘭の生涯 (7～10) 『新理学』概観 (11) 覚解 (12) 心性 (13) 境界 (14) 予備 (15) 自然 (16) 功利 (17) 道德 (18) 天地 (19) 学養 (20) 才命 (21) 死生 (22～26) 新理学の展開 (27～29) 質疑応答 (30) 予備

履修上の留意点 ノートを実際に取る。

成績評価の方法 学年末の試験、もしくはレポートによる。

教科書 『新原人』(講師の作成した抄訳をコピーして配布する)

参考書等 『馮友蘭自伝』(吾妻重二訳) 全2冊、平凡社

履修コード	233302
科目名	哲学概説
担当者名	久保 陽一 <small>くぼ よういち</small>

講義のねらい 哲学は世界や人間についてその原理を問う学問であると同時に、世界の中で人間がいかに生きるべきか、人生の目標や意義、何が善いか、何が正しいか、何が美しいか等を究明しようとするものでもある。我々は日常たえず意識しているとは限らないが、人生のふしぶしで何がしかそのような人生論的あるいは倫理的な問題につきあたらざるをえない。今年度の講義はそのような問題を取り上げることにはしたい。

講義の内容・授業スケジュール 古今東西の有名な人生論や倫理思想を取り上げる。
前期では、主に、①アジアの思想(仏教、儒教、老荘思想)②古代ギリシア哲学③キリスト教という思想源流にさかのぼる。
後期では、近現代を含めた人生論の種々のテーマー他者、死、幸福などーを取り上げることにする。

履修上の留意点 色々な本を読み、自分でものごとを考え、文章でまとめるようにすること。

成績評価の方法 出席数、試験(前期と年度末)などによって評価する。

教科書 久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

参考書等 渡辺二郎『現代の哲学』(日本放送出版協会)1,800円
渡辺二郎『人生の哲学』(放送大学教育振興会)2,800円

その他 授業中、種々の資料を配布する。
講義

履修コード	233402
科目名	倫理学概説
担当者名	小島 優子

講義のねらい

人間はなぜ嘘をついてはならないのか、なぜ人を殺してはなどの基本的な倫理学の問題について検討する。「倫理」は、人間が行動するときに伴って現れてくる問題である。動物のように欲望にしたがって生きるのではなく、倫理的な規範をもって生きることが人間たるゆえんである。それでは、倫理とは何であろうか。善く生きるとは、いったいどのようなことであるのか。善いことをしようと意図しても、善意が必ずしも他者の求めているものではないかもしれない、善意が報われない場合もあるのではないか。

後半は、現代に生きるわれわれが考えなければならない倫理的諸問題を取り扱う。現代世界のなかで、あらゆる人々が従わなければならない規範や義務、倫理は果たしてあるのだろうか。あるいは、価値や義務は人や文化、社会によって異なっているという価値相対主義がまかり通ってしまうのだろうか。あらゆる人に共通の道徳性がないのであれば、善というものを、われわれはどのように考えればいいのか。現代倫理学の方法を、生命倫理学、環境倫理学、ビジネス倫理学にふれながら考察する。

学生諸君に、人間が善く生きることの意味を自身で考えてもらいたい。

前期は、倫理学の目的と内容について論じ、西洋倫理思想の展開を具体的にさぐる。後期は、現代における倫理学の課題について検討する。授業のさいには、毎回プリントを配布する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 倫理学とは何か――「善く生きる」ことの意味を問う
- 2 倫理学の方法――「哲学」の一分類としての「倫理学」
- 3 倫理学の課題――他者と自己との間で生きること
- 4 倫理学の内容――法と倫理
- 5 西洋倫理思想 ①ソクラテス「善く生きる」こと
- 6 西洋倫理思想 ②プラトン『国家』論
- 7 西洋倫理思想 ③アリストテレスの「中庸」の倫理
- 8 西洋倫理思想 ④ストア派、エピクロス学派、懐疑学派
- 9 西洋倫理思想 ⑤中世キリスト教思想の倫理
- 10 西洋倫理思想 ⑥カントの定言命法
- 11 西洋倫理思想 ⑦「美しい魂」をめぐる――ルソー、シラー、ゲーテ
- 12 西洋倫理思想 ⑧ヘーゲルの人倫思想
- 13 西洋倫理思想 ⑨ヘーゲルにおける「罪責」と「犯罪」について
- 14 現代倫理学の課題――現代において「善く生きる」ことの意味を問う
- 15 現代倫理の諸問題――価値相対主義と普遍主義
- 16 功利主義――ベンサム、ミル
- 17 実存主義の倫理観 ①キルケゴール
- 18 実存主義の倫理観 ②ハイデガー、ニーチェ
- 19 生命倫理 ①生命倫理とは何か
- 20 生命倫理 ②パターナリズムとインフォームド・コンセント
- 21 生命倫理 ③生命の質と生命の神聖さ
- 22 生命倫理 ④安楽死と尊厳死
- 23 生命倫理 ⑤脳死と臓器移植
- 24 生命倫理 ⑥日本人の死生観と西洋キリスト教思想の死生観
- 25 環境倫理学――現在の人間は未来の子孫に対して責任を負うか？
- 26 ビジネス倫理――ビジネス倫理――企業の利益が公共の福祉に反している場合に企業人はどのような態度をとるべきであるか？
- 27 情報倫理――個人の権利と情報の関係について

成績評価の方法

1回の定期試験（中間試験）と、1回の学期末試験と平常点（出席状況）で評価する。定期試験とレポート、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。

教科書

小島優子『最新哲学がよ〜くわかる本』秀和システム、2006年

履修コード	113701
科目名	産業概説
担当者名	幸野 保典 <small>こうの やすのり</small>

講義のねらい	<p>本講義は二部構成とし、第1部では、産業の一般的な概念規定および産業論研究の系譜などを概観し、産業とは何かについて考察する。</p> <p>第2部では、日本における産業構造がどのように変化してきたかを、戦前と戦後に分けて検討する。前者については、戦間期および戦時下の産業構造についての概要を述べ、その特徴を明らかにする。本講義の中心となる戦後の産業構造については、経済復興期から現在にいたるまでに、個別産業がどのように展開してきたかを検証し、また新たに誕生した産業がどのような地位を占めるにいたったかを考察する。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>第1部 産業とは何か。1. 産業の概念規定 2. 産業分類 3. 日本標準分類 4. 産業論研究の系譜（課題と方法）</p> <p>第2部 日本における産業構造。1. 産業構造論の意味 2. 戦間期の産業構造 3. 戦時下、経済統制と産業構造 4. 戦後の産業政策の展開 5. 現代の産業構造（個別産業の発展）a. 鉄鋼業、b. 造船業、c. 家電産業、d. 自動車産業、e. コンピュータ産業など</p>
履修上の留意点	特になし。
成績評価の方法	レポートおよび試験を行う予定。
教科書	特に指定しないが、毎回レジュメを配布する。
参考書等	<p>水口和寿『現代産業概論』（昭和堂）1984年</p> <p>鶴田俊正・伊藤元重『日本産業構造論』（NTT出版）2001年</p> <p>大西勝明・二瓶敏編『日本の産業構造』（青木書店）1999年</p> <p>武田晴人編『日本産業発展のダイナミズム』（東京出版会）1995年</p>
その他	講義形式で行うが、受講者数が少ない場合はゼミ形式を併用する。

履修コード	113801
科目名	職業指導
担当者名	洪 利志生 <small>こう としお</small>

講義のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・職業指導と学校教育における進路指導についての考え方を確立する。 ・生徒が自己の生き方を自覚し、自己の能力を発揮し、職業（進路）選択を決定できるように指導方法を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>職業指導の意義（1～15）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業と社会（1～5） ・職業指導の歴史（6、7） ・職業指導と職業教育（8、9） ・職業指導の定義（10～12） ・職業適性について（13～15） <p>学校教育における進路指導（16～30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の基本的な考え方（16、17） ・進路指導における情報資料（18） ・進路指導と学校組織（19～22） ・進路適性について（23、24） ・進路指導の計画と評価（25～30）
成績評価の方法	出席状況・課題提出・レポート提出等で、総合的に評価する。
教科書	プリント配布
参考書等	授業中に適宜紹介

履修コード	113901
科目名	商業実習
担当者名	洪 ^{こう} 利志生 ^{としお}

講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	<p>中学校・高等学校における商業に関する基礎的・実務的な知識・技術を習得する。</p> <p>商業の機関と機能（1～10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業の変化（1） ・消費生活と商品（2、3） ・物流について（4） ・金融機関（5～7） ・小切手・手形（8、9） ・保険の種類（10） <p>ビジネス文書の作成（11～20）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書作成の基本（11～13） ・文書の書式（13～16） ・文書の書き方と文例（17～20） <p>簿記について（21～30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簿記の基本原則（21～23） ・諸取引の処理（24～28） ・決算報告書（29、30）
成績評価の方法 教科書 参考書等	<p>出席状況・課題提出・レポート提出等で、総合的に評価する。</p> <p>プリント配布</p> <p>授業中に適宜紹介</p>

履修コード	114201
科目名	農業実習
担当者名	ふるさわ ^{ふるさわ} 絃造 ^{こうぞう} 古沢 絃造

講義のねらい	<p>日本の農業は土地不足、生産コスト高騰、高齢化など多くの問題を抱えている。そうした中で、保護貿易主義の高い壁を守り続けることで、日本農業の窮地を救うのか、それとも生産基地を海外に移すのかという二者択一の選択を迫られている。</p> <p>本実習では、農作業体験を通して、農業が食料生産だけでなく、多様な公益的機能（たとえば洪水防止、教育効果、自然文化資源の提供など）を果たしていることを学んでもらいたい。</p> <p>数回の農作業体験を行う。農村での合宿も計画している。</p>
講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点	<p>実習を受け入れてくれる農家に迷惑をかけることにならないよう、それなりの心構えで参加すること。</p>
成績評価の方法	<p>農作業体験に基づき、食農教育をいかに考えたらよいかについて、レポートを提出、それにより評価を行う。</p>

履修コード	113801
科目名	職業指導
担当者名	洪 利志生 <small>こう としお</small>

講義のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・職業指導と学校教育における進路指導についての考え方を確立する。 ・生徒が自己の生き方を自覚し、自己の能力を発揮し、職業（進路）選択を決定できるように指導方法を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 職業指導の意義（1～15） ・職業と社会（1～5） ・職業指導の歴史（6、7） ・職業指導と職業教育（8、9） ・職業指導の定義（10～12） ・職業適性について（13～15） 学校教育における進路指導（16～30） ・進路指導の基本的な考え方（16、17） ・進路指導における情報資料（18） ・進路指導と学校組織（19～22） ・進路適性について（23、24） ・進路指導の計画と評価（25～30）
成績評価の方法	出席状況・課題提出・レポート提出等で、総合的に評価する。
教科書	プリント配布
参考書等	授業中に適宜紹介

履修コード	152651
科目名	現代商業論
担当者名	いわぶら まさる 岩淵 護

講義のねらい	現代の流通の本質的な枠組みを通して商業がどのような位置にあるかを理解するのが目的であり、商業の本質的な視点より商業とはいったいどのような役割を果たしているかを論じる。また変化に富む現代の流通システムに対して、メーカーや流通業者が直面する諸問題、情報システムの活用における情報化の進展、インターネットを介した商取引拡大のトレンドについても言及したい。
講義の内容・授業スケジュール	予定している講義内容は次の通りである。授業進度に応じて順序は入れ替えられる場合がある。(1)ガイダンス(2～3)流通機構の発展と商業(4～6)現代の流通(7～9)企業経営と物流(10～12)経営戦略と物流(13～15)商業の空間的構造(16～17)流通系列化の諸方式(18～19)流通と取引慣行(20～21)SCM(22)POSシステム(23～24)ERPパッケージと資源管理(25～26)EDIからB2B(27～28)e ビジネスと流通(B2C,C2C)(29)新たな市場と集積者(30)まとめ
履修上の留意点	講義では理解を深めるため、ビデオ教材等を視聴してもらうこともある。ただしその場合、受講生の授業への参加意欲を確認するため、レポートの提出を義務づける。
成績評価の方法	定期試験を中心として、レポート課題や出席などを加味して総合的に評価する。定期試験（60％）、参加意欲（40％）
教科書	教科書については、開講時に指示する。
参考書等	講義の中で、そのつど紹介する。

履修コード	305401
科目名	教職入門
担当者名	天井 ^{てんじょう} 勝海 ^{かつみ}

講義のねらい 今日の日々の生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等は極めて多様化している。また、生徒を取り巻く教育環境は、国際化・情報化・高齢化・少子化などの著しい進展や生涯学習社会への移行など急激に変化している。このことを踏まえ、これからの学校教育や教育職員としての在り方などについて具体的な課題を取り上げ考察し、教員に求められている基本的な資質や能力等を育成する。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 学校組織と教員の役割と責任
 2. 学習指導要領と教育課程の編成
 3. 「生きる力」と総合的な学習の時間
 4. 教科・科目の指導内容・方法の改善
 5. 健全育成と生徒指導
 6. キャリア教育と進路指導
 7. 学級経営やホームルーム経営の在り方
 8. 教育法規とその内容
 9. 学校における接遇の実際
 10. 教員に求められる資質・能力

履修上の留意点 教職入門として不可欠の内容を取り上げます。他の教職関係の学習の基礎・基本ともなります。
成績評価の方法 試験や指導計画の作成、発表、模擬授業の成果などのほかに、授業への参加の状況（出欠席の状況）なども重視し、総合的に評価します。

教科書 現代実践教職入門（学事出版）著者名 天井勝海 価格2200円
参考書等 必要なものは授業の際に紹介する。また、参考となる資料は、プリントして配付します。
その他 グループ討論や発表学習なども取り込んだ授業となります。

履修コード	343801
科目名	教育基礎論 教育の思想
担当者名	山本 ^{やまもと} 敏子 ^{としこ}

講義のねらい 教育についての見方、考え方を深め、現代の学校教育が抱える様々な問題を解決していく力量の養成を目指して、日本の公教育制度に影響を及ぼした西洋近代の教育思想を理解するとともに、それが成立する以前に日本列島各地に息づいていた民衆教育思想を学んでいきます。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 民衆教育思想の中でも、特に「しつけ」の思想に焦点を絞り、以下の柱立てで進めます。
- (1)「教育基礎論」への招待 (2)なぜ、「しつけ」を問うのか？ (3)「教育」という概念のない社会 (4～6) 西洋近代教育思想の大きな流れ (7) 近世子育て文化の基層に流れる民衆の生命観・子ども観・教育観 (8～12) 民俗学の発掘した「しつけ」の思想 (13) 欧米の学校管理論の移入と「しつけ」概念の変質 (14) 西洋近代の「discipline (規律・訓練)」と近代学校(15)まとめと討論

履修上の留意点 初回に受講者の皆さんと相談の上、演習の要素を取り入れた参加型の授業にすることがあります。授業への積極的な参加を期待いたします。

成績評価の方法 出席状況、授業中の小レポート、学期末レポート等の総合評価。
教科書 特に使用せず、必要に応じて資料を配布します。

履修コード	343901
科目名	教育制度・環境論 教育と社会
担当者名	山本 ^{やまもと} 敏子 ^{としこ}

講義のねらい 近代社会の教育は、全生活領域にわたる経営体としての家共同体の解体および近代国民国家の形成と深く関わっています。近代学校成立以前の社会における多様な教育システムを家共同体との関わりで考察することにより、近代学校システムの特質や問題点を明らかにするとともに、これからの教育のあり方を模索していきます。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 近年の様々な教育問題や教育改革の動向、諸外国の教育制度等にも触れながら、次のような柱立てで進めていく予定です。
- (1)「教育制度・環境論」への招待 (2)「家」が未成立の社会と教育システム (3～4)「家」社会の成立と教育システム (5～6)「家」の解体 (近代家族の形成)と近代学校システム (7～14) 現代の教育諸問題と教育制度・環境の改善 (15)まとめと討論

履修上の留意点 初回に受講者の皆さんと相談の上、演習の要素を取り入れた参加型の授業にすることがあります。授業への積極的な参加を期待いたします。

成績評価の方法 出席状況、授業中の小レポート、学期末レポート等の総合評価。
教科書 福田誠治『競争しても学力行き止まりーイギリス教育の失敗とフィンランドの成功』朝日選書 (2007年刊) 1,200円

履修コード	344001
科目名	学習・発達論 発達と学習の心理学
担当者名	藤原 善美

講義のねらい 本講義では、発達と学習の心理学を、体系的に学習します。「発達」とは、人がその誕生、あるいは受胎から死亡するまでの間に示す身体的、行動的、認知的な変化のことです。発達の諸理論におけるキーワードにふれながら、基礎的な知識の理解を目指します。また、経験による比較的永続的な行動変化のことをさす「学習」について、主な学習理論や動機づけ理論を学び、学校教育への応用を考えることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (1) 発達とは何か (2～3) 発達理論、発達段階と発達課題 (4～7) 胎生期・乳児期、幼児期、児童期・青年期、成人期から老年期を含む生涯発達 (8～10) 認知の発達、言動と知能の発達、社会的発達 (11) 発達障害 (12) 学習とは何か (13～15) 学習理論、動機づけ理論、情動の理論

履修上の留意点 学習意欲の高い学生の受講を望みます。
成績評価の方法 成績は、学期末試験の結果により評価します。試験を受けない限り、評価の対象にはなりません。
教科書 特に指定しません。参考文献は、必要に応じて授業に応じて授業中に紹介します。

履修コード	344101
科目名	教育課程論 カリキュラムと学習
担当者名	藤原 善美

講義のねらい 教育内容の全体的計画である教育課程(カリキュラム)について、授業＝学習過程のなかでの特徴や、教育目的・教育方法との関連性を、日本の教育に基づいて学ぶことを目的とします。また、学校教育の実際、および発達障害の特徴と特別支援教育についての理解を目指し、教育現場の諸問題について、どのような解釈、対処があるのかを考えるきっかけとなれどと思います。

講義の内容・授業スケジュール (1) カリキュラムとは何か (2～4) 日本の教育制度 (5～7) 学習指導要領 (8～10) 教授法 (11) 教育評価 (12) 特別支援教育 (13～15) 学校教育の実際と今後の課題

履修上の留意点 学習意欲の高い学生の受講を望みます。
成績評価の方法 成績は、学期末試験の結果により評価します。試験を受けない限り、評価の対象にはなりません。
教科書 特に指定しません。参考文献は、必要に応じて授業に応じて授業中に紹介します。

履修コード	305501
科目名	教育とメディア
担当者名	石橋 達也

講義のねらい 本授業では情報化が著しく進展している今日の社会的状況における、新たな教育形態と情報メディアの在り方について学んでいきます。毎回の授業の前半では、学校教育における情報メディアの活用状況の現状を眺めて、今後の課題を探っていきます。続いて後半では、インターネットに関連したパソコン操作の実習を行ない、パソコンやネット活用の利点や問題点を理解します。その上で、情報メディアを教育実践に活用する際に必要な基礎能力の習得を目指すとともに、教師の役割についても検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール 主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。

- ・教育の情報化の現状と課題
- ・情報メディアを活用した新たな授業の形態
- ・小中高校の教育現場での取組みの現状と課題
- ・外国における教育の情報化の現状
- ・インターネット利用の影響や問題点
- ・情報メディアリテラシーの意義、など。

履修上の留意点 履修する学生は、この授業が「教職」を目指す上で必要な科目であることを自覚した上で、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むこと。

成績評価の方法 成績の評価は期末試験の得点を中心に、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書 教科書は使用せず、必要に応じて配布プリント等を利用して授業を進めていきます。

参考書等 授業の中で、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。

その他 毎回の授業の中で、パソコンの実習をします。初歩的なレベルから始めていきますが、受講学生には「学お意欲」をもって積極的に取り組むことを期待します。

履修コード	305601
科目名	道德教育の研究
担当者名	<small>みどりかわ てつお</small> 緑川 哲夫

講義のねらい	「道德教育」の充実が、我が国の大きな課題であり、学校教育全体において充実した取り組みが必要である。この「道德教育」の教育的意義や目標及び指導内容、指導方法等について理論と実践の両面から研究を行い、教師としての指導力を身につけていただきたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 道德教育の歩み、改訂学習指導要領、今求められる「心の教育」 2. 道德教育の基本的な在り方、道德教育の目標、道德の指導内容 3. 道德の学習指導案、道德の資料の開発と活用 4. 「道德の時間」における授業の改善と充実、魅力ある授業の創造 5. 全教育活動における道德教育、内面に根ざした道德性の育成 6. 家庭や地域社会と連携、道德教育の評価、道德教育充実のための課題
履修上の留意点	道德教育の意義をよく理解し、積極的に授業に臨み、具体的な指導計画の作成や指導方法を身に付けてほしい。
成績評価の方法	出席状況・小レポート（25%）、学習指導案の立案・模擬授業（25%）、レポート試験（50%）により評価する。
教科書 参考書等 その他	文部科学省『中学校学習指導要領解説―道德編―』（日本文教出版）132円 講義中に随時紹介する 講義、指導資料の作成、講義内容に則した、小レポートを提出する等

履修コード	305711
科目名	特別活動論
担当者名	<small>みどりかわ てつお</small> 緑川 哲夫

講義のねらい	「特別活動」は、望ましい集団活動を通して、好ましい人間関係を形成し、社会の一員としての自覚と責任ある態度を身につけるとともに、自己を生かす能力などを養うものである。人間形成に果たす特別活動の役割について研究を深めるとともに、この特別活動の活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての実践的な指導力を身につけていただきたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特別活動の教育的な意義、特別活動の歴史の変遷、改訂学習指導要領 2. 特別活動の目標、個と集団の関係 3. 学級活動の特質と生徒指導、ガイダンスの機能の充実 4. 特別活動と教育課程、学級経営、学年経営、学校経営 5. 生徒会活動の特質と活動内容、ボランティア活動と地域との連携 6. 学校行事の特質と活動内容、特別活動の評価と課題
履修上の留意点	グループ活動への積極的な関与、創意工夫を生かした指導計画や指導資料作成など意欲的な取り組みを望みます。
成績評価の方法	出席状況・小レポート（25%）、学習指導案の立案（25%）、レポート試験（50%）として評価する。
教科書 参考書等 その他	開講時に連絡する 文部科学省『中学校学習指導要領解説―特別活動編―』（ぎょうせい）114円 指導案の立案、講義内容に則した小レポートの作成等

履修コード	305801
科目名	生徒指導論（進路指導を含む）
担当者名	<small>けいの はるか</small> 慶野 遥香

講義のねらい	生徒指導は、生徒の人格を成長させ、個性を伸ばすことを目的に、学校教育活動のあらゆる営みを通じて行われます。この講義では、教師としてどのように生徒を理解し、かかわり、指導することが望ましいかを、自分自身で、その場その場で考えていけるようになることを目標とします。そのための基礎となる諸理論、発達的な観点や、教育現場におけるさまざまな問題を取り上げます。
講義の内容・授業スケジュール	（1～3）生徒指導とは何か（4～7）生徒の理解：思春期・青年期の発達とパーソナリティの心理学（8～11）生徒指導、進路指導の方法（12～15）教育現場における問題：問題行動、いじめ、不登校
履修上の留意点	出欠は毎回取り、重視します。また、コメントシートやレポートを課することがあります。
成績評価の方法	試験の結果と平常点（コメントシートやレポートへの取り組み、出席状況）によって評価します。
教科書	特定の教科書は指定しません。参考書は授業中に適宜紹介します。

履修コード	305901
科目名	教育臨床
担当者名	慶野 遥香

講義のねらい 教育臨床とは、教育の現場におけるさまざまな問題の解決を目的として、臨床的な実践を行うことです。この講義では、思春期・青年期特有の問題やカウンセリングの諸理論を取り上げて、学校現場の困難に取り組むために教師として必要な知識、スキルの概要を知ること目標とします。また、実践的なワークを通じて自己理解を深め、自信の価値観や対人関係のあり方が、生徒・保護者との関係にどのように反映するかを考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール (1)教育臨床とは何か(2~5)思春期・青年期のこころの理解(6~9)心理臨床の方法、話すことと聴くこと(10~12)学校現場の問題：非行、学級崩壊(13~14)事例研究(15)教員のメンタルヘルス

履修上の留意点 出欠は毎回取り、重視します。ほぼ毎回の授業におけるコメントシート、学期内にレポートを課します。また、授業内でワークや学生同士の話し合いの時間を持つことがありますので、積極的な参加を望みます。

成績評価の方法 試験の結果と平常点(コメントシートやレポートへの取り組み、出席状況)によって評価します。
教科書 特定の教科書は指定しません。参考書は授業中に適宜紹介します。

履修コード	306001・306002
科目名	総合演習I(環境・地域) 総合演習(2)[子ども・自然・家庭]
担当者名	山本 敏子

講義のねらい 衣食住の暮らしは、人間が生命過程を維持していく上で不可欠な生存の基盤ですが、自然と人間との関係が変容したことにより、今日では様々な局面で危機的状況に置かれています。私たちはどのような難問に直面しており、人間にとっても生き物にとっても生きやすい社会を築いていくにはどうしたらよいか。「食」の問題を切り口に考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール 導入として、さとうち藍『アイヌ式エコロジー生活』を読みながら、「食」の問題をめぐって考えたい具体的なテーマや方法等を話し合い、その後、実際に調べていきます。最後に発表、レポートとしてまとめます。

(1)「総合演習」入門(2~3)総合学習とは何か(4~6)共通文献の購読と個別テーマについて相談(7)図書館での調査実習(8~10)共通文献の購読と各自の自由研究の中間報告(11~14)各自の自由研究の発表・討論(15)「総合的な学習の時間」の実践について考える。

履修上の留意点 受講される皆さんの主体的な参加を期待いたします。
成績評価の方法 出席状況や授業時間内の発表、学期末レポート等の総合評価。
教科書 さとうち藍『アイヌ式エコロジー生活-治造エカシに学ぶ、自然の知恵』2008年刊(小学館)1,500円

その他 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	306101・306102
科目名	総合演習I(環境・地域) 総合演習(2)[子ども・自然・家庭]
担当者名	山本 敏子

講義のねらい 科学技術が作り出す人工物の世界に囲まれて、人間の暮らしは便利で快適になった反面、様々な「環境問題」を抱え不安なことばかりです。多様で美しい自然、おいしくて安全な空気や水、食べ物等を未来の子どもたちへと受け渡していくために、私たちにできることは何か。人類史上、未曾有の環境汚染問題である水俣病事件を通して考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール 導入として、栗原彬編『証言水俣病』を読みながら、「環境問題」をめぐって考えたい具体的なテーマや方法等を話し合い、その後、実際に調べていきます。最後に発表、レポートとしてまとめます。

(1)「総合演習」入門(2~3)総合学習とは何か(4~6)共通文献の購読と個別テーマについての相談(7)図書館での調査実習(8~10)共通文献の購読と各自の自由研究の中間報告(11~14)各自の自由研究の発表・討論(15)「総合的な学習の時間」の実践について考える

履修上の留意点 受講される皆さんの主体的な参加を期待いたします。
成績評価の方法 出席状況や授業時間内の発表、学期末レポート等の総合評価。
教科書 栗原彬編『証言水俣病』2000年刊(岩波新書)700円

その他 この科目については、履修者数の上限を設定します。そのため、事前に受講許可証の発行を受けなければ受講できません。詳細は教務部掲示板で確認して下さい。

履修コード	306201・306202
科目名	教育実習I 教育実習II
担当者名	伊藤 茂樹
講義のねらい	中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それをとりまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。
講義の内容・授業スケジュール	実習前には、教育実習の意義や目的、内容についての講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験を報告により共有したうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。
履修上の留意点	第一回の授業で概要を説明する。第一回の授業は必ず出席すること。やむを得ない理由で出席できない者は、事前に必ず連絡をすること。事前に連絡なく第一回の授業を欠席した者は履修は認められないので注意すること。
成績評価の方法	実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。
教科書	教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

履修コード	306301
科目名	社会科教育法I
担当者名	天井 勝海
講義のねらい	中学校学習指導要領に示された「社会」の目標、地理的分野と歴史的分野の内容とその取扱い及び指導計画の作成に関する内容を取り上げ、実際の指導内容・方法などを考察し指導の実践的な資質や能力を育てる。
講義の内容・授業スケジュール	1. 中学校社会科の改訂の趣旨とその要点 2. 地理的分野の目標とその内容 3. 世界と日本の地域構成 4. 地域の規模に応じた調査 5. 世界と比べてみた日本 6. 歴史的分野の目標とその内容 7. 歴史の流れと地域の歴史 8. 古代・中世・近世の日本 9. 近現代の日本と世界 10. 指導計画の作成とその配慮事項
履修上の留意点	学習指導要領に示された内容を踏まえ、実践的な指導内容や指導方法などについて討論や発表なども行います。主体的で積極的な学習態度が必要です。
成績評価の方法	試験や指導計画の作成、発表、模擬授業の成果などのほかに、授業への参加の状況（出欠席の状況）なども重視し、総合的に評価します。
教科書	中学校学習指導要領（文部科学省） 中学校学習指導要領解説 社会編（文部科学省）
参考書等その他	授業の際に、ワークシートや資料などのプリントを配付します。 グループ討論や発表学習なども取り込んだ授業となります。

履修コード	306401
科目名	社会科教育法II
担当者名	てんじょう かつみ 天井 勝海

講義のねらい	中学校学習指導要領に示された「社会」の目標、公民的分野の内容とその取扱い及び指導計画の作成に関する内容を取り上げ、実際の指導内容・方法などを考察するとともに模擬授業なども行い、指導の実践的な資質や能力を育てる。
講義の内容・ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中学校社会科の改訂の趣旨とその要点 2. 公民的分野の目標とその内容 3. 現代社会と私たちの生活 4. 国民生活と経済 5. 現代の民主政治とこれからの社会 6. 指導計画の作成と内容の取扱い 7. 指導計画の作成とその配慮事項 8. 資料等の活用と作業的、体験的な学習 9. 選択教科としての「社会」 10. 授業改善と指導内容・方法の工夫
履修上の留意点	学習指導要領に示された内容を踏まえ、実践的な指導内容や指導方法などについて討論や発表なども行います。主体的で積極的な学習態度が必要です。
成績評価の方法	試験や指導計画の作成、発表、模擬授業の成果などのほかに、授業への参加の状況（出欠席の状況）なども重視し、総合的に評価します。
教科書	中学校学習指導要領（文部科学省） 中学校学習指導要領解説 社会編（文部科学省）
参考書等 その他の	授業の際に、ワークシートや資料などのプリントを配付します。 グループ討論や発表学習なども取り込んだ授業となります。

履修コード	321801・321802
科目名	社会科教育法V（公民） 公民科教育法I
担当者名	谷敷 正光

講義のねらい 本講は高等学校公民科で教育実習を行う学生や公民科教師を目指す学生に、「教育とは」「公民科教育とは何か」といった公民科教育の基本原理解から、公民科の授業について「授業のねらいをどう設定するか」「授業の流れをどうつくるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方まで学び、自分が実際に公民科の授業を行うことを想定して教材を精選し、学習指導案が作成できるようにします。本講は公民科の学習指導案が書け、公民科の授業ができることをねらいにしています。できれば、前後期の履修をのぞみます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 公民科教育ガイダンス
- 2 教育の意義
- 3 社会科・公民科の意義と社会科の原点
- 4 高等学校の教育課程と社会科・公民科
- 5 社会科の成立 公民科・社会科委員会
- 6 初期社会科の教科構造
- 7 社会科の教科構造第3期 融合科目・系統科目
公民科の授業設計、学習指導案の意義と作成
- 8 社会科の教科構造第4期 経験主義から系統主義へ
学習指導案単元の目標・本時の指導目標・指導計画の意義と作成
- 9 社会科の教科構造第5期
公民科授業の動機づけと「導入」の意義と作成
- 10 社会科の教科構造第6期 高校社会科の再編成
公民科授業の展開過程「学習内容」の意義と作成
- 11 社会科の教科構造第6期
公民科授業の展開過程「学習活動」の意義と作成
- 12 社会科の教科構造第7期
公民科授業の展開過程「指導上の留意点」「資料」「時配」の意義と作成
- 13 社会科の教科構造第8期
公民科授業の「むすび」・評価・確認テストの意義と作成
思考力を育む公民科の授業
- 14 社会科の教科構造第9期 補充・発展学習
公民科授業の板書計画・教材研究の意義、教材の発掘
- 15 公民科の教育評価と公民科学習指導案の完成・提出
公民科前期授業総括・小テスト
公民科教員採用試験の準備と心構え、「特別演習」「サブゼミ」について

履修上の留意点

- (1) 教材としてプリントを配布します。必ずその時間に受け取って下さい。
- (2) ビデオ、DVD教材を使用します。視聴覚教室に変更することがあります。

成績評価の方法

- (1) 課題提出、学習指導案の作成、出席、小テストなど総合的に評価します。
- (2) 定期試験、追試は行いません。小テストは授業中に実施します。

教科書

- (1) 教科書に代わるプリントを授業で配布します。
- (2) 高等学校で使用している教科書『改訂版 現代社会』実教出版、570円
(教科書の検定番号は、7実教 現社019です)

参考書等

- 以下の書物は講義の参考にして下さい。以下の書物は図書館で参照して下さい。
- (1) 大濱徹也『現在問われている世界 社会科』(同成社)、(2) 槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)、(3) 谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』(黎明書房)、(4) 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)、(5) 谷敷正光他『社会科教育研究』(粹出版)、(6) 福山憲市『資料提示の技術』(明治図書)、(7) 高元厚憲『高校生と政治教育』(同成社)、(8) 木村博一『日本社会科の成立理念とカリキュラム構造』(風間書房)、(9) 小林洋一郎『学習指導体制の研究 授業と発問』(酒井書店)、(10) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説—公民編』(実教出版)、(11) 井原政純『社会・地歴・公民科基礎論—教科指導の研究』(多賀出版)、(12) 授業技術研究会『指導細案の作成と実践』(学習研究社)、(13) 教育実習を考える会『教育実習のための学習指導案作成教本 社会、地歴、公民科』(蒼丘書林)、(14) 鈴木健二『社会科指導案づくりの上達法』(明治図書)

履修コード	321901・321902
科目名	社会科教育法VI（公民） 公民科教育法II
担当者名	やしき ただみつ 谷敷 正光

講義のねらい

講義のねらい

後期は、授業実践に必要な授業展開の仕方、発問の仕方、板書法などの基本的指導技術や教材開発など実際的能力を修得し、各自が立てた授業設計・学習指導案をもとに公民科の模擬授業を実践する。授業実践を通じて教育実習に備えるとともに公民科教師としての資質・力量形成につとめます。本講は前期、後期の授業で公民科の学習指導案が書け、公民科の授業ができることをねらいにしています。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 公民科教育ガイダンス
高等学校公民科のねらい
- 2 高等学校公民科「現代社会」の内容構成と授業の配慮事項
- 3 高等学校公民科「政治経済」の内容構成と授業の配慮事項
- 4 高等学校公民科「倫理」の内容構成と授業の配慮事項
公民科の学習形態
- 5 公民科授業技術 机間巡視・机間指導法
- 6 公民科授業技術 教材開発と教材の活用
- 7 公民科授業技術 板書計画と板書法
- 8 公民科授業技術 発問の仕方と問答法
- 9 模擬授業の意義と学習指導案の立案
模擬授業の実施方法と諸注意・実施要領(授業研究)
4年生の模範授業(授業研究)
- 10 模擬授業実践・感想意見の集約 (授業研究)
- 11 模擬授業実践・感想意見の集約 (授業研究)
- 12 模擬授業実践・感想意見の集約 (授業研究)
- 13 模擬授業実践・感想意見の集約 (授業研究)
- 14 公民科教師による模範授業 できれば授業参観(予定)
- 15 実践した模擬授業の評価、後期授業の総括と小テスト、教育実習と公民科の授業、高等学校公民科教師論、
公民科の教員採用試験の準備、「特別演習」と「サブゼミ」

履修上の留意点

- (1) 教材としてプリントを配布します。必ずその時間に受け取って下さい。
- (2) ビデオ、DVDなどを利用します。視聴覚室に変更することがあります。

成績評価の方法

- (1) 課題提出、模擬授業の実践、出席、小テストなど総合的に評価します。
- (2) 定期試験、追試は行いません。小テストは授業中に実施。

教科書

- (1) 教科書に代わるプリントを授業で配布します。
- (2) 高等学校で使用している教科書『改訂版現代社会』実教出版、570円。
(教科書の検定番号は、7実教 現社019です)

参考書等

以下の書物は講義の参考にして下さい。以下の書物は図書館で参照して下さい。

(1) 大濱徹也『現在問われている世界 社会科』(同成社)、(2) 無着成恭『山びこ学校』(角川文庫)、(3) 菊地宏義他『社会科と私たち』(大月書店)、(4) 谷敷正光他『社会科教育研究』(粹出版)、(5) 椋一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)、(6) 関根正明『教師のちょっとした口のきき方』(学陽書房)、(7) 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)、(8) 浜上薫『発問づくりの技術』(明治図書)、(9) 大西忠治『発問上達法』(民衆社)、(10) 公民教育学会編『公民教育の理論と実践』(第一学習社)、(11) 教師教育研究会『実践的教師入門』(東洋館出版社)、(13) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説—公民編』(実教出版)

履修コード	322201
科目名	商業科教育法
担当者名	黒葛原 正展

講義のねらい 高等学校商業科の教師を目指す学生が、商業教育に関する基礎的知識を学習すると共に、商業科の教師として備えておくべき指導方法・指導技術を習得する。

「教育とは」「商業教育とは」から「社会における商業の役割」、「商業教育の役割」まで学習し、講義と演習により、商業教育の専門家の養成と資質の向上を図る。

講義の内容・授業スケジュール

1. 商業教育の意義
2. 商業の活動と商業教育
3. 商業教育の草創
4. 商業教育の変遷（昭和21年まで）
5. 商業教育の変遷（昭和21年以降）
6. 前回学習指導要領の理解（総則）と学習指導要領の理解（商業）
7. 教育基本法の改訂と商業教育
8. 教育三法の改定と商業教育
9. 新学習指導要領の理解（総則）
10. 新学習指導要領の理解（商業）
11. 中央教育審議会答申「生きる力」とは
12. 平成20年度からの教育課程
13. 平成20年度からの商業教育
14. 商業各科目の指導目標と指導内容
15. 商業各科目の指導法・指導技術と評価
16. 年間指導計画と年間授業計画
17. 学習指導案の作成について
18. 教科書研究－1（必修科目、総合科目）
19. 教科書研究－2（簿記・会計科目、情報科目）
20. 新学習指導要領改訂による新科目の指導目標と指導内容
21. 新しい学力観と評価
22. 模擬授業案の作成について
23. プレゼンテーションと授業
24. 模擬授業
25. 模擬授業
26. 模擬授業と評価
27. 商業教育の成果と課題
28. 商業教育の展望
29. 商業科の教育実習
30. 教員採用試験に向けて

履修上の留意点 本講座は、商業科教師を目指す者が学ぶものである。単に単位を修得すれば良いものではなく、積極的に学習し、多くを吸収しようとする熱意が必要である。

本講座では、パソコンを使用するので、履修する前にワード、パワーポイントは操作できるようにしておくこと。

成績評価の方法

授業への参加意欲、態度、課題提出、模擬授業、授業内テストなどによって評価。定期試験、追試験はおこなわない。

**教科書
参考書等
その他**

黒葛原正展、他 共著、「教職必修 新商業科教育法」（実教出版）
新簿記（実教出版）、ビジネス基礎（実教出版）、その他、必要に応じて紹介する。
授業は講義方式および演習方式、必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	304801
科目名	日本史概説
担当者名	菅野 洋介 <small>かんの ようすけ</small>

講義のねらい 本講義は、社会科教員になる上で最低必要な日本史に関する知識や考え方について学ぶものである。また日本史の流れを多角的にとらえることを主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール 各時代を概観しながら、様々なテーマを取り上げ講義する。前期は歴史学のおかれた状況や様々な学説にふれながら、江戸時代の前半までを中心に講義する。後期は前期の内容をふまえ、江戸時代半ば以降を講義する。

・前期

(1) 歴史学の基本的立場、(2) 歴史学の研究方法、(3) 時期区分をめぐる諸問題、(4) 農耕・交易の展開、(5) 律令国家の形成と展開、(6) 貴族政治と武士の台頭、(7) 南北朝の動乱、(8) 武家政権の形成と展開、(9) 畿内の寺社勢力、(10) 神仏への祈り、(11) 村請制の成立、(12) 統一政権の成立、(13) 神国思想の形成と展開、(14) 異国・異域との接点

・後期

(1) 江戸幕府の職制、(2) 元禄・享保期の位置へ生類憐み令と鷹場をめぐって、(3) 江戸時代の宗教者、(4) 宝暦・天明期の社会状況、(5) 寛政期における内政と外交～復古の潮流と鎖国祖法観念をめぐって、(6) 各地の年中行事、(7) 江戸時代の学問と文化、(8) ペリー来航と多様な情報、(9) 江戸城内部の様相、(10) 明治維新と文明開化、(11) 明治国家の編成原理、(12) 立憲政治の形成と展開、(13) 大正デモクラシーと内政・外交、(14) 国際的孤立と戦争、(15) 近代国家と宗教、(16) 日本史研究と地域社会

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

授業中の私語をつつしむ。

出席・レポートで評価する。

講義内容にあわせて随時紹介する。

履修コード	304901
科目名	日本史概説
担当者名	鈴木 雅晴 <small>すずき まさはる</small>

講義のねらい 歴史学の目的と意義について講義を行なったうえで、古代から近現代にいたる日本の歴史の大きな流れをとらえ、各時代における歴史的事象について、当該期における政治・社会・経済状況などと関連づけながら理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

(1～3) 歴史学の目的と意義、(4～5) 日本文化の黎明と古代王権の成立、(6～8) 律令国家の成立と貴族政治の展開、(9～10) 武士の台頭と武家社会の形成、(11～12) 武家社会の展開と動乱、(13～15) 統一政権の樹立と幕藩制国家の確立、(16～18) 江戸時代の農村と人びとの暮らし、(19～21) 江戸時代の文化とその展開、(22～24) 幕藩体制の動揺と近代国家誕生への胎動、(25～26) 近代国家の成立と展開、(27～28) 立憲国家形成とその進展、(29～30) 資本主義の発展と世界大戦の勃発

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書

日本史の知識の蓄積だけを目的とするのではなく、総合的な知識を動員して、考究する姿勢を望む。年度末に行なう定期試験によって評価する。なお、出席状況を参考にする。

教科書の指定はしない。適宜、必要な資料の配布をする。

講義の内容に応じて随時紹介する。

履修コード	305001
科目名	世界史概説
担当者名	けんじょう みつたけ 見城 光威

講義のねらい 東アジア世界の歴史展開の概略を習得することを第一とする。が、その一方で教科書に見られる歴史叙述が必ずしも絶対なものではなく、多様な歴史観が存在することも会得する。そして、その延長として独自の史観を創出する素養を身につけることを最終の目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

第1回：歴史を学ぶにあたって
第2～3回：中華文明の発展——夏殷周・春秋戦国——
第4～7回：統一国家の樹立——秦漢・三国・魏晋南北朝——
第8～14回：多民族国家の発展——唐宋元明清——
第15回：前期試験
第16回：清代後期——沈淪と覚醒——
第17～20回：中華民国——戦乱と建設——
第21～23回：新中国——摸索と発展——
第24～26回：朝鮮半島の歴史
第27～29回：東南アジアの歴史
第30回：後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

積極的な質問、およびディスカッションを望む。
前期・後期2回の試験で評価（出題は教科書を中心とする）
歩平・劉小萌・李長莉著、鈴木博訳『若者に伝えたい 中国の歴史』2008年刊、明石書店、1800円
978-4-7503-2840-9、および随時補充プリントを配布。

履修コード	304201
科目名	地誌学概説
担当者名	かわもと とよかず 川元 豊和

講義のねらい この授業では、アジアを事例地域として、地誌的な見方・考え方を身につけることを目的とします。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定しています。

講義の内容・
授業スケジュール

(1～3)地誌的な見方・考え方について、(4～6)世界の人口・発展途上国における「人口爆発」とその収束、(7～10)農業の発展-稲作における「緑の革命」を中心として、(11～15)アジアの宗教-イスラームとヒンドゥー教を中心として、(16～20)バングラデシュ農村における近年の農業の変化、(21～22)バングラデシュ農村における土地所有と小作制度、(23～26)半島マレーシアにおける多民族社会の形成、(27～28)半島マレーシアにおける地方都市の発展、(29～30)サラワク州におけるイバンの生活

履修上の留意点
成績評価の方法

なお、受講者が少人数の場合には、後期(16～30)において、受講者による9月末に提出するレポートの内容発表も予定しています。
高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して授業に臨んでもらいたい。
出席状況(授業回数の2/3以上、15%)および9月末のレポート提出(15%)を前提とし、学年末の筆記試験(または後期におけるレポート発表と12月末のレポート提出、70%)を併せて総合的に評価します。

教科書
参考書等
その他

教科書は、特に定めずプリントを配布します。
授業内において、その都度紹介します。
講義形式。

履修コード	304301
科目名	地誌学概説
担当者名	わたなべ たてお 渡邊 盾夫

講義の内容・
授業スケジュール

地誌は、ある場所を自然環境と社会環境の両面から見て説明する学問である。前期に自然環境の分野である地形や気候そして地形図について学習し、後期は、各大陸別に数ヶ国にわたって自然環境と社会環境を説明し、それぞれの国を比較する予定です。受講者は、必ず地図帳を持参してください。

成績評価の方法

年度末に定期試験を実施します。これに出席の様子を加えます。答えは、自分が記した事が相手に理解できる様を書いておくことが大切です。

教科書

教科書・参考書については、特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布します。講義中はノートをとって、配布プリントの中に各自で必要項目を加えて下さい。あわせて関連する本を説明します。

履修コード	304401
科目名	人文地理学概説
担当者名	わたなべ たてお 渡邊 盾夫

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

前期に人文地理の考え方、研究方法、そして具体的項目として農業、後期に人口、工業地域の形成など人間活動の様子を具体的な例を上げながら、プリントを配布しながら説明します。年度末に定期試験を実施します。これに出席の様子を加えます。答えは自分が記した事が相手に理解できる様を書いておくことが大切です。

教科書・参考書については、特に指定しません。講義の進行に合わせてプリントを配布します。講義中はノートを取り、配布プリントの中に各自で必要項目を加えて下さい。あわせて関連する本を説明します。

履修コード	304501
科目名	自然地理学概説
担当者名	すずき りんたろう 鈴木 倫太郎

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考文献

自然地理学の分野のうち、地形の形成過程や自然環境の生い立ちについての講義を中心に、人間と自然・環境との関りについて、地域事例を用いながら論じる。

第1回：ガイダンス
第2回：地球の概観
第3回：地球の内部
第4回：地球の気圏1 地球の大気
第5回：地球の気圏2 大気の流れ
第6回：地球の気圏3 気候
第7回：地球の気圏4 気象現象
第8回：地球の水圏1 海洋
第9回：地球の水圏2 河川と地下水
第10回：内的営力1 火山
第11回：内的営力2 地震
第12回：外的営力1 水的作用
第13回：外的営力2 海岸地形
第14回：外的営力3 砂漠・カルスト地形
第15回：外的営力4 氷河地形①
第16回：外的営力5 氷河地形②
第17回：外的営力6 土壌の形成
第18回：事例研究 サンゴ礁地域の自然地理① 造礁サンゴ類
第19回：事例研究 サンゴ礁地域の自然地理② サンゴ礁地形
第20回：事例研究 サンゴ礁地域の自然地理③ サンゴ礁堆積物
第21回：事例研究 サンゴ礁地域の自然地理④ サンゴ礁生態系
第22回：事例研究 サンゴ礁地域の自然地理⑥ サンゴ礁と人間
第23回：事例研究 サンゴ礁地域の自然地理⑦ サンゴ礁の環境問題
第24回：地球環境問題 1
第25回：地球環境問題 2
第26回：予備

講義の進行により、内容を変更する場合がある。

講義が中心となるが、受講生が講義内容に対する考えや理解を持つため、レポートの提出を求める。講義中の私語を禁じる。

学年末の定期試験の結果と、夏休みのレポート点を加味しておこなう。

特に指定しない。授業時にプリントを配布する。

「教養の地球」鳥山隆三 編 朝倉書店
「地球学入門」酒井治孝著 東海大学出版

履修コード	305101・305201
科目名	宗教学概説
担当者名	須藤 寛人

講義のねらい 宗教学的視座を養うことが本講義の目的です。多くの日本人にとって、宗教は、必ずしも明確な形を持ったものではありません。しかし、人間や文化を理解することの、すべてではないにしても、その一部は宗教を理解することによって可能となるものであると考えられます。特に、現在の世界情勢は、宗教との関わり無しには、理解しがたいものがあります。本講義では、現代の国際関係を理解するためにも、諸宗教についての知識が不可欠であると思われますので、現代につながるようなかたちで、宗教をとらえていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス：成績評価について (2) 宗教と日本人 (3, 4) ユダヤ教：族长時代、ヘレニズム時代、ローマ時代以降 (5～8) キリスト教：イエス、初期教会、教会と王国、宗教改革から社会契約と資本主義へ (9, 10) イスラム教：ムハンマドの教え教え、クルアーンとイスラム法 (11～14) 仏教：釈迦の生涯、部派仏教の教え、大乘仏教の成立、大乘仏教の教え (15, 16) 儒教：孔子・孟子・朱子 (17, 18) 儒学と日本：江戸幕府と儒学、水戸学と明治維新 (19～29) 日本人と仏教：仏教以前、仏教伝来、古墳時代の終焉、御霊信仰、末法思想、僧兵、寺請制度、墓制の変遷、仏教的価値観の二元化と多様化、高度経済成長期の社会と仏教

履修上の留意点 できるだけ遅刻はしないでください。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中には着信音がならないようにするが電源を切ってください。

成績評価の方法 夏期レポート15%、学期末の試験80%、出欠状況5%として評価します。

教科書 教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

参考書等 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

履修コード	305301
科目名	哲学概説
担当者名	古田 知章

講義のねらい 我々は、世界や人間に対しての何らかの典型的な理想像を思い描きながら日常の生を営んでいる。そして、哲学の主要なテーマの一つが、その世界観や人間観についての考察であると考えるとき、ヨーロッパ近世という時代は、現代に生きる我々の出発点として非常に重要な意味をもつ。

この講義では、現代的人間観の転換点とされる、ルネサンス期と17世紀の時代背景と思想を考察する。そして、今の時代を生きる我々が無意識のうちに従っている、人間観・世界観の原型を明らかにすることで、自らのこれからのあるべき姿を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール 以下のテーマと順序に従い、様々な哲学者の言説やその背景を紹介しながら、それらの包含する意味を考えていく。

[前期]

- (1) ガイダンスと内容についての概説
- (2～3) 生きることと哲学
- (4～6) 時代の転換点としてのルネサンス期
- (7～9) ルネサンス的人間観の概観
- (10～12) モンテーニュの思想と背景 - フランスルネサンス -
- (13～15) F.ベーコンの思想と背景 - イギリスルネサンス -

[後期]

- (1～3) もう一つの転換点としての17世紀
- (4～6) 近代経験科学の発展と世界観・人間観の変化
- (7～9) 無限の宇宙観 - ライブニッツ・スピノザ -
- (10～12) 科学と新しい人間観 - デカルト・パスカル -
- (13～15) 人格概念を巡る諸問題 - ロック・ホップズ -

履修上の留意点 哲学や歴史についてのあらかじめの知識は必要としませんが、ともに考えていくことを望みます。

成績評価の方法 レポート（夏期、学年末）、および、平常点（出席）によって評価する。

参考書等 その都度紹介する。

履修コード	324302
科目名	政治学原論
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、および方法（1）

B 政治の原理的究明

（1）政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

（2）共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

（3）イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）（2～15）

C 政治の思想（史）的究明（15～18）

D 政治の実体論的究明

（1）制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

（2）機能論的究明

～政党、圧力団体（19～30）

講義の内容・
授業スケジュール

成績評価の方法

試験による単位認定

中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。なお試験は通常の授業時間を利用して実施します。欠試者に対しては、レポートを課します。

※追試験は実施しません。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

履修コード	322401
科目名	職業指導
担当者名	洪 <small>こう</small> 利志生 <small>としお</small>

講義のねらい

- ・職業指導と学校教育における進路指導についての考え方を確立する。
- ・生徒が自己の生き方を自覚し、自己の能力を発揮し、職業（進路）選択を決定できるように指導方法を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 職業指導の意義（1～15）
- ・職業と社会（1～5）
- ・職業指導の歴史（6，7）
- ・職業指導と職業教育（8，9）
- ・職業指導の定義（10～12）
- ・職業適性について（13～15）
- 学校教育における進路指導（16～30）
- ・進路指導の基本的な考え方（16，17）
- ・進路指導における情報資料（18）
- ・進路指導と学校組織（19～22）
- ・進路適正について（23，24）
- ・進路指導の計画と評価（25～30）

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席状況・課題提出・レポート提出等で、総合的に評価する。
プリント配布
授業中に適宜紹介

II 学校図書館司書教諭講座

※ 目次ページから、シラバス掲載ページを探してください。

Ⅲ 社会教育主事講座

履修コード	084401
科目名	社会教育計画
担当者名	萩原 健次郎

講義のねらい	社会教育・生涯学習のさまざまな学習場面で取り入れられている参加型学習・グループワークの手法を体験しながら、受講者自らが社会教育実践を企画・運営していく力を養いたい。
講義の内容・授業スケジュール	内容構成を以下のように考えている。 ①社会教育・生涯学習計画の内容と構造（1・2、13～21） ②社会教育実践の企画・立案力（22～29） ③社会教育実践のデザイン力（7～11、22～29） ④社会教育実践の運営力（22～29） ⑤参加型学習・グループワークの手法と実際（2～30）
履修上の留意点	本授業は年間を通して参加型学習で行われる。そのため、受講者の参加意欲が学習成果に反映されることを心にとめておいて欲しい。チームで作業することが多いため、チームメンバーとしての協力的な姿勢が求められる。結果として出席も重視される。
成績評価の方法	レポート、授業への参加度、出席状況などを総合して判断する。
教科書	廣瀬隆人、澤田実、林義樹、小野美津子『生涯学習支援のための参加型学習のすすめ方』（ぎょうせい）1,429円
その他	授業方法はグループワーク中心だが、必要に応じて講義も行う。

履修コード	084501
科目名	生涯学習概論I
担当者名	豊田 千代子

講義のねらい	この授業では、ユネスコやOECDなどの国際機関や日本における生涯教育・生涯学習について、理念や思想、歴史、制度、政策、子どもやおとなの発達を支える学習といったさまざまな点から検討し、それをおとて、今日求められている学校教育改革・社会教育改革の方向性について考えることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	（1）ガイダンス、生涯教育・生涯学習とは（2～4）生涯教育・生涯学習の国際的動向（5～8）日本における生涯学習政策の展開（9～11）生涯学習と学校計画（12～14）生涯学習と社会教育（15）まとめ
成績評価の方法	出席状況とレポートによる。
教科書	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。
参考書等	適宜紹介する。

履修コード	084601
科目名	生涯学習概論II
担当者名	豊田 千代子

講義のねらい	この授業では、学校教育と社会教育について、それぞれ理念、思想、歴史、制度等を検討し、これらの教育における今日的課題を整理するとともに、子どもや若者やおとなを対象とした学習活動に着目し、学習者の成長や発達につながる学習プロセスの組織化の方法等について考察することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	（1）ガイダンス、生涯学習時代における学校教育・社会教育（2～3）学校教育の歴史と理念、制度の変遷（4）学校教育をめぐる今日的課題（5）子どもの成長・発達を支える学校教育実践（6～8）社会教育とは、社会教育の歴史、法、施設、形態・方法（9）社会教育をめぐる今日的課題（10～14）子ども、若者、おとなの成長・発達を支える社会教育実践（15）まとめ
成績評価の方法	出席状況とレポートによる。
教科書	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。
参考書等	適宜紹介する。

履修コード	084701
科目名	社会教育実習
担当者名	豊田 千代子
講義のねらい	公民館、図書館などの社会教育施設や教育委員会での実習をとおして、社会教育についての理解を深めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	【前期】(1) ガイダンス、実習の目的と意義 (2) 実習の心がまえ (3) 社会教育の今日的動向 (4～14) 社会教育実践事例の検討 (15) 実習に向けての総括 【後期】(16) 実習報告の方法等について (17～28) 実習報告とディスカッション (29) 実習からみる社会教育の現在 (30) まとめ
成績評価の方法	実習ノート、実習報告、授業への参加度による。
教科書	教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。
参考書等	適宜紹介する。

履修コード	084801
科目名	社会教育実習
担当者名	萩原 建次郎
講義のねらい	社会教育・生涯学習関連施設や教育委員会での実習をとおして、社会教育の実践に触れるとともに、社会教育への理解を深めることを目的としている。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前指導として、社会教育実践の事例を調べて具体的イメージをつかみつつ、実習の意義や心がまえの理解を目的としたい。(1～5) ・社会教育実践の手法を体験する機会を設ける。(6～12) ・実習中には個別訪問指導をおこなう予定である。 ・実習から戻ってきた学生から随時、実習報告会を行う(13～16) ・実習の事後指導として実習ノートと体験レポートをもちより、お互いの体験を共有し、深め合う場をつくりたい。その中から「社会教育職員の役割や専門性」「学習課題」「学習者理解」などテーマを抽出して、社会教育への理解を深めていきたいと考えている。(17～19) ・実習後に、受講生中心で研究レポート集づくりを行う。(20～30)
成績評価の方法	実習ノートの作成提出、実習報告内容、研究レポート、授業への参加度などを総合して判断する。
教科書	教科書・参考書はそのつど提示する。
参考書等	教科書・参考書はそのつど提示する。

履修コード	086301
科目名	社会教育行政
担当者名	荒井 隆

講義のねらい 社会教育行政現場で長く経験を積んできた立場からの講義により、実践的な社会教育の見方の習得を目指します。さまざまな社会の動きと絡めて社会教育の諸側面を行政の立場からとらえ、多角的に解説していきます。理論的な課題とともに体験に基づくリアリティある話を織り交ぜ、社会教育行政に関する認識を深めます。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 私の社会教育行政の体験談（4月）
 - 2 社会教育行政の法体系と仕組み（4～5月）
 - 3 地方ごとの社会教育行政の多様性（6～10月）
 - 4 社会教育主事の職務（11月）
 - 5 最近の社会教育行政の動向（12月）

履修上の留意点 社会教育は実践の世界ですから、この授業は社会教育の実践的な見方を習得するよい機会となります。授業では、社会教育行政の実態にふれる場面をつくります。プレゼンテーションを通じて社会とのかかわりをもつチャンスとなりますので、就職を考えるきっかけにもなると思います。

成績評価の方法 出席と授業態度及び試験内容などをもとに総合的に評価します。

教科書 特に使用しません。

参考書等 講義に関係する参考書を随時紹介します。

その他 アットホームな雰囲気をもとに心が通いあう授業にしていきます。

履修コード	085901
科目名	社会教育施設
担当者名	萩原 建次郎

講義のねらい 社会教育・生涯学習関連施設の歴史と理念をひも解きながら、現在多様に展開している社会教育関連施設の現状やそこでの取り組みを理解し、課題と展望を考察していく。また、具体的な地域性と結びついて各種施設がどのような機能や役割を果たしているのか、フィールドワークを通じて学ぶ機会を設ける。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- ①社会教育・生涯学習関連施設の種類と概要（1～5）
 - ②社会教育・生涯学習関連施設の現代的状況と課題（6～10）
 - ③公民館の理念と歴史・仕組み（10～13）
 - ④公民館の実践事例から学ぶ（14～20）
 - ⑤社会教育・生涯学習関連施設の新たな取り組み（21～25）
 - ⑥地域に根ざす社会教育・生涯学習施設の実際（26～30）

成績評価の方法 平常点、レポートにより評価する。

教科書 そのつど紹介する。

参考書等 そのつど紹介する。

履修コード	086401
科目名	成人学習論
担当者名	荒井 隆

講義のねらい 生涯学習時代といわれる今日、私たちは成人学習の具体的な姿を身近に見られるようになりました。講義では成人学習の理論的な面と学習の実態にふれ、皆さんが実感を伴って成人学習を理解できるようにサポートします。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 子どもの学習と比較した成人の学習（4月）
 - 2 多様な成人の学習機会（5～9月）
 - 3 成人の学習事例（1）～自分史（10月）
 - 4 成人の学習事例（2）～文字を獲得する学習／識字（11月）
 - 5 成人の学習のあり方（12月）

履修上の留意点 実践に基づく授業です。本からの理解と若干異なり、成人学習の現実から学ぶ方法を重視します。学校教育とは趣きの異なる大人の学習の世界を知ることは、自らの生涯学習を考える糸口ともなり、今後の人生にも役立ちます。

成績評価の方法 出席と授業態度及び試験内容などをもとに総合的に評価します。

教科書 特に使用しません。

参考書等 講義に関連する参考書を随時紹介します。

その他 卒業後に生きて働く力を身につけることを目指します。

履修コード	082511
科目名	ジェンダーと教育I
担当者名	<small>たかい ようこ</small> 高井 葉子

講義のねらい 本コースは、社会教育主事の資格取得を目指す学生を対象に、広く教育に関する問題をジェンダーという観点から学ぶコースである。前期の授業では、「貧困」、「開発」、「ジェンダー」を中心テーマとし、広く国内外の課題と取り組みの現状について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、上記の3つのテーマを細分化し学生自らが与えられたトピックについて調べたことを発表する形で進められる。
 第1週～第3週：「貧困」の現状と取り組み；女性と貧困
 第4週～第7週：「人間開発」；女性と教育
 第8週～第11週：日本における貧困問題；具体的な事例から。
 第12週～第14週：国内外における援助の現状
 第15週 まとめ

成績評価の方法 成績評価は、出席状況、発表、レポートによって行います。試験は行いません。

教科書 使用しません。必要に応じて授業で指示します。

履修コード	082521
科目名	ジェンダーと教育II
担当者名	<small>たかい ようこ</small> 高井 葉子

講義のねらい 本コースでは、社会教育主事の資格取得を目指す学生を対象に、広く「子ども」、「家族」、「学校」に関する問題を取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、上記3つのテーマを細分化し学生自らが与えられたトピックについて発表する形式で進められる。
 第1週～第3週：「子ども」をとりまく現代的課題と取り組みの現状。
 第4週～第8週：「家族」をとりまく諸現象、諸問題。
 第9週～第12週：「学校」をとりまく諸問題と取り組みの現状。
 第13週～第15週：「性」をめぐる諸問題と取り組みの動向。

成績評価の方法 成績評価は、出席状況、発表、レポートに基づいて行う。

教科書 使用しません。必要に応じて授業で指示します。

履修コード	086701
科目名	職業教育I
担当者名	<small>しおかわ まさと</small> 塩川 正人

講義のねらい	<p>本授業の目的は「就職に役立つ授業」この一点で取り組みます。 日本経済は、未曾有の金融危機、そして皆さんの就職の危機です。 皆さんの素晴らしい学生生活も、就職に失敗したら「道」を見失います。 就職を成功するノウハウは「自己の確立」です。エントリーシートも志望動機も面接も「あなたはどんな人ですか」を厳しく求めてきます。 職業教育は、教員・公務員・民間企業など、どの道を選ぶにも必須の「就職スキル」を、対話、グループ討議、自己分析、職業選択、書類作成、面接訓練などで体得します。 講師は就職コンサルタント。ゆえに人事・採用責任者の立場から、実践そのままの就職スキルを学生諸君に伝えます。</p>
講義の内容・ 授業スケジュール	<p>以下の内容を、対話を重視して取り組みます。 就活スキルは、学生生活を充実するスキルです。 学年を問わず、自己の未来開発として授業を展開します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 就職への準備とは何をすることか（第1週） 2 部活やアルバイトを就活でどう生かすか（第2週） 3 自己分析とは何か（第3週） 4 自己分析実習と討議（第4、5週） 5 職業選択のポイント①（第6週） 6 職種研究のポイント①（第7週） 7 キャリアプランの立て方と討議（第8、9週） 8 キャリアプランの作成と討議（第10、11週） 9 キャリアプランの発表と討議（第12、13週） 10 前期の全体まとめ（第14、15週）
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1 就職準備をするための資料の配布が多いです。資料を保存するバインダーを準備してください。 2 授業は話し合いやグループワーク、意見発表などがあります。自分の意見を発表する訓練の場として参加してください。
成績評価の方法	授業と課題研究への参加度を通して、総合的に評価します。

履修コード	086801
科目名	職業教育II
担当者名	<small>しおかわ まさと</small> 塩川 正人

講義のねらい	<p>本授業の目的は前期に続いて「就職に役立つ授業」を継続して取り組みます。 後期の特色は、就活に使う資料の作成です。 前期に作成したキャリアプランを、自己形成のストーリーとして、さらに発展させます。 個人別の就活カウンセリングも希望者に実施します。 授業内容は、各種作成資料が、すべて就活にそのまま役立つ展開として発展します。 2年生が受講する場合は、1年早い就活の模擬体験となります。</p>
講義の内容・ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 就職準備の本番へ、就活作戦の概要（第1週） 2 職業選択のポイント②（第2週） 3 職種選択のポイント②（第3週） 4 エントリーシートの研究（第4週） 5 エントリーシートを生かす自己紹介書とは（第5週） 6 自己紹介書の作成実習と個別添削（第6週～8週） 7 エントリーシートの作成実習と添削（第9・10週） 8 自己アピールの仕方と演習（第11、12週） 9 面接訓練（第13、14週） 10 全体のまとめ（第15週）
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1 後期は個別相談が多くなります。3限前の昼食時間を予定しています。 2 資料作成にパソコンは必須です。パワーポイントの練習をしておくことをお勧めします。
成績評価の方法	授業と課題研究への参加度を通して、総合的に評価します。

履修コード	086501
科目名	社会体育I
担当者名	吉田 実生

講義の内容・授業スケジュール 横になる、座る、立つ、歩く、等の動きを通して、今、自分に起きている（生まれている）感覚に注意を向けて行きます。そして、そこからどんな可能性がひらかれるかを体験して行きます。

履修上の留意点 実習が主となりますので、からだをしめつけない楽な服装で出席して下さい。

成績評価の方法 出席日数及びレポート

履修コード	086601
科目名	社会体育II
担当者名	吉田 実生

講義の内容・授業スケジュール 横になる、座る、立つ、歩く、等の動きを通して、今、自分に起きている（生まれている）感覚に注意を向けて行きます。そして、そこからどんな可能性がひらかれるかを、体験して行きます。

履修上の留意点 実習が主となりますので、からだをしめつけない楽な服装で出席して下さい。

成績評価の方法 出席日数及びレポート

履修コード	058332
科目名	社会心理学A
担当者名	坪井 健

講義のねらい この授業は、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この社会心理学A（前期）では、対人関係、集団的影響などの具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて、身近な日常テーマの役立つ授業を展開したいと考えている。

- 講義の内容・授業スケジュール
1. はじめに ー講義の方針と受講の仕方ー
 2. 対人認知と印象形成 ー未知の人をどう認知するかー
 3. 対人関係と自己開示 ーオタクと日本人の自己開示ー
 4. 日本人の対人関係戦略 ー安心社会から信頼社会へー
 5. 自信の社会心理学 ーあなたは自分に自信がありますかー
 6. 対人関係と対人魅力 ー対人魅力の条件とは何かー
 7. 恋愛の社会心理学 ー恋愛と友情に違うのかー
 8. 援助行動抑制要因の研究 ー何故、人は見て見ぬふりをするのかー
 9. 社会的手抜きと社会的促進の研究 ーみんなと一緒に食事はずむー
 10. 同調行動と集団的意志決定 ー集団の意志決定とその危険性ー
 11. カウラ事件とその社会心理学的考察 ー集団脱走はなぜ起こったかー
 12. 同調行動と頻度依存行動 ーいじめの心理ー

履修上の留意点 ビデオ視聴が追加されるので、上記予定は変更する場合がある。授業では資料を配布する。興味を持ったテーマは、紹介文献を参考に各自の関心を深めてもらいたい。リアクションペーパーを配布するので、しっかり記入すること。

成績評価の方法 平常点（出席＋リアクションペーパーの内容＋参加度）50%、課題レポート50%

教科書 授業中、プリントを配布する。

参考書等 その都度指示する。

履修コード	086101
科目名	青少年文化
担当者名	古関 すま子

講義のねらい	体を動かそう。お腹から声を出そう。心と体の扉を開き深い感情を表現しよう。 現代の青少年の状況として、体を通したコミュニケーションのなさ、孤独の問題がクローズアップされている。本講義では「身体的無意識の集会的カタルシス」という演劇・舞踊の意味を理論と実践の両面からとらえていきます。
講義の内容・ 授業スケジュール	以下の内容を一年にわたって行う。 学問的基盤- 1) 言語獲得の様相など人間の根源的社会性に関する発達心理学の基礎に触れる。2) 大脳生理学や神経科学の基礎に触れ、意識的作用と無意識的作用の仕組みを捉える。3) 世界の舞踊や演劇に触れ「身体記憶を通し、集会的無意識のカタルシスに向かう」という舞台芸術のダイナミズムを捉え、教育の場におけるその意味を把握する。 具体的実践- ●シェークスピアなどの古典演劇、現代演劇からベケット、及び日本の現代作家など幾つかの戯曲を学ぶ。グループごとにそれらの研究と上演に取り組む。 ●ビデオ鑑賞などを行い鑑賞眼を養う。 ●身体感覚や表現力を高めるための、腹式呼吸・マチエール・摺り足歩行など5段階からなるレッスンを体験する。
履修上の留意点	動ける服装で。積極的に楽しんでください。
成績評価の方法	出席日数。授業中の発表・レポート・実技の三つの総合点。
教科書	授業中に指示するが多くはプリント。
参考書等	授業中に指示するが多くはプリント。

履修コード	082901
科目名	現代社会の諸問題と教育I
担当者名	鈴木 ともみ 鈴木 朋実

講義のねらい	現代社会の諸問題のなかでも、子どもの発達基盤として重要な意味をもつ家族について、今日の諸問題を取り上げ、教育の観点から、その実態、背景、原因を解明し、有効な問題解決の方策をさぐることをねらいとしています。社会性の発達の遅れなど子どもの発達をめぐる問題、不登校・いじめ・校内暴力など学校における問題、その他の非行問題が社会的に憂慮されていますが、その背景には少子高齢化とともに大きく変容しつつある現代家族の在り方をめぐる問題があります。この点を十分に理解し、こうした問題にどのように対応すればよいかを考察するところに講義のポイントをおいています。
講義の内容・ 授業スケジュール	講義は、次の4セクションに分けて行う予定です。 第1セクション：「家族集団と子どもの発達」(第1～4回) 第2セクション：「産業の発展にともなう家族の変容と教育機能の衰退」(第5～8回) 第3セクション：「現代の家族をめぐる問題の諸相と人間形成」(第9～12) 第4セクション：グループによるプレゼンテーション(第13～15回)
履修上の留意点	新聞などで取り上げられている家族問題への関心を持つことが望まれます。
成績評価の方法	授業への積極性を重視した上で、出席状況・プレゼンテーション・試験により、総合的に評価します。
教科書	プリントを配布します。
参考書等	授業中に紹介します。
その他の	授業方法はディスカッションを中心に構成しています。また、7月には、グループごとにテーマを設定し、プレゼンテーションを行なっていただきます。

履修コード	006702
科目名	青少年指導演習
担当者名	にしむら ひろこ 西村 寛子

講義のねらい 青少年への理解とその指導について、体験を通して実習を柱に学んでいく。その基となる基礎的な知識、学習と共に、人間関係の基となるコミュニケーションスキルが身に備わるよう、実習を通し取り組んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 《前期》
1. 体験を通して学ぶ意味について
 2. 青少年へのかかわり、指導とは－自らの体とところをほぐし、関わり易い環境づくりの実習
 3. 実習を通して、自己理解を促進し指導・援助の基礎を学ぶ
 4. 青少年期を発達のに概観して学ぶ。
- 《後期》
5. 話を聴く意味と実習
 6. カウンセリングマインドを学ぶ－積極的関心や共感等について
 7. 「私」のものがたりを理解していく
 8. 事例を通して学ぶ－不登校、いじめ、反社会的行動等
 9. まとめ

履修上の留意点

演習、実習を多く取り入れていく参加型の授業であるので、参加していく気持ちが重要である。毎回質問や感想を〔メモ用紙に〕記入提出してもらい、相互的な授業を行っていく。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席状況、夏休み前、期末の年2回のレポート。
必要な資料はプリントで配布する。
河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）
河合隼雄『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）
河合隼雄『昔話の深層』（福音館書店）
山下一夫『カウンセリングの知と心』（日本評論社）

履修コード	056701
科目名	博物館学I（概論）
担当者名	おおた きみこ 太田 喜美子

講義のねらい 博物館学講座（学芸員課程）の必修科目である。
この講義では、「博物館法」をテキストにして、博物館の意義・歴史、学芸員の仕事等を理解してもらいながら、学芸員をめざす心構えをかためていく。

講義の内容・授業スケジュール

「博物館法」の流れに沿って、博物館の課題、学芸員の存在意義などの問題についても考えていく。

履修上の留意点

この「博物館学I」は、年度初めの第1週の授業で、駒澤大学にあって、学芸員資格を取得する手続きと方法について、細かく説明するので、必ず出席すること。途中で（2回や3回目）出席して、手続きその他質問に来ても、第1回目の教室で説明したことを、欠席者に特に丁寧に説明することはしないので注意しておいてもらいたい。

この授業は前期2単位の授業であるから、後期には無いはずであるが、実は後期になっても、数回教室に出席してもらおうことにしている。したがって、水曜日3限目の後期については、「履修届」に書きこまないこととお勧めしたい。けれども、学科の必修科目にぶつかってしまうこともあるだろう。そういう方は、相談に来てほしい。

成績評価の方法

試験による評価（詳細は、第1回目に説明する。）・授業態度

履修コード	056801
科目名	博物館学II (資料論)
担当者名	岸上 興一郎 <small>きしがみ こういちろう</small>

講義のねらい
講義の内容
授業スケジュール

博物館で扱う資料とは何であるのかを問う。
(1～2) 資料論の位置づけ、博物館の生い立ち (3～9) 博物館法でいう資料とは、ユネスコの勧告、希少動植物の保護、文化財保護法 (10) 公開承認施設に関する規定 (11) 文化財を支える用具・原材料の確保について (12～15) 博物館資料の分類、博物館資料の修復と遺跡復元事例、博物館の展示室・収蔵庫における保存環境について

履修上の留意点

資料のもつ基礎情報を学芸員として熟知し、いかに展示空間に動と静の知的世界を構築するかを考えること。

成績評価の方法
教科書

提出を求める課題と出席状況などを基本に評価します。

(財) 日本博物館協会編『博物館関係法令集』

必要に応じて関係資料を作成し配布する。

参考書等

各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』

(財) 日本博物館協会編 月刊「博物館研究」

IV 博 物 館 学 講 座

履修コード	056901
科目名	博物館学Ⅲ（経営論・情報論）
担当者名	岸上 興一郎 <small>きしがみ こういちろう</small>

講義のねらい	博物館は学芸職と事務職によって構成されている。その経営にあたっては、各個人の暗黙知、つまり各個人のもっている情報・知識の豊かさが結果を左右する。さらにはそれを言語化・明示化して組織内で共有し、有効活用することを形式知化という。ここを講義のポイントとする。この理論は博物館経営をより発展させる重要な鍵でもある。学芸員の経営関与を問う。
講義の内容・ 授業スケジュール	（1～2）博物館経営と学芸員、博物館経営に観る「大学メンバーシップ」と利用料金（3～6） 経営論の基礎一ひと一、経営論の基礎—管理運営計画の策定一、指定管理者制度、予算の構成（7～12）博物館における情報の基礎、公開情報と非公開情報、マルチメディア、著作権法、情報機器の取扱と倫理、博物館資料のデータベース化（13～15）報道機関の情報、イコム職業倫理規定
履修上の留意点	予算の仕組みおよび博物館資料のもつ情報と、そのあつちかいを理解すること。
成績評価の方法	提出を求める課題と出席状況などを基本に評価します。
教科書	（財）日本博物館協会編『博物館関係法令集』
参考書等	必要に応じて関係資料を作成し配布する。 各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』 （財）日本博物館協会編 月刊「博物館研究」

履修コード	057001
科目名	博物館実習Ⅰ（館務）
担当者名	太田 喜美子・設楽 博己・湯浅 隆 <small>おおた きみこ しつら ひろみ 湯あさ たかし</small>

講義の内容・ 授業スケジュール	前期…実習館決定・事前学内実習（軸物・写真・展示準備） 後期…実習報告・展示準備
履修上の留意点	この授業は4月第1週から、最終講義まで、1回でも欠席・遅刻・早退すると、単位が取得不可能なので注意してほしい。 この講義時間に出るということは、君が企画責任者である特別展の開幕日開幕時に君がきちんと会場にいるかどうかということと同じに考えなさい、ということである。 毎週の授業の他に、主として、夏期休暇中に、一つの博物館で、学芸員実習を行う。この実習は、他の大学の実習生といっしょに行うため、他流試合的な趣きももっているため、日頃の授業時と同じように、絶対に遅刻・欠席してはいけない。一度、そういうことをすれば「駒大には遅刻した学生がいる」と、10年ぐらいいは言われ続けるので、注意してほしい。また、多くの実習博物館に本学出身の学芸員の方がいらっしゃるため、その先輩に迷惑をおかけすることにもなる。実習は夏期に行う館が80%を占めるが、別の時期に行う館もあるので、夏休みに海外短期留学などする方も相談に来てほしい。 この科目は、本学の博物館講座の締切りになる実習なので、特に心を引き締めて履修していただきたい。「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」・「博物館実習Ⅲ（見学）」に先だって、この科目を履修することはできない。つまり、この「博物館実習Ⅰ（館務）」を3年生次に履修して、「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」あるいは「博物館実習Ⅲ（見学）」を4年生次に履修してはいけない、ということである。履修にあたっての細かい事柄は、その都度、教室で話をする。後期には実習した館の実習内容につき報告会をするので、きちんとまとめることを忘れぬよう。 授業態度・実習評価・発表能力による評価。
成績評価の方法	

履修コード	057101
科目名	博物館実習Ⅱ（収集）
担当者名	太田 喜美子・瀧音 能之・國見 徹・久保田 昌希・熊本 史雄・佐々木 真・中野 達哉

講義のねらい 博物館活動の主たる3本柱のうちの「博物館資料の収集」の方法の勉強をする。博物館学芸員は、学芸員の個性を活かさなければならぬ面と、個性を殺さなければならぬ面がある。「博物館実習Ⅱ（収集）」では、一つの博物館が何年あるいは何十年にもわたって資料を収集し続けていても、恰かも、常に一人の人が収集してきたかともみえるような統一性が必要である。また、一つの展示をするにしても、その企画に参画する数人のスタッフの成果は、バラバラであってはならないのである。

その意味では、この「博物館実習Ⅱ（収集）」はあまりに個性豊かな人・あるいは協調性の乏しい人には、かなりきついようである。この実習は、必ず合宿して実施しているので、共同生活を知らうとする意欲の有無がかなり影響をもっているらしい。

講義の内容・授業スケジュール

・実習前
実習先決定・各担当教員の専門分野別収集方法の講義。
実習地における資料や歴史などの事前学習など。

・実習後
収集資料の整理・原稿作成・年報への記載
・実習は、9月末～10月末の間で、6泊7日実施予定

- この実習で、今年度予定しているのは、
1. 長野県北佐久郡望月町での近世文書調査と石仏収集調査実習。
 2. 同上町での石仏収集調査実習。
 3. 長野県飯田市周辺での石仏調査。

履修上の留意点

年度第1回目の授業に必ず出席のこと。
本学で学芸員資格を取るための実習は、「Ⅰ（館務）」・「Ⅱ（収集）」・「Ⅲ（見学）」の3つが必修であるが、「Ⅱ（収集）」の代わりに、「考古発掘実習」を履修しても、学芸員課程の「実習Ⅱ（収集）」に読みかえることができる。ただし、発掘は、真夏の炎天下で1か月間参加することが必要なので、この科目を必修とする、考古学専攻生以外の方には勧められない。

成績評価の方法

授業態度・実習評価

履修コード	057201
科目名	博物館実習Ⅲ（見学）
担当者名	太田 喜美子・酒井 清治・松本 信道

講義のねらい 本学での博物館実習は、2年次に行うこの実習と、3・4年次で行う、「Ⅰ（館務）」と「Ⅱ（収集）」の3つが規定されている。

つまり、この実習は、君がこの課程で、初めて行なう、学外での実習ということになる。都内あるいは周辺の博物館で見学をするのであるが、基本的には、見学館は10館。見学の度にリポートを提出する。そのリポートを添削して、原稿用紙の使い方から、字数のまとめ方等、かなり、しっかりと、指導することになっている。

履修の方法は、なんといっても、学外の博物館見学であるから、当然、1コマ90分内では無理である。そのため、履修にあたっては、学生の都合を充分、考へに入れたうえで、できるかぎり柔軟に対応して、あぶれてしまう人がでないように留意するつもりである。そのために、相談しなければならないことがあるので、年度第1週には必ず出席してほしい。学生の都合を汲んでA～Dの4組ぐらいに分けて、異なる見学方法をとることになることと、今年度は、履修希望者が非常に多くなると予測されるので、第1週に、出席した人数で組分けしてしまう。結果的に、第1週に欠席すると、はみ出してしまうことになる。

講義の内容・授業スケジュール

A～Dの4組の場合
全組共通自由見学2回終了後
A・B組は、前期中の日曜日に4回、教員引率のもと団体見学を行なう。
その後、自由見学を4回行ない、計10館の見学をする。
C・D組は、後期の水曜日に4回、教員引率のもと団体見学を行なう。
その後、自由見学を4回行ない、計10館の見学をする。

履修上の留意点

この授業は、水曜日の3・4限を通して行うことになるのだが、3限目あるいは5限目に学科の必修科目とぶつかってしまうこともある。そのような問題をもつ人は、必ず、第1週に出席してほしい。第1週の授業終了後に、個人的に相談に来て、もう、対応不能なので、その場合は、翌年履修する以外に方法が無い。

成績評価の方法

リポート点による評価

履修コード	003802
科目名	インド仏教文化史
担当者名	金沢 篤 <small>あつし</small>

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。
神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰
頹にまつわる文化的トピックを論究する。
◎インド仏教文化史とは？（1～3） 日本人、日本文化と仏教
◎文化的側面より見たインド仏教とその展開（4～8） 他宗教と仏教の比較の視点から
◎仏教の起源と仏教出現の背景（8～15） 仏教哲学の成立 ヒンドゥー教と仏教 仏教の独自性
◎仏教の変容と展開（16～22） 哲学から宗教へ 仏教哲学の革新と宗教理論の確立
◎インド仏教文化史・むすび（23～）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。
年度末試験などで総合的に判断する。
渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円
教場で適宜紹介する。

履修コード	003902
科目名	中国仏教文化史
担当者名	永井 政之 <small>まさし</small>

講義のねらい

中国における仏教の展開を論ずることは決してやさしいことではありません。今に残る膨大な資
料によって語られる綿密な思想構築の世界がある一方、資料に残らない、つまり資料を残し得ない
ような人々によって受容され支持された仏教の世界もあったからです。その双方がともに「中国仏
教」であることは言うをまちません。むしろその双方を複眼的に見てはじめて中国仏教の実像が理
解できると、私は考えています。中国仏教に関わるさまざまな材料、時には取るに足らないように
見えるものでも対象にし、それらを積み上げてみましょう。私達が考える以上に「立体的」な中国
仏教の世界が見えてくるように思います。

講義の内容・
授業スケジュール

そんな問題意識の下で研究を続けていますが、今年は中国の人たちの「信仰の世界」のいくつか
を講義してみたいと思います。ハタから見れば首をかじげざるを得ないような「信仰」でも、それ
が大きな方となって、時には国を動かすことすらあったというのが、中国仏教の一面の歴史です。
たとえ荒唐無稽であっても、人々はそれらの信仰を通して、宗教—ここでは仏教や禅の立場のある
部分—に触れていきました。結局、現場における素朴な信仰と緻密に構成された教理教学が相互に
影響し補完しつつ中国仏教が成り立っているように思います。受講した諸君は、本授業を通してオー
ソドックスな教理教学だけではない、「仏教」の奥行きを深さを理解してくれるのではないかと考
えています。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

（1～3）本授業の目指すところを基本的なガイダンスとして講じます。（4～30）いくつかの「信
仰」を取り上げつつ、その実態を考えます。最初に取り上げるのは『金剛経』をめぐる信仰です。
ついで仏菩薩や歴史に生きた個人を取り上げます。

資料を沢山配布しますので、専用ノート、あるいはファイルを用意して下さい。

レポート、出席、期末試験を総合して評価します。

特に教科書として使用するものではありません。必要な資料は授業中にコピーを配布します。

永井政之『中国禅宗教団と民衆』内山書店、2000年

履修コード	004002
科目名	日本仏教文化史
担当者名	<small>はかみや かりあき</small> 袴谷 憲昭

講義のねらい 仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てで示せば、次のとおりである。

講義の内容・授業スケジュール (1) 仏教伝来以前の文化、(2) 文化構造の解釈、(3) 日本古来の文化、(4) 中国朝鮮の影響下の仏教文化、(5) 呉音漢音と文化、(6) 美術中の仏教観、(7) 自利利他の問題、(8) 太子信仰の背景、(9) 南部の学問仏教と民衆の文化、(10) 大仏建立の理念、(11) 学問仏教の実際、(12) 勧進聖と修験道、(13) 仏教と神祇信仰、(14) 日本独自の文化形成と仏教観、(15) 大乘戒壇の設立、(16) 一乗三乗の論争、(17) 密教と祈祷仏教、(18) 本覚思想の定着、(19) 中世の仏教信仰の確立と変容、(20) 浄土信仰の諸相、(21) 法華信仰の諸相、(22) 禅宗と五山文学、(23) 神仏習合の諸相、(24) 近世と近代の社会文化と仏教、(25) 鉄砲と吉利支丹、(26) 幕府の宗教政策、(27) 江戸文化と仏教、(28) 維新と廃仏毀釈、(29) 近代より現代へ、(30) 戦後と民主主義 以上を講義のかたわら、『妙貞問答』を講読する。

履修上の留意点 講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法 学年末の定期試験によって評価する。
教科書 袴谷憲昭著『日本仏教文化史』(大蔵出版)2005年
参考書等 袴谷憲昭著『仏教入門』(大蔵出版)2004年
その他 必要講読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。

履修コード	006102
科目名	禅美術
担当者名	<small>むらまつ てつふみ</small> 村松 哲文

講義のねらい 禅宗では、はじめ偶像を崇拝せず、自己の内面に仏性を悟ることを旨としていた。そのため仏像や仏画などが制作されることはなかったが、宋代になると僧侶たちが余暇に水墨画を描くようになり、これが宮廷の庇護を受けるなどして職業画家まで出現するようになる。描かれた題材は、山水・花鳥・祖師などで、これらを総称して禅絵画という。日本では、留学僧によって鎌倉時代に禅絵画が伝わり、ついには日本独自の水墨画を完成させた。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、絵画を中心に話を進めるが、彫刻や墨蹟、庭園などについても触れてゆきたい。そして、作品に見え隠れする制作者の宗教性と美意識を考察したい。

講義ガイダンスと宋代の社会と仏教(1~3)、北宋の絵画(4~7)、南宋の絵画(8~11)、元の絵画(12~15)、鎌倉時代の絵画(16~19)、室町時代の絵画(20~23)、枯山水の庭園(24~25)、頂相彫刻(26~28)、禅宗の建築と美意識(29~30)

履修上の留意点 講義内容を留めるのみならず、講義の際に映スライドなどもしっかり観察すること。また美術館・博物館に行き、実物を観察する機会を多くつくること。

成績評価の方法 定期試験、出席率、レポートなどで総合的に評価する。
教科書 プリントを配布する。
参考書等 参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

履修コード	006202
科目名	仏教美術
担当者名	村松 哲文

講義のねらい	日本の仏教美術について、歴史的な背景と照らし合わせながら概観する。一つのモチーフが時代によって変化してゆく過程を考察し、仏像・仏画の基本的な鑑賞法を身につけてもらいたい。 また本講義では、美術作品から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。なおインド・中国・朝鮮半島の仏教美術については「総合I(3) 仏教と芸術」で講義する。
講義の内容・授業スケジュール	〔前期〕 仏教美術の世界(1)、飛鳥時代の仏像(2~7)、白鳳時代の仏像(8~10)、天平時代の仏像(11~15) 〔後期〕 平安時代の仏像(16~20)、鎌倉時代の仏像(21~25)、仏教美術の荘厳(26~30) 以上は予定で、適時仏教美術関係の展覧会について解説を予定している。
履修上の留意点	美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。
成績評価の方法	定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。
教科書	プリントを配布する。
参考書等	参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

履修コード	006302
科目名	仏教民俗学
担当者名	佐藤 憲昭

講義のねらい	わが国で見られる釈尊降誕会は、それ以前から存していた「春山入り」の行事と習合して、民衆のあいだに広く定着したといわれている。この例から知られるように、仏教が日本に定着するに際しては、仏教と民俗とが習合している点を見逃してはならない。この講座では、仏教文化には教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあり、生活場面においては両者が提携し、複合化しているという事実を踏まえて、民俗仏教の意味と役割について考えてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	次のテーマのもとに具体的に考察する。 1. 仏教と民俗(1~2)、2. 教義仏教と民俗仏教(3~4)、3. 仏教民俗学の視点と方法(5~6)、4. 仏教とアニミズム(7~8)、5. 「仏」と「ホトケ」と「ほどけ」(9~10)、6. 供養(11~12)、7. 葬祭(13~14)、8. 祈祷(15~16)、9. 釈尊降誕会(17)、10. 涅槃会(18)、11. 修二会(19)、12. 彼岸会(20)、13. 盂蘭盆会(21)、14. 点眼式(22)、15. 教義仏教と民俗仏教とを媒介する僧侶(23)、16. 僧侶と巫師の相互補完関係(24~25)、17. 総括(26)。
履修上の留意点	ときどき出席をとるので、欠席をする場合(または欠席をした場合)には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。
成績評価の方法	学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。不合格の場合には、出席点とレポート点(4年生のみ該当)を加算して最終評価を行う。4年生のみ提出のレポートは、次の通りである。〔課題〕仏教民俗学に関する論文または書物を読み、その感想文を作成する。〔字数〕2000字。〔提出先と時期〕12月までの授業時に随時受けつける。〔その他〕ワープロ作成可。ただし、授業時以外は受理しない。4年生は必ず提出のこと。
教科書	佐々木宏幹『仏力ー生活仏教のダイナミズムー』春秋社。
参考書等	授業中に適宜紹介する。

履修コード	017103
科目名	日本民俗学
担当者名	谷口 貢
講義のねらい	日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。
講義の内容・授業スケジュール	(1～2) 民俗学とは (3～5) 民俗学の流れと現在 (6～7) 家族生活と住まい (8～10) 食をめぐる民俗 (11～12) 村と町の成立 (13～15) 若者と一人前 (16～18) 婚姻と出産・子育ての民俗 (19～21) 女性・子ども・老人の民俗 (22～24) 葬送儀礼と先祖祭祀 (25～27) 里と海・山のなりわい (28～29) 祭りと年中行事 (30) 民俗宗教の諸相
履修上の留意点 成績評価の方法	夏期レポート及び小レポートを実施する予定。 学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。
教科書	谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ—』2006年刊(八千代出版) 2,100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

履修コード	017803
科目名	美術史概説
担当者名	北野 良枝
講義のねらい	日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。
講義の内容・授業スケジュール	前期 平安時代から室町時代の絵画 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識 (3)～(5) 仏教絵画 (6)～(8) 絵巻物 (9)～(10) 肖像画 (11)～(15) 室町時代の水墨画 後期 室町末から江戸時代の絵画 (16)～(20) 狩野派 (21)～(24) 琳派 (25)～(26) 浮世絵 (27)～(28) 南蘋派と洋風画 (29)～(30) 江戸から明治へ
履修上の留意点 成績評価の方法	授業中の私語は厳禁。 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	028602
科目名	現代美術
担当者名	矢野 陽子
講義のねらい	この授業では20世紀の美術を「現代美術」として取り上げます。20世紀初頭から次々と展開された大胆で革新的な試みは、従来の美術、すなわち外界の再現を目的とした絵画や人体を主たる題材とした彫刻とは大きく異なる作品を生みだしてきました。20世紀の主要な美術運動、芸術家とその作品を見て理解しながら、美術が技術革新やマスメディアの発達、大量消費型の生活といった同時代の様相とどのように関わっているのかも考察していきます。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス (2～5) 19世紀後半の美術 (6～9) 世紀転換期の美術 (10～14) フォーヴィスムとキュビスム (15～18) ダダからシュルレアリスムへ (19～21) 抽象主義 (22～23) バウハウスなど (24～26) 抽象表現主義からポップ・アートへ (27～30) 戦後の様々な動向
履修上の留意点	美術館や展覧会に行ったり、画集など見るなどして、現代美術に積極的に触れるように心がけてください。
成績評価の方法	夏休みの課題レポートと学年末の筆記試験、出席率、授業態度を合わせて評価します。
教科書 参考書等	講義時にプリントを配布します。 美術出版社編『現代美術入門』(美術出版社) 2,000円 そのほか授業中適宜紹介します。
その他	授業は毎回、画像を見ながら進めます。

履修コード	039902
科目名	地形学
担当者名	平井 幸弘 <small>ひらい ゆきひろ</small>

講義のねらい 私たちが今生きている社会において、ある「地域」を理解し、そこでの様々な開発や環境問題、あるいは災害などを的確に理解し、さらに適切な対応策を講じるためには、その場所がもっている自然的諸条件の特質を明らかにしておくことが、まず重要である。この講義では、そのような自然的諸条件のなかで、「地域」の場の条件となっている様々な地形について、地形発達史的側面（おもに前期）と地形環境誌的な側面（主に後期）の両方から理解し、様々な環境問題について学び、その解決策についても考えたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、主として地形発達のバックグラウンドとしての（1）気候変動（2回～5回）、（2）海水準変動（6回～9回）、（3）地殻変動（10回～12回）、（4）火山活動（13回～15回）について学ぶ。後期は、前期で学んだことを踏まえて、関東平野の地形発達と地形誌として、（1）利根川上流域の火山活動と地形発達（16回～19回）、（2）中流域の関東造盆地運動と平野の地形発達（20回～23回）、（3）下流沖積低地における海面変動と低地の地形発達（24回～27回）、（4）関東平野の環境問題とまとめ（28回～30回）。

履修上の留意点 現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。

成績評価の方法 出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。

教科書 とくに指定しない。

参考書等 貝塚爽平ほか『日本の地形 4 関東・伊豆小笠原』（東大出版会）2000年

その他 高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

履修コード	041102
科目名	第四紀学
担当者名	鈴木 毅彦 <small>すずき たけひこ</small>

講義のねらい 第四紀とは最近約200万年間（最近では260万年間とする考えが有力になった）の地質時代をさす。この時代は、地形、気候、動植物、人類などが現在みられる姿となった時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは、人類の動向も含めた地球の将来予測につながる。本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での現象と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・授業スケジュール 講義前半では第四紀の各種基礎的概念を解説、後半では日本列島の第四紀の主要な現象のうち、地形発達、火山活動、第四紀地殻変動などに焦点をあてる。(1-2)第四紀の概要と学際科学としての第四紀学の特徴、(3-4)氷期の認定に関する歴史、(5-7)大陸氷床の発達と海面変化からわかる氷期・間氷期サイクル、第四紀海面変化の復元（日本列島および関東地方を例として）、(8-9)海洋底堆積物、酸素同位体比変化から復元される氷期・間氷期サイクル、(10)地球上各域における第四紀の気候変化、(11-12)氷期・間氷期サイクルの原因とミランコビッチサイクル、(13)数値年代と放射年代測定およびその原理、(14-15)第四紀の古地磁気編年とレス編年、(16-21)第四紀のテフクロノロジー：火山噴火の多様性、原理、日本列島および関東地方における応用例、(22-24)第四紀の火山活動、(25-27)第四紀地殻変動、活断層、山地形成、(28-30)人類の歴史

成績評価の方法 主には前期末のレポートと後期末の筆記試験で評価する。追試験は実施しない。

教科書 教科書は特に指定しない

参考書等 参考書として、町田ほか編『第四紀学』（朝倉書店）、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）、成瀬『第四紀学』（岩波書店）をあげる。それ以外は講義中に紹介する。

その他 授業の方法：講義、なお時間等が許せば日帰りの野外巡検を行う予定である。

履修コード	044302
科目名	日本考古学概説
担当者名	酒井 清治

講義のねらい	日本の考古学は発掘も膨大にあり日々新しい資料も蓄積されている。その資料はどのような意味があるのか、資料からどのようなことが分かるのか、日本の考古学の中に位置づけ考古学とは何かを理解してもらおう。
講義の内容・授業スケジュール	考古学の研究史、研究法および、遺跡・遺物を時代を追って取り上げ、日本考古学を時代史的に概観する。(1～2) 考古学とは何か、(4・5) 考古学の研究史、(6～9) 資料解釈の研究法、(10～13) 年代論、(14～17) 旧石器時代、(18～21) 縄文時代、(22～25) 弥生時代、(26～29) 古墳時代。前期は授業の始めに最新発掘資料の写真・図を見ながら考古学の理解を深めてもらう。
履修上の留意点 成績評価の方法 参考書等	遅刻厳禁、私語厳禁。 定期試験とレポートで採点。平常点も加味する。 鈴木公雄『考古学入門』(東大出版社) 安藤雅雄『考古学キーワード』(有斐閣) 江上波夫『考古学ゼミナール』(山川出版社) そのほか授業中に解説しながら紹介する。
その他	講義の中でOHPを使用し、図や写真あるいは実物資料を利用し理解を深める。

履修コード	044402
科目名	外国考古学概説
担当者名	三宅 俊彦

講義のねらい	「中国の考古学」について講義をおこなう。 まず、これまでの中国考古学の学史的流れを把握し、各時代の様相を考古学の視点から見たい。あつかう時代は、旧石器から新石器・青銅器時代、および秦・漢から隋・唐くらいまでを予定している。
講義の内容・授業スケジュール	前期は学芸員課程のための履修者もいることから、考古学の研究法から開始する(第1回)。その後中国考古学の歴史(第2,3回)、旧石器時代～青銅器時代(第4～10回)、夏・商・周(第11～15回)を予定している。 後期は北方系青銅器文化(第16～20回)、秦・漢(第21～24回)、魏晉から隋唐(第25～30回)を予定している。
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等 その他	必要に応じて、通史的なトピックにも触れる予定である。 授業に積極的な姿勢で臨むことを希望する。 出席状況ならびにレポートによって、総合的に判断する。 特になし。 特になし。授業の参考になる書籍などは、その都度紹介する。 授業は講義が中心となる。できるだけプリントやスライドなどを用い、内容の理解を深められるよう努めたい。

履修コード	046912
科目名	西洋文化史
担当者名	西浦 麻美子

講義のねらい	古代から20世紀までの西洋服飾の歴史を、図像資料を中心に概説する。各時代の流行の服飾を、その時代特有の美意識や社会背景との関わりの中で理解することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	(1～3) 古代ギリシャ、ローマ、ビザンチン帝国の服飾(4～6) 中世の服飾：色の象徴性(7～8) 16世紀の服飾：誇張と変形(9～10) 17世紀の服飾：ギャラントリー(11～12) 18世紀の服飾：モードの簡素化(13) 革命期から19世紀初頭の服飾：エンパイア・スタイル(14) ロマン主義の服飾(15～17) ダンディズムの服飾(18～19) 19世紀後半の服飾：クリノリン、パッスル、S字型スタイル(20～21) コルセットをめぐる歴史(22) ジャポニズムの服飾(23) 20世紀初頭の服飾(24～29) 18世紀後半のフランスにおけるアングロマニーの服飾(30) まとめ
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等	授業内で紹介する参考文献をできるだけ読み、展覧会などに積極的に足を運んでください。 学年末試験(60%)と出席状況(40%)により評価する。 深井晃子監修『世界服飾史』1998年刊(美術出版社)2,625円 ISBN4568400422 授業内で随時紹介していく。

履修コード	047112
科目名	日本文化史
担当者名	廣瀬 良弘 <small>ひろせ りょうこう</small>

講義のねらい 日本文化の歴史が、当時の社会の生産の仕組みや政治・経済・宗教などと深く関わりあったことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを明らかにしていきたいと思います。そして、この日本文化は現代においても、多くは底流として、また、ときには、「日本の代表的な文化」として、存在しています。現代の文化と対比しながら、検討していきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 日本文化の流れを概観し、民衆の躍動やその文化が顕著になってくる中世の文化を中心にその前後の文化にも注目しながら、文化の様相と特色について見ていきます。
 ・日本文化史概観、・中世文化史研究の動向（1, 2）、・鎌倉仏教と文化（3～5）、・禅宗と五山文化（6, 7）、・南北朝から室町期の文化（8, 9）、・北山文化の展開（10, 11）、・東山文化とその基盤（12～15）、・中世の職能民（16, 17）、・連歌師の旅（18, 19）、・戦国社会と宗教（18, 19）、・戦国社会の駆込寺（20～22）、・大名領国の文化（23, 24）、・統一政権とその文化（25, 26）、・近世文化史研究の動向と寛永文化（27～30）

履修上の留意点 講義の中に出てきた事項について、図書館の蔵書や辞書などで調べ直してみたり、現地に行ってみたりすることが必要です。また、日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持って下さい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめます。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施します。

成績評価の方法 定期試験の結果と授業の出欠を重視します。定期試験では一般論を回答しても正解とならないことが多いので注意して下さい。つまり授業に出席し、しっかりとしたノートができていないと合格点は取れません。

教科書参考書等 とくに指定しません。必要な資料は随時コピーを配布します。講義内容に関する博物館・研究所などを随時提示して行きます。

履修コード	046202
科目名	考古発掘実習
担当者名	酒井 清治・設楽 博己 <small>さかい きよじ しつら ひろみ</small>

講義のねらい 考古学の基本は発掘した資料から人類の歴史を考えることであるが、発掘技術の優劣により発掘資料の情報量も異なってくる。発掘現場で対応できる発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。文化財とは何か（1）、埋蔵文化財とは何か（2・3）、発掘調査とは（4～8）、発掘調査の方法（9～15）、発掘調査と文化財保護法（16～18）、整理作業と報告書作成技術（19～22）

履修上の留意点 夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが通例である。従って履修者は、博物館実習等との関係をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後には計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席、遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法 成績評価は出席点と平常点および発掘実習の態度と発掘日誌などを総合して判断する

教科書参考書その他 『考古学調査ハンドブックス1 野外編』（雄山閣）1984年

授業の中で資料を配付する

通常は講義で、夏休みに野外発掘実習を行う。予定では8月に日本の発掘は北海道を予定している。9月に中国での発掘を計画しているが、実施するか未定である。なお発掘は日本・中国どちらかの発掘を選択してもらう。

履修コード	052812
科目名	考古学特講II
担当者名	酒井 清治

講義のねらい 日本列島には各時代にわたって大陸から多くの渡来人が訪れた。彼らは日本に多くの文化や技術を伝え、それが日本文化の形成に影響を与えた。渡来人が弥生時代・古墳時代・歴史時代に伝えた文化は、発掘調査によって多くの遺跡・遺物として確認できる。そのような遺跡・遺物を取り上げ、渡来人がどのような文化を残し、それがどのように受けいられていったのかを探り、各時代の文化に与えた影響などについて考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール 弥生・古墳・歴史時代を通史的に、それぞれの時代の渡来人と渡来文化について遺物・遺跡などの資料を紹介する。おおよそ以下の①海を渡ってきた渡来人（1～3）、②米作りと武器を伝えた渡来人（4～7）、③倭のクニグニと渡来人（8～11）、④大和政権と渡来人（12～15）、⑤渡来人の伝えた古墳時代の技術（16～20）、⑥飛鳥時代の渡来人（21～25）を講義してまとめを行う。

履修上の留意点 遅刻をしないこと

成績評価の方法 レポート、出席、授業態度

教科書等 授業の中で適宜紹介する

参考書等 授業の中で適宜紹介する

その他 授業は書画カメラを使い、写真・図を見せながら講義を行う。

履修コード	052922
科目名	考古学特講IV
担当者名	設楽 博己

講義のねらい 顔の考古学 現代日本人の祖先はどこに求められるのか。それを解く手がかりは、縄文・弥生・古墳時代の人々にある。彼らはどのような顔立ちをしていたのか。そうした形質の起源はどこに求められるのか。その答えがヒントになる。また、彼らはたくさんの顔にかかわる造形を残した。土偶や埴輪などは、その代表的な遺物である。本講義では、古代人の顔にまつわるさまざまな問題を取り上げ、日本古代文化とそれを担った人々を掘り下げる。あわせて、縄文・弥生・古墳時代の概略も把握できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、弥生・古墳時代・律令期の線刻人面絵画や埴輪、人面墨書土器を取り上げ、その特徴や意味を探る。後期は、縄文時代の土偶や仮面など顔にまつわる造形品に対して、その特徴や性格について考える。また、縄文・弥生・古墳時代の人骨を取り上げ、その形質的な特徴、DNA分析の結果などに関する研究の現状を解説し、現代日本人とのかかわりを考える。

履修上の留意点 講義中の私語は慎むようにしてください。

成績評価の方法 年度末の試験と中間レポートやミニ試験、出席によって総合評価する。

参考書等 その都度指示するが、当面原始絵画にかかわる参考書として、(佐原真・春成秀爾1997『原始絵画 歴史発掘5』講談社)に目を通しておくこと。

履修コード	053022
科目名	考古学特講VI
担当者名	杉山 浩平

講義のねらい ヒトの歴史は石の道具を用いるところから始まる。この授業では、石の考古学と題して石器の研究を解説していく。対象とする時代は主に縄文時代から弥生時代である。石材獲得・製作（生産）と流通・消費について検討する。特に黒曜石と安山岩という岩石は、打製石器の素材として最も用いられた石材の一つであり、その産地も理化学的な分析が進められている。こうした資料をもとにヒトの行動を捉え、歴史的な意味について学習する。

講義の内容・授業スケジュール 前期は石器・石材について総説を行った後に黒曜石について解説を行う。後期は安山岩について解説を行う。各地産地を説明して、黒曜石の獲得と流通を巡る集団について検討する。また、この授業では野外観察として、河川での石材観察や黒曜石の原産地の見学なども行いたいと考えている。

成績評価の方法 授業への取り組みの姿勢と期末試験

教科書 授業中に指示する

参考書等 授業中に指示する

履修コード	053042
科目名	考古学特講VIII
担当者名	矢野 <small>やの</small> 和之 <small>かずゆき</small>

講義のねらい	近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。 このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。
講義の内容・ 授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保存と活用の理念 ・日本建築史（古代）概要 ・遺構とその上部構造体の復元 ・保存計画概論 ・保存科学、保存工学概論 ・まちづくりと文化財 ・計画策定の実務 ・国内の事例 ・海外の事例、文化財保存の国際機関、世界遺産 以上を一部演習を混じえながら講義する。
履修上の留意点	特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。
成績評価の方法	試験、演習提出物
参考書等	適宜指示
その他の	講義は、スライド、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

履修コード	053102
科目名	西域美術史
担当者名	松平 <small>まつだいら</small> 美和子 <small>みわこ</small>

講義のねらい	中央アジア以西、地中海域までを広義の西域ととらえ、本年はアフガニスタン、ペルシアを中心に東西美術工芸の交流を考えることを目的とします。アフガニスタンの遺宝は内戦のため長く行方不明となっていました。最近我々の目の前に再び姿を現し始めています。その最新情報も検討します。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期 シルクロード美術（1）アフガニスタン（2～7）、ガンダーラ（8～9）、ペルシア（10～15）の美術工芸 後期 ソグドの美術（1～2）シルクロードのガラス工芸（3～9）、シルクロードの陶磁器工芸（10～15）
履修上の留意点	講義中に紹介するシルクロード関係の展覧会を少なくとも年1回は見学してほしい。
成績評価の方法	レポート、学年末テスト、講義時の提出物、出席状況から総合的に評価する。
教科書	松平美和子『シルクロード美術鑑賞への誘い』2007年刊（芙蓉書房出版）2800円 ISBN 978-4-8295-0401-7
参考書等	講義時に随時伝える。
その他の	毎時間多くの画像を見て講義する。必要に応じてビデオも使用する。

履修コード	075003
科目名	宗教人類学
担当者名	佐藤 憲昭 <small>さとう のりあき</small>

講義のねらい

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊（ひょうれい）文化を取り上げる。

日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは、神霊・精霊が憑（つ）いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。この講座では、宗教人類学の学問的特色について概観した後に、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして、憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学（1～3）、
2. 宗教人類学と宗教民俗学（4～5）、
3. フィールドワーク（6～8）
4. 民俗宗教の特質（9～11）、
5. アニマ（霊）とマナ（力）（12～14）、
6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究（15～18）、
7. 憑霊現象と社会組織（19～21）、
8. 民俗仏教に見られる憑霊現象（22～24）、
9. 憑霊文化と王権（25～27）、
10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性（28）。

履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポート（2400字～2800字）で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書
参考書等

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』講談社（学術文庫）
授業中に適宜紹介する。

V 社会福祉主事講座

履修コード	062802
科目名	社会福祉原論
担当者名	伊藤 秀一

講義のねらい 社会福祉は、かつて、慈善事業、社会事業と呼ばれていたものが、今日では、社会を構成する「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日的貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉の理念、概念、歴史、制度等広く概観することを目的とする。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、社会福祉の基礎知識を整理するとともに、制度的改革の続く社会福祉の今日的な動向と課題についても把握する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

①現代社会における福祉領域の意義と考え方②現代社会における福祉制度と福祉政策③福祉の原理をめぐる理論と哲学④福祉制度の発達条件

(後期)

⑤福祉政策におけるニーズと資源⑥福祉政策の課題⑦福祉政策の構成要素⑧福祉政策と関連政策⑨相談援助活動と福祉政策の関係⑩これからの福祉と全体社会の問題と課題

履修上の留意点

講義の内容は極めて広範囲にわたるので、指定されたテキスト以外の参考文献等を活用しながら各自学習を深めてほしい。

成績評価の方法

評価は、前期・年度末の定期試験と出席状況を勘案して行う。

教科書

塩野・福田編著『現代社会と福祉(社会福祉士シリーズ4)』弘文堂、2009年

参考書等

随時紹介する。

その他

ビデオ教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

履修コード	070701
科目名	社会福祉原論
担当者名	船水 浩行

講義のねらい 現代社会において「社会福祉」という用語はとてもポピュラーなものとなっている。新聞、テレビ等のマスコミ報道でも頻繁に目にし、また耳にする。選挙があれば、多くの候補者がその充実を口にする。

学生諸君の多くも、「社会福祉が必要か」と問われれば「必要」と答えるだろう。しかし、「それでは、なぜ、この仕組みが必要なのか?」「どのようにしてこの仕組みが形作られているのか」となると、なかなか上手く答えていただけないのではないか。

この授業では、こうした現状と共に「社会福祉主事」を目指している学生諸君の履修ということ念頭におき、現代社会における社会福祉の意義、理念や制度の歴史的展開過程等の基礎的内容を踏まえつつ、わが国における社会福祉の制度等の現状と課題を中心に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

現代社会における社会福祉の意義 社会福祉の理念 社会福祉の史的展開過程 わが国における社会福祉制度とその展開 わが国社会福祉の最近の政策動向と課題 わが国における社会福祉援助活動の現状と課題 社会福祉従事者の現状と課題

履修上の留意点

自分自身の生活課題に関わるものとして考察していただきたい。

成績評価の方法

定期試験(持ち込み不可)70%、レポート(随時、5課題程度)20%、出席状況等平常点10%

教科書

使用しない。

参考書等

随時紹介する。

履修コード	062902
科目名	法学（福祉）
担当者名	鷗徳 啓登

講義のねらい 日本の社会は高齢化現象が進行中である。高齢者層の増加および平均寿命の上昇というこの現象は、善きにつけ悪しきにつけ高齢者の日常生活にもさまざまな影響を与えている。このような高齢化社会において、憲法が規定している「生存権」の一種内容である「社会福祉」にしばって、法制度面から検討し、「社会福祉行政」の各種の法令の意義内容を理解することを目標とする（小林弘人著「高齢化社会における社会福祉の法」はしがきより）。

講義の内容・授業スケジュール 社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明する。
1回～3回：社会生活における法の作用や役割についての解説。
4回～6回：憲法、民法および行政法の基礎的知識を深める。
7回～15回：日本国憲法について、とくに基本的人権を中心にした解説である。
16回～20回：民法における基礎的概念の説明が中心となる。
21回～30回：行政法の原理および各領域における基本的概念の解説を行う。

成績評価の方法 出席状況と試験を勘案して、評価する。

教科書 小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』創成社刊（2400円）を使用する。
ISBN4-7944-4050-2

参考書等 授業時間中に適宜指示する。

履修コード	063902
科目名	社会福祉発達史
担当者名	堀 千鶴子

講義のねらい 我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

1	社会福祉の歴史と人物史	1	13	人物史	4
2	〃	2	14	〃	4
3	慈善・救済の時代		15	〃	4
4	人物史	1	16	社会事業・社会福祉の時代	
5	〃	1	17	人物史	5
6	〃	1	18	〃	5
7	〃	2	19	〃	5
8	〃	2	20	〃	6
9	〃	2	21	〃	6
10	〃	3	22	〃	6
11	〃	3	23	社会事業に生きた女性	
12	〃	3	24	地域の歴史	

履修上の留意点 出席を重視する。テキスト必ず持参。

成績評価の方法 出席（40%）、レポート（60%）

教科書 室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」ミネルヴァ書房2800円ISBN4-623-04519-6

履修コード	065002
科目名	社会保障論
担当者名	ながお じょうじ 長尾 譲治

講義のねらい

本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、ソーシャルワーカーを目指す皆さんにとって必要で十分な社会保障制度に関する実践的知識を習得すること、及びソーシャルワークの現場においてその知識を生かす応用能力を身につけることを第一の目的としている。

社会保障制度は、一見すると複雑・多岐にわたっており、わかりづらいと感じる学生が多いのも事実である。しかし、社会保障は人間の基本的なニーズに対応したものであって、原理・原則は単純明快である。社会保障論の学習にあたっては、まずその原理・原則を理解した上で、制度上の例外を身につける方法が有効である。

講義では、マンガやドラマに出てくるおなじみの登場人物とその生活場面などの身近な実例に当てはめ、そこで出てくる社会保障制度を解説するなど、具体例を通じて実践的な社会保障の知識を身につけていく。また、社会保障の各制度の現状はどうなっているのか、これからどうしていきべきなのかについて、国民の福祉の維持・推進の役割を担う福祉専門職の立場から、考察していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 社会保障とは(社会保障の必要性、日本の社会保障制度の体系など)(1回目)
- (2) 各制度の詳細な解説

①医療保険制度(2~5回目) ②年金保険制度(6~11回目) ③労働保険制度(雇用保険、労災保険)(12~16回目) ④介護保険制度(17~20回目) ⑤民間の保険(生命保険、損害保険、その他の保険)(21回目)

- (3) こんなときどうする? -私たちのライフサイクルと社会保障-

①就職したら(22回目) ②妊娠・出産・育児とその支援(23~24回目) ③病気や障害状態になったら(25~26回目) ④寝たきりや認知症になったら(27回目) ⑤ターミナル・ケアを受けるには(28回目)

- (4) 各国の社会保障制度(29回目)

- (5) 社会保障制度の現状と課題(30回目)

学年末試験の成績に、出席状況等を加味して評価する。

特に指定しないが、必要に応じて参考書等を紹介する(授業は毎回の詳説プリントを通じて行う)。

成績評価の方法
教科書

参考書等

長尾譲治著『ライフサイクルと保健福祉』(春風社)
週刊社会保障編集部編『社会保障便利事典』(法研)
その他、随時紹介する。

履修コード	065322
科目名	公的扶助論
担当者名	いとう しゅういち 伊藤 秀一

講義のねらい

本講の中心的テーマは、わが国の社会保障制度体系における生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。このような問題意識のもとに、慈恵的救済から権利的保障へと歩んできた公的扶助の歴史をはじめ、現行法の目的、原理、原則、組織機構、行政運営等を体系的に講述する。また、近年、注目されている権利擁護、社会的排除等にも言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)

①開講にあたって②現代の貧困と公的扶助③公的扶助の歴史(イギリスと日本)④生活保護制度の概要と問題点

(後期)

⑤生活保護制度の運営実施体制⑥生活保護の争訟制度と権利擁護⑦生活保護における相談援助活動⑧低所得者対策の概要と実際

履修上の留意点

指定されたテキスト以外の参考文献や新聞記事等を活用しながら学習を深め、「学生参加」型の授業を心がけたいと考えているので、貧困問題に対する関心をもってほしい。

成績評価の方法
教科書

評価は、定期試験と出席状況を勘案して行う。

参考書等
その他

伊藤秀一編著『低所得者に対する支援と生活保護制度(社会福祉士シリーズ16)』弘文堂、2008年
随時紹介する。

視聴覚教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

履修コード	065422
科目名	障害者福祉論
担当者名	桐原 宏行

講義のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の本質及び障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢について理解する ・障害者福祉制度の発達過程について理解する ・相談援助活動において必要となる障害者自立支援法や障害者福祉に係る他の法制度について理解する
講義の内容・授業スケジュール	<p>第1回：オリエンテーション</p> <p>第2回：障害とは何か①（身体障害の理解）</p> <p>第3回：障害とは何か②（知的障害の理解）</p> <p>第4回：障害とは何か③（発達障害の理解）</p> <p>第5回：障害とは何か④（精神障害の理解）</p> <p>第6回：障害者福祉の理念</p> <p>第7回：障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢</p> <p>第8回：障害者自立支援制度の発達過程</p> <p>第9回：障害者自立支援法の概要</p> <p>第10回：障害者自立支援法における組織及び団体の役割と実際</p> <p>第11回：障害者自立支援法における専門職の実際</p> <p>第12回：障害者自立支援法における多職種連携、ネットワーキングの実際</p> <p>第13回：障害者福祉関連法の概要①（身体障害者福祉法，知的障害者福祉法）</p> <p>第14回：障害者福祉関連法の概要②（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律，発達障害者支援法）</p> <p>第15回：総括</p>
履修上の留意点	<p>本科目は、社会福祉士法の改正により変更された科目である。平成21年度以降入学者（平成20年度以降の入学者で単位未修得者も含む）で社会福祉士受験資格取得予定者は履修しなければならない。なお、平成20年度以前の履修者で、同一名称科目「障害者福祉論（4単位科目）」をすでに履修し単位を取得した者は再履修できないが、法改正で科目内容が改正されており、本年度の社会福祉士国家試験から「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」の科目で試験が実施されるため、その対策には十分注意する必要がある。</p>
成績評価の方法	授業内試験及びレポート90% ， 出席点10%
教科書	福祉臨床シリーズ編集委員会編 日比野清,大熊信成,建部久美子責任編集、『社会福祉士シリーズ14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度』、弘文堂、2,625円 ISBN978-4-335-61084-4 C3347
その他	ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法2009』、ミネルヴァ書房

履修コード	065522
科目名	老人福祉論
担当者名	とうじよう みつまさ 東條 光雅

講義のねらい 少子高齢化社会の進展に伴い後期老年期人口が増加し、要介護高齢者の急増、家族介護の深刻化、高齢者虐待の多発など、高齢者やその家族に関わる様々な社会的問題が発生し、医療・年金・介護などの社会保険制度のあり方が大きな政治課題となっている。

本講義では、わが国における高齢化の現状と動向、高齢者や家族を取り巻く状況、これまでの高齢者対策や高齢者福祉制度の変遷、現行の高齢者保健福祉制度等について理解を深めてもらうとともに、今後の高齢者支援のあり方について論じてゆく。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 第1回 高齢者の心理・精神的理解
- 第2回 高齢者の身体的理解
- 第3回 高齢者の社会的理解
- 第4回 高齢化・高齢社会の定義とわが国における高齢化の現状
- 第5回 諸外国における高齢化の状況と少子高齢化の要因
- 第6回 高齢者を取り巻く諸問題
- 第7回 高齢者保健福祉の発展過程
- 第8回 高齢者保健福祉の現行法体系
- 第9回 老人福祉法
- 第10回 高齢者医療確保法
- 第11回 高齢者虐待防止法
- 第12回 高齢者を支援する組織と役割（1）
- 第13回 高齢者を支援する組織と役割（2）
- 第14回 高齢者を支援する組織と役割（3）
- 第15回 これからの高齢者支援

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくと、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらう。近年、受講生の私語や居眠りが目立つので、授業態度に問題がある場合には退室してもらう。履修学生は、気を引き締めて授業に臨んでもらいたい。

**成績評価の方法
教科書**

原則的には、出席点と定期試験によって評価する。
『高齢者に対する支援と介護保険制度』、新社会福祉士養成講座第13巻、中央法規出版、2009年3月出版予定

**参考書等
その他**

『社会福祉小六法』、『厚生労働白書』、『国民の福祉の動向』など
講義はパワーポイントを使って行う

履修コード	065622
科目名	児童福祉論
担当者名	むらた かずあき 村田 一昭

講義のねらい 1989年に国連で子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉から新たな児童福祉へと制度や実践の変革が進められてきています。そこでこの授業では、子どもと家庭を取り巻く現状を踏まえながら、子どもと家庭のウェルビーイング (well - being) をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉について、その基本的枠組およびソーシャルワーク実践についての理解を深めることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- 1, 子ども家庭福祉の理念
 - ①ウエルフェアからウェルビーイングへ (第1回) ②子どもの権利条約 (第2回)
- 2, 子どもと家庭をめぐる最近の動向
 - ①少子化の動向と対策 (第3回) ②子ども虐待の実態と対応 (第4回) ③少年非行・少年犯罪の動向と対応 (第5回)
- 3, 子ども家庭福祉への歩み (第6回)
- 4, 子ども家庭福祉の法体系
 - ①児童福祉法 (第7回) ②児童福祉六法 (第8回) ③関連法 (第9回)
- 5, 子ども家庭福祉の最近の法改正の動向 (第10回)
- 6, 子ども家庭福祉の実施体制
 - ①子ども家庭福祉行政の仕組み (第11回) ②子ども家庭福祉の実施機関 (第12回)
- 7, 子ども家庭福祉施策の現状と課題
 - ①児童自立支援施策、児童健全育成施策他 (第13回) ②保育施策、障害児施策他 (第14回)
- 8, 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際 (第15回)

履修上の留意点 可能な限り、受講生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めたいので、質問や意見など積極的なコメントを求めます。

成績評価の方法 平常点 (出席およびリアクションペーパー、課題) と期末試験にて評価をします。
教科書 高橋重宏・山縣文治・才村 純編「子ども家庭福祉とソーシャルワーク (第3版)」(社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論) 有斐閣 ￥2,000※授業内容により、プリントを配布します。

参考書等その他 随時、紹介します。
授業はパワーポイントを使用します。

履修コード	065702
科目名	女性福祉論
担当者名	ほり ちづ子 堀 千鶴子

講義のねらい この講義では、ジェンダーの視点から女性福祉論を展開する。ジェンダーとは社会的・文化的に規定された性別であり、ジェンダーのアンバランスが歴史的にも女性の生活問題・生活困難の背景となっており、ジェンダーの視点に立つことは問題の理解に大きく寄与するものである。

講義では、特に婦人保護事業を中心とする。婦人保護事業を歴史的に把握すると共に、対象者の変化を理解し、現代的課題を明らかにすることから、女性福祉を考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. ジェンダーの視点とは
ジェンダー・女性学・フェミニズム等の用語の登場の背景を理解し、社会福祉に導入する意味について理解する
2. 女性福祉の定義・対象理解
3. 「女性に対する暴力」とは
・定義、内容 ・取り組みの動向 ・ドメスティック・バイオレンス についての理解
4. 婦人保護事業の歴史
5. 婦人保護事業の動向

成績評価の方法 試験方法：レポート (50%)
出席確認を毎回行う (出席50%)

教科書 林千代編著『女性福祉とは何か』(ミネルヴァ書房) 2004年
参考書等 講義内に紹介する。

履修コード	065822
科目名	医療福祉論
担当者名	<small>みやもと ひろし</small> 宮本 博司

講義のねらい

医療の現場での福祉の担い手は「医療ソーシャルワーカー（MSW）」である。医療福祉論では、医療ソーシャルワークの歴史、理論、技術について学び、医療ソーシャルワークのあり方について議論を深め、医療ソーシャルワーカーがどのような倫理観・価値観に基づいて、ソーシャルワーク実践を重ねているか、考察することを目的としている。また、現場を目指す学生にとって、医療ソーシャルワークの現場をリアルに議論できるような授業を目指す。

**講義の内容・
授業スケジュール**

医療ソーシャルワークの歴史と課題

- ① 医療ソーシャルワークとは
- ② 医療ソーシャルワークの歴史
- ③ ソーシャルワーク理論
- ④ 医療ソーシャルワークと医療経済について
- ⑤ 医療ソーシャルワークの課題について

医療ソーシャルワークの技術と実際

- ① 急性期における医療ソーシャルワーク事例
- ② 亜急性期における医療ソーシャルワーク事例
- ③ 慢性期における医療ソーシャルワーク事例
- ④ 終末期における医療ソーシャルワーク事例
- ⑤ 病院・施設の医療ソーシャルワーク事例
- ⑥ 在宅ケアにおける医療ソーシャルワーク事例
- ⑦ ケアマネジメントと医療ソーシャルワーク
- ⑧ 医療サービスと医療ソーシャルワークの課題

授業への主体的な参加を望む。

定期試験、課題レポート、授業参加貢献度により採点。

開講時に指示する。

開講時に指示する。

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

履修コード	065902
科目名	地域福祉論
担当者名	川上 <small>かわかみ</small> 富雄 <small>とみお</small>

講義のねらい 地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。本講義ではこれらについて、われわれが生活している地域そのもの持つ特色を明らかにしたうえで、福祉問題の出現過程について学び、その解決のための手段や考え方を理解する。

- (1) 総論としての地域福祉の枠組み（地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか）
 - ①地域福祉論の概念、②地域福祉の歴史的展開、③コミュニティの捉え方・考え方
 - ④現在の地域福祉施策の特徴
- (2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法（地域福祉施策の内容と提供方法）
 - ①地域福祉サービスの種類とその提供方法、②サービス提供組織やその仕組み
 - ③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法
- (3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望
 - ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望、②計画づくりと福祉制度
 - ③これからの方向性

講座には、様々な年次の学生がいることを考慮し、なるべく具体的な、かつ実践に役立つ内容を盛り込んで、講義を進めたいが、内容や使用する用語が難解な場合もあるので、各自学習をして理解を深めてほしい。併せて、本科目は社会福祉士試験の指定科目ということもあり、試験の内容も考慮して講義を行いたいと考えている。

（番号は授業回数ではない）

講義の内容・授業スケジュール

- 1：地域福祉と生活問題：地域福祉の考え方と現代の生活問題
- 2：地域福祉とコミュニティ：地域社会の変遷とコミュニティの形成 他
- 3：地域福祉の概念とその範囲：地域福祉の代表的な考え方とその類型
- 4：地域福祉のサービス体系：地域福祉サービス体系の考え方 他
- 5：地域福祉の推進方法：地域援助技術の必要性と社会福祉計画 他
- 6：地域福祉の人材：民生委員児童委員制度等
- 7：地域福祉の財源：地域福祉の財源と共同募金の理解 等
- 8：地域福祉の推進組織：社会福祉協議会、行政、各種団体・機関◆非営利団体の活動とNPO法 他

履修上の留意点

地域福祉論は、他の福祉系科目の横断科目として理解する必要がある。できる限り2年次以降の履修が望ましい。

成績評価の方法

出席回数、試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出（随時）の双方の状況により、判定する。

教科書等その他

『社会福祉士養成講座7』 地域福祉論（中央法規出版）
授業時間内に指示する。
基本的には講義形式で行う。出席確認およびレポート等も実施する。

履修コード	066152
科目名	社会学（福祉）
担当者名	武山 <small>たけやま</small> 梅乗 <small>うめのり</small>

講義のねらい 社会福祉士（及び精神保健福祉士・社会福祉主事）を目指す学生を対象として、社会学の基礎的な知識（社会理論）を提示し、現代社会における今日的な諸問題や生活、及び人と社会との関係について理解することを通じて、より広い視点から〈社会福祉〉を展望する視点を養ってもらうことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会学の基礎概念（1～3回）(1) 行為論 (2) 役割論 (3) 自我とアイデンティティ (4) 組織と官僚制 (5) ネットワークとボランティア (6) 社会階層と社会移動
- II 現代社会論（4～5回）(1) 逸脱とラベリング (2) ジェンダーとフェミニズム (3) 医療化と差別論
- III 現代家族論（6～7回）(1) 家族制度と核家族化 (2) ライフサイクルとライフコース (3) 未婚化と結婚の意義
- IV 地域社会論（8～9回）(1) アーバンイズムとコミュニティ (2) 国土計画と過疎過密・まちづくりとQOL
- V 国家とエスニシティ（10～12回）(1) 国民国家としての〈日本〉 (2) エスニシティとしての〈沖縄〉
- VI 社会変動論（13～15回）(1) 近代化と資本主義 (2) 大衆社会論と社会的性格 (3) 産業社会論 (4) 消費社会と企業文化・福祉文化 (5) 公害と環境問題

成績評価の方法

出席状況、講義期間中に課す課題やレポートの内容、学期末の定期試験から総合的に評価します。

教科書

教科書は現在作成中のもの（タイトル未定）を使用します。教科書のタイトルや出版元等については開講時に指示します。

参考書等

参考書は講義期間中に随時紹介します。

履修コード	066522
科目名	心理学（福祉）
担当者名	たかはし よしひろ 高橋 良博

講義のねらい	本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。 1. 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得、および日常生活と心の健康についての理解。 2. 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。 3. 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。
講義の内容・授業スケジュール	1. 講義についてのオリエンテーション 2. 心理学の定義・心理学の領域・心理学研究法 3. 欲求・動機づけ 4. 感情・情動 5. 感覚・知覚・認知 6. 学習・記憶・思考 7. 知能・創造性 8. 人格 9. 適応と不適応 10. 発達段階と障害発達 11. 発達課題と高齢期 12. 発達の障害と発達援助 13. 心理的援助技術の概要(1) 14. 心理的援助技術の概要(2) 15. 試験 (上記の講義スケジュールは、受講学生の理解度などを確認しながら、若干の調整を行う場合もある。)
履修上の留意点	履修者は、講義中は私語をつつしみ静粛を保つこと。講義中、私語などの迷惑行為が目立つ場合、教場外への退出をもとめることもある。
成績評価の方法	筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを得点化して総合的に評価を行う。
教科書 参考書等	福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉士養成講座 心理学』（中央法規） 講義中、指示する。

履修コード	064902
科目名	リハビリテーション論
担当者名	こうご れいこ 向後 礼子

講義のねらい	リハビリテーションには、医学・教育・職業・社会の4領域があるが、本講義では、社会的リハビリテーションを中心に障害者と共に生活していく上で考えておくべきことは何か、知っておくべきことは何かなどについて学ぶ。また、バリアフリーや障害理解の問題に関して、それぞれが、自分なりの考えを深めることをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、リハビリテーションの定義(1-2)、障害理解(3-5)及びバリアフリー(6-9)に関して学ぶ。また、障害者と共に学ぶという視点から、特別支援教育について考える(10-15)。後期は、まず、障害者や高齢者の問題についての資料の読み方(1-2)について考える。次に、職業リハビリテーションの仕組みと障害者雇用を妨げる要因について考える(3-5)。また、社会的リハビリテーションの枠組みの中で尊厳死の問題なども採り上げる(6-9)。以上の知識を踏まえて、履修者の興味に応じて、テーマを決め、討議を行う(10-15)。
履修上の留意点	履修者には、リハビリテーション論で採りあげられるさまざまな問題を単なる知識として覚えるのではなく、自らの問題として考えてほしい。
成績評価の方法	講義中の小課題と試験により評価する。なお、講義では、ほぼ毎回小課題を実施することから、出席状況を加味する。
教科書 参考書等 その他	特に指定しない。 講義中に随時指定する。 基本的に講義形式で進める。履修人数によっては、履修者に発表などの活動を行ってもら。また、ビデオ等の視聴を含む。

履修コード	065102
科目名	家庭福祉論
担当者名	武山 梅葉

講義のねらい	家族の諸問題を女性、子ども、高齢者という観点から概観した上で、〈家族福祉〉の限界を指摘し、〈家族〉という枠組みを超えて地域、行政、NPO、企業等を巻き込みながら展開される〈家庭福祉〉の可能性について模索することを目的としています。
講義の内容・授業スケジュール	I. 家庭福祉の視点：(1) 家庭福祉の視点 (2) 世帯構造と核家族化 (3・4) 家族制度とは (5) 核家族の機能と構造 (6) 家族周期とライフコース (7) イエ制度と〈近代家族〉 II. 女性と家庭福祉：(8・9) フェミニズムからみた家族一母性、専業主婦、中絶 (10) 女性労働と育児 (11) 一人親家庭の諸問題 (12・13) 夫婦別姓と婚姻の意義 III. 子どもと家庭福祉：(14) 児童福祉の体系にみる〈こども〉観 (15) 消費としての子育てと〈地域〉における子育て (16) 児童虐待 IV. 高齢者と家庭福祉：(17) ライフサイクルの変化にみる高齢者の諸問題 (18・19) 家族と高齢者介護 (20) 高齢者にとっての居住福祉 V. 国家・地域と家庭福祉：(21) 日本における家族政策と福祉国家論 (22) 在宅福祉と〈地域〉(23) 家庭一地域福祉という枠組み VI. 民間社会福祉と家庭福祉：(24) 家庭福祉の市場性 (25・26) 非営利セクターと家庭福祉一配食サービスを事例として
成績評価の方法	出席状況、講義期間中に課す課題、夏休みのレポートの内容、学年末の定期試験の結果から総合的に評価します。
教科書等	教科書は特に指定しません。随時配布するプリントに従って講義を進めます。 参考書は講義期間中に随時紹介します。

履修コード	065202
科目名	保健福祉論
担当者名	山本 哲也

講義のねらい	本講義では、地域保健、地域福祉の実践に欠かすことのできない、保健・福祉の連携システムの概要と、同システムにおける保健・福祉従事者の役割を学び、そこでの福祉従事者の活動内容について理解することをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	本講義では、保健・福祉の連携システムの実際について、事例をとおして学習していく。具体的には、まず、保健・福祉が連携して関わる必要のある事例を呈示する。次に、その事例の中に登場する用語等について概説する。また、事例に登場する対象者を理解する事、事例に関わる制度について知る事を目的に講義を行う。最後に、その事例対象者を支える保健・福祉の連携システムについて概説する。
履修上の留意点	講義のみでなく、各自が考え、学び、理解できるよう、各自の意見を問う内容を含む授業を行うので、そのつもりで受講すること。
成績評価の方法	出席状況、授業中のミニレポート、課題レポート及び試験の結果により総合的に評価する。
教科書等	必要に応じ、授業時に指定する。
その他の	必要に応じ、その都度指示する。 ・30分以上の遅刻は入室を認めないので、そのつもりで受講すること。 ・4年次生で、就職活動により欠席する場合も、特別な配慮はしないので、そのつもりで受講すること。